アウトドアスタイル100ブランド春の新アイテム／春のバックパック／アソビとシゴト

GO OUT

アウトドアスタイル
[ゴーアウト]

2021 April vol.138 ¥780

OUTDOOR STYLE BRAND 100

ボクらが大好きな100ブランドの、春の新作徹底チェック!

4

[OUTDOOR STYLE GO OUT 2021年4月号 Vol.138]2月27日発売(毎月30日発売)

「住む」より「楽しむ」BESSの家
株式会社アールシーコア BESS 本部 〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-4-5 www.bess.jp
BESS

人間

自然のなかで、人間も巣づくりをする。家族に、明日に、平和に心馳せながら。あなたの巣へ、おかえりなさい。

1日を
まるごと詰め込む

実用的なデザインで、
行動を起こす準備万全。

変化は行動なしには起きません。私たちはアーバー・パック製品に原料染めのリサイクル素材を使用し、従来の製造方法に比べて水の使用量と二酸化炭素の排出量を減らしています。これらのパックをどのように作ったかは、私たちの価値観の現れです。そしてこれを何に使うかが、皆様を表します。

©2021 Patagonia, Inc.

買うことは減らし、
求めることは
増やす。

今シーズンのパタゴニア製品の素材の68%がリサイクル原料で作られています。**世界で生産されている繊維のうち、リサイクル原料で作られているものは10%以下に過ぎません。**

patagonia®

GO OUT

vol.138 APRIL 2021

Contents

009 GO OUT Choice

028 OUTDOOR STYLE BRAND 100
アウトドアスタイルな全100ブランド、春の新作アイテムを前のめりチェック!

070 春のバックパック
このシーズンになると気になる、最新バックパック事情。

093 GO OUT Choice

104 BRAND PICK UP
KAPTAIN SUNSHINE

110 アソビと、シゴト。
趣味人たちの、「アソビ」と「シゴト」のライフスタイル拝見。

120 GO OUTの通販

126 釣り部 第119回 トップウォーターを追求する名店へ。

128 GO OUT Livin'

132 Information & Present

137 Shop List

139 FUMIHIKO OKABE Presents
SOTOKEN vol.109 リベンジ! わかさぎフィッシング

145 STREET BIKERS' 第4回 SPEED & RELAX
僕らにバイクの悦びを教えてくれたSRの軌跡。

148 Lookin' Back on Trail
vol.119 Russell Moccasin KNOCK-A-BOUT BOOT

150 本間良二の One Size Fits All
vol.26 Wood work here

152 A Beautiful Day ～Festival Photography～
vol.83 Psy-Fi festival 2016

154 POOR BOYS TIMES
第56回 マグメイトコーヒーフィルター(MSR)

BEN DAVIS
WORLD'S
TOUGHEST
Official
web store
Official
Instagram

GO OUT Choice

GOC01

Item

karrimor HBT woven crew

Photo／Shouta Kikuchi

半袖、長袖を着たままチェンジ! 斬新発想の2WAY機能シャツ。

着たまま半袖と長袖をスイッチできる機能シャツを発見！ 手掛けたのはイギリスの老舗「カリマー」。アルピニストも愛用する本格的な山岳用バックパックでおなじみだが、ここ最近では、1946年から続く歴史のなかで培ってきたノウハウを活かした機能的なライフスタイルウエアも人気の様子。日常で役立つ捻りの効いたディテールが特徴的だが、こちらのシャツはまさにその真骨頂！ 特殊な袖口の構造と秘密のポケットによって、袖を取り外すことなく着たまま切り替えられる斬新な1着は、寒暖差の激しい春の外遊びに大活躍の予感！（問）カリマー インターナショナル　tel：03-3221-6883　www.karrimor.jp

トラベル向けに開発されたスイッチスリーブ式のクルーネックシャツ。袖は着脱式ではなく収納式。脇下で縫い繋がれた袖を身頃内側のポケットに収納することで着用したままスタイルチェンジできる。気温変化にはもちろん、撥水生地のため急な天候の変化にも対応する。￥8800

カラーバリエーションは、ベージュやグレーのほか、ブラックも揃う。いずれもベーシックなカラーで合わせる服を選ばず着回せる。

（左）襟元内側には袖丈の切り替え手順が分かりやすく描かれた図が配されている。（右）シャツの裏側。袖を身頃両サイドに配されたポケットに収納することで、裾からの飛び出し防止を実現。（左下）袖をしまえばショートスリーブスタイルに変身。小物の収納に便利な胸ポケット付きなのもありがたい。

Fullon
EYEWEAR

FBL 052-1 Frame : Gold・Black Lens : Smoke 偏光

フローンアイウェア GUMP CO.,LTD. 03 3407 0609 www.fulon-sg.com info@gump.cc

Item

NEIGHBORHOOD Specimen Research Laboratory

Photo／Shouta Kikuchi

ネイバーがルックスを引き締めた硬派で男前なプラントギア。

ミリタリーやアウトドア、トラッド等の要素を独自に解釈したアイテムを提案する「ネイバーフッド」。そのアザーラインとして2017年に誕生した「Specimen Research Laboratory（SRL）」は、ネイバーフッドのデザイナーである滝沢伸介氏が植物から受けたインスピレーションを落とし込んだウエアやイクイップメントを展開している。昨今の植物ブームも相まって加速度的に人気を集めている同ブランドから、最新ギアが到着！ いわゆるプラントギアのイメージとは一線を画すエッジの効いた男前デザインで、園芸キブンもアゲてくれそうだ。（問）ネイバーフッド 原宿　tel：03-3401-1201　www.neighborhood.jp

（左）植物やその周辺の細かな手入れやアレンジに役立つ小物類もネイバーフッドとSRLのネームロゴが配されたスタイリッシュな仕様に。（右）伝市鉢は重厚な墨黒カラーで別注。本物の証である「伝」の印と、SRLの刻印がアクセントに。

1.ポンプで空気を圧縮し、水を細かな霧状にして散布できるプレッシャー式噴霧器。容量5Lの大型サイズ。￥4180　2.四隅のスナップボタンを止めることで皿状になるプラントシート。￥4180　3.4.細かな手入れに便利な小物も豊富にラインナップ。カッター￥4180、カクタスカッター￥1980、ピンセット 6psセット ￥2750　5.6.プラントポットを飾るためのオリジナルウッドボード＆キューブ。各￥8800　7.植木鉢の老舗、丹波立杭市野伝市釜に別注をかけたプラントポット。丸型￥4950、筒型￥6600　8.滑りにくいラバー仕様のグローブ。10個セット。￥4950

自分のサイズで、生きていい。

アウトドア、キャンプ、
釣り、登山、クルマ、自転車、
インテリア。
やりたいことは、いっぱいある。

心地いい生き方は人それぞれだけど、
好きなものを
好きなだけ追いかけていいなら。
それはきっと、いい人生。
自分の人生を、自分のサイズで。

いいけん、
島根県

いいけん 島根県

https://www.kurashimanet.jp/iikenshimaneken/

Shimane

GO OUT Choice

GOC03

Item

WONTON DYNEEMA GEAR CASE

Photo／Shouta Kikuchi

「透かして包む」遊びゴコロ。ストリート目線の収納袋に注目!!

2007年の創業以来、東京のストリートを牽引し続けてきたブランド「グッドオル」の代表でデザイナーの福田健太郎氏による新ブランド「ワンタン」が始動した。大のキャンプ好きとしても知られる福田氏が手掛けるのはギアではなく、それを包む専用の袋。あえて中身は作らず皮だけを作るという意味で中華料理のワンタンから着想した同ブランドでは、強靭で軽量、防水性にも優れた機能素材ダイニーマを起用した半透明の多様な袋を展開。ただ収納するのではなく、中身をドレスアップするように包み込むニッチでエッジィな専用袋は、ギアにこだわる個性派なら見逃し厳禁だ。（問）WONTON　http://wonton.tokyo

1.ボディやロープまでダイニーマで作った全天候型ナップサック。￥7700　**2.**テントポールの専用ケース。4〜5本のポールを収納可能。￥7150　**3.**ゴールゼロのランタンの収納に最適なミニポーチ。￥3300　**4.**シェラカップが5つスタッキングした状態で綺麗に収まる専用サイズ。￥4400　**5.**ベアボーンズのビーコンライトLED用のポーチ。ダイニーマのストラップ付き。￥4950　**6.**サーマレストのZ-LITE向けのスリーピングマットケース。￥6600　**7.8.9.**衣類の収納に便利なマルチケース。S、M、Lの3サイズ展開。Sサイズ￥6600、Mサイズ￥7700、Lサイズ￥8800

（左）スタイリッシュなパッケージも特徴。軽量コンパクトなダイニーマの特性により送料が一律￥385なのも魅力。（中）散乱しがちな定番の小物ギアにピンポイントで合わせたサイズ展開でかゆいところに手が届く。（右）収納時に明かりをつければ和らいだ光に。ベアボーンズ用ポーチは、ストラップ付きで吊るしての使用も可能。

Renoca
by FLEX
Renoca
Renoca
by FLEX
GOOUT CAMP
GO OUT CAMP出展決定！
2021年4月23日(金)・24日(土)・25日(日)　会場：ふもとっぱら（静岡県富士宮市麓156）
supported by CRIMSON, INC.
営業時間/10:00〜19:00　休日/毎週水曜日（祝祭日の場合は営業）・所定の火曜日
Renocaはフレックス全店で買い求めいただけます
FLEX
在庫多数取り揃えております。当社ホームページでご確認下さい。
フレックス 検索 https://www.flexnet.co.jp
Renoca
Renocaをデザインしてみませんか。Renoca特設サイトで体験して下さい。
リノカ 検索 https://www.flexnet.co.jp/renoca/

GO OUT Choice

GOC04

Item

ROVR IC25, IC35

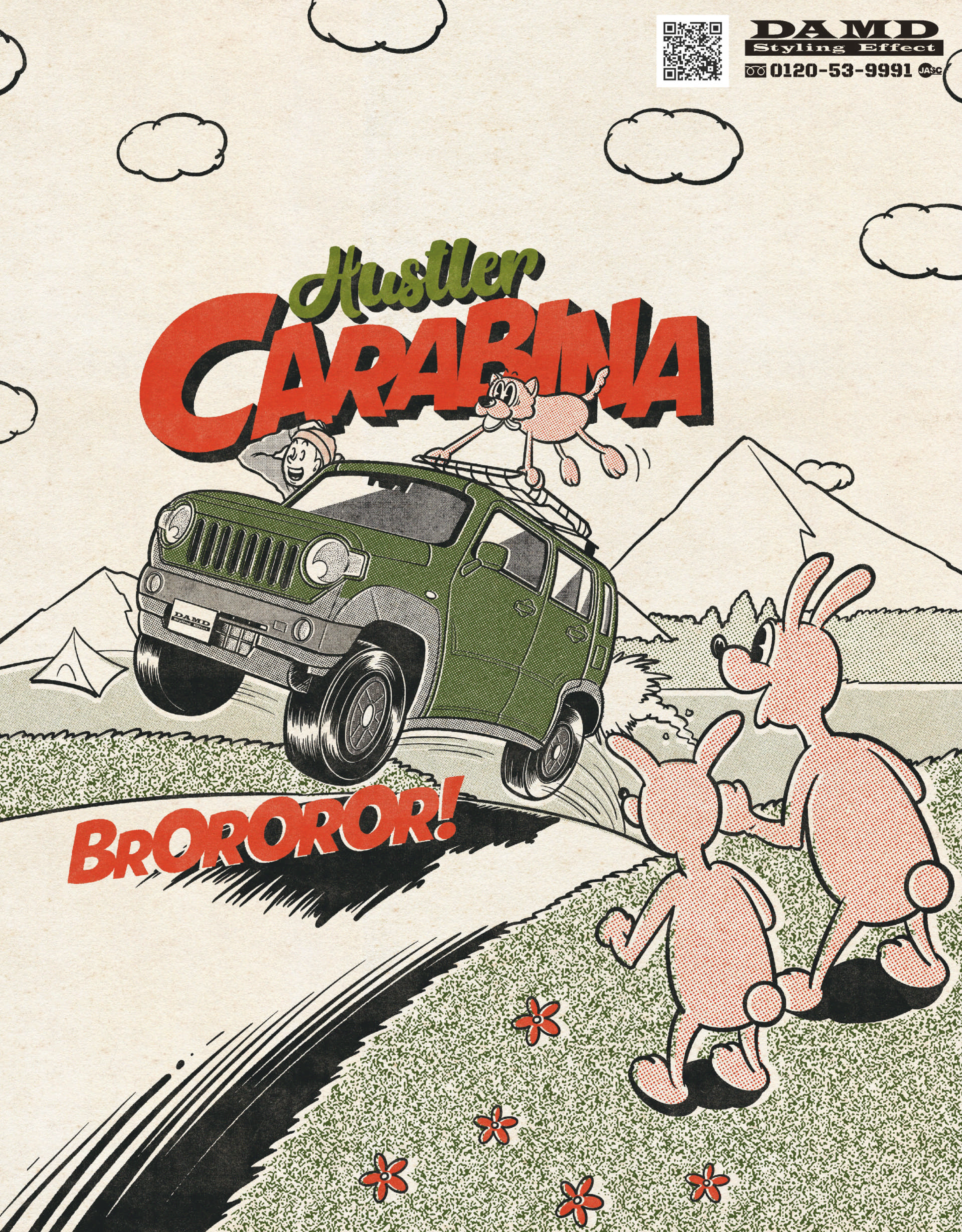
Photo／Shouta Kikuchi

牽引式クーラーのローバーから、タイヤレスの新サイズ登場!!

2019年夏、ハイスペックなクーラーボックスが人気沸騰中の国内アウトドアシーンに突如として現れたアメリカ発の気鋭ブランド「ローバー」。ロトモールド製法の採用による高い保冷力に加え、オフロードタイヤや収納バッグを備えたアメリカ仕込みの牽引式クーラーは、日本のキャンプシーンにおいては珍しく、話題となっていたのも記憶に新しい。今季はそんなローバーから、タイヤに代わってハンドルやショルダーベルトを備えた小柄なモデルが新登場！ 区画の小さい日本のキャンプサイトとも相性バツグンなサイズ感となっており、この春ブレイク必至！（問）津田商会　tel：078-731-5845　www.tsudakobe.jp/

従来の保冷性や耐衝撃性、オプション品による拡張性はそのままに、軽さとコンパクトさを追求した２モデル。（上）2Lペットボトルを縦に入れられる25QTモデル。￥29700（下）少人数キャンプでの食材庫として最適な35QTモデル。￥39600

（左）ロトモールド製法による分厚く堅牢なボディは健在。1、2泊のキャンプにはオーバースペックなほどだ。（右）35QTモデルの両サイドに取り付けられたハンドルにはザイルを使用。こちらもハードな使用に耐えうるタフなつくりに。



DAMD
Styling Effect
0120-53-9991

GO OUT Choice

GOC05

Item

TENT & TARP NEW GEARS

この春ホットな2つの最新幕!!
連結テントとカーサイドタープ。

春の新作ギア情報が飛び交うこの時期。キャンプの最重要ギアといえるテント&タープについてはとりわけ気になるところ！ 今季も各アウトドアブランドから多種多様なテント&タープが発表されているが、中でもホットな2つのトピックスをピックアップ！ ドーム型テントの先駆者である「ザ・ノース・フェイス」からは、テント同士を連結することで居住空間を拡張していくことができる新シリーズ。そして日本ではバッグでおなじみの「ケルティ」から、クルマに取り付けられるカーサイドタープがスタンバイ！ “繋ぐ”ことで快適な空間を築く両社の新作。春キャンプ用に幕を新調するなら是非とも候補に加えておきたい！

THE NORTH FACE

サイズの異なる３つのテントを連結することで、独立したリビングや寝室を備えた大きな居住空間を作ることができる新シリーズ「Eva」。ハブとなる6人用テントとしても使えるシェルターに、4人用テント、2人用テントの3型がラインナップ。もちろん、それぞれ単体でも使用可能。

(問) ゴールドウイン カスタマーサービスセンター

tel：0120-307-560　www.goldwin.co.jp/tnf/

各モデルともダブルウォール構造のインナー付きで寝室としても使用可能。（左）連結時のハブとなる6人用。￥66000（中）縦長な形状の4人用。￥31900（右）重量約3.76kgの２人用￥20900

タープと同色の収納袋が付属。収納時は約58×18×18cmとコンパクト。カラーはアウトドアライクなグリーンのほか、ミリタリーテイストなコヨーテもラインナップ。

KELTY

屋根を伝って両ホイールにウェビングを通し、付属のスチールポールを立て、ガイラインを張れば設営完了という簡単設計なカーサイドタープ。展開サイズは337×420×244cmなので、デュオなら余裕を持って使えそうだ。￥22000

(問) アリガインターナショナル

tel：03-6659-4126　www.kelty.co.jp

GO OUT ONLINE

デザイナーの考える“HAPPY”や“FUN”を落とし込んだ、ユーザーの感情が高ぶるようなコレクションを提案する「ネイタルデザイン」。同ブランドによるGO OUT Onlineジャックの人気企画が再び開催。コラボモデルやフィギュアにと、ファン垂涎のアイテムが盛りだくさん。

Photo／Sosuke Shimizu

3/15(月)から「ネイタルデザイン」がジャック！ 多彩なコラボ作や、おなじみの人気アイテムが登場!!

NATAL DESIGN × castelmerlino
TABLE 120×60
¥28600

イタリアの老舗木工家具メーカー、カステルメルリーノに別注したテーブルが登場。現在は日本で手に入らない横幅120cmのモデルの天板にロゴを焼印したうえ、安定感のあるスチール製の脚をネイタルらしくイエローにアレンジ。**先行予約**

NATAL DESIGN × SHAKA × GO OUT
CHILL OUT SF ND Ver.
¥14300

シャカの新モデルをベースに、アッパーに同ブランドで人気のオリジナルカモをセット。脱着式のバックストラップ、クッション性と耐久性の高いソールを、フィールドに馴染むアースカラーでデザインしたのもコラボのポイント。**先行予約**

NATAL DESIGN × NORAs × GO OUT
NORAs オラオラs テーブル ND ver.
¥16280

気鋭のガレージブランドが送り出す、天板の穴とスリットにストーブやバーナーがセット可能なミニテーブルの別注バージョン。ブランドのデザインと木目の配色でアレンジしたスペシャルモデルに、カモ柄生地の収納ケースが付属する。**先行予約**

NATAL DESIGN × solworks
solol ND ver.
各¥16500

ソルワークスのLED用ランタンシェードをネイタルデザインのファブリックでデザインしたコラボモデル。折り紙の技術を応用した特殊なデザインが特徴で、上部のドローコードを引っ張ると形状が変化して様々なLEDランタンにフィット。**抽選販売**

※価格は全て10%の消費税込みの表記となっております。また、商品の内容やお届け時期は変更することがありますのでご了承下さい。印刷の都合上、商品の画像が実際の色目や素材感と若干異なる場合がありますので予めご了承下さい。

NATAL DESIGN × nalgene
(左)nalgene TRITAN WIDE MOUTH 16oz OUTDOOR STORE VER.
¥3300
(右)nalgene TRITAN WIDE MOUTH 32oz OUTDOOR STORE VER.
¥3850

ネイタルデザインが企画するOUTDOOR STOREのロゴをプリントし、さらに通常とは異なる配色のキャップを採用したナルゲンとのコラボボトル。持ち歩くのに適した500ml、ウォーターストッカーとして便利な1.0Lの2サイズを展開。

NATAL DESIGN × ALDIES × GO OUT
NATALDIES BOY CAP
¥6930

アナグリフ3Dを連想させるアールディーズのお得意のステッチワークが目を引くコラボキャップに新色が登場。深すぎず浅すぎずのクラウンとフラットなバイザーを組み合わせた、頭の収まりが抜群なシルエットもポイント。**先行予約**

NATAL DESIGN × HALF TRACK PRODUCTS × Ballistics
LAMP SHADE
¥5500

お馴染みのレトロストライプを落とし込んだオリジナルの1000Dナイロンによってハーフトラックプロダクツの人気モデルがネイタル仕様に。ジェントスの"036"やベアボーンズの"ビーコンカラビナライト"などにぴったりのサイズ。**先行予約**

NATAL DESIGN × Oregonian Camper
Kompression Kooler
¥12100

オレゴニアン・キャンパーのコンプレッション可能なクーラーバッグをオリジナルのレトロストライプ生地でデザイン。上蓋と側面、底面に封入された保温・保冷を高める中綿は、収納ボックス時のクッションとしても活躍。**先行予約**

※先行予約の商品に関しての詳細(納期など)は、GO OUT Onlineの各商品ページでご確認下さい。
※全ての商品は在庫に限りがありますので、売り切れ次第、販売終了となるものもあります。ご了承下さい。
※写真はサンプルのため、実際の商品とは一部仕様が異なることがあります。

本企画のために用意されたGAAACYの新色がスタンバイ!

ナンガのキャラクターに認定され、フィギュアファンの間ではコレクターズアイテムにもなっているGAAACYとBIG GAAACY。日本が世界に誇るソフビブランドのゴッコ堂が製作を手掛ける両モデルの新色がジャック企画で登場。今回もユニークなカラーリングでアレンジされたお茶目な表情になること間違いなし。また、ゴッコ堂からソールドアウト必至のスペシャルアイテムも到着予定。※抽選販売

NATAL DESIGN × NANGA × GO OUT
Envelope Sleeping Bag Lux2 600
¥60500

昨年にリリースされたナンガ別注の寝袋を、今回は薄くてしなやかな生地を用いてフワッとした肌触りにアップデート。L字ジッパーを開くとブランケットになり、上から下まで連結したバッフル構造によって羽毛を温めたい場所まで移動できる。**先行予約**

NATAL DESIGN
Kamping Kushion Box
SQUARE DEEP M
¥7150

最大8ルームにセパレートできる仕切りが付く、ボックスタイプのセミハードケース。大切なキャンプギアをまとめて収納してもよし、カメラ機材やガジェット類を入れてもよし、アウトドアでキブンの上がるアイテムに。**先行予約**

NATAL DESIGN × RIDE BAG
メッセンジャーバッグ
¥41800

元メッセンジャーのマリアッチ氏が手掛けるバッグブランドとの共作。デザイナー自らが手仕事で仕上げるバッグは、ハードな使用にも耐えるヘビーデューティデザインに加え、ストレスのない快適な掛け心地も追求。**先行予約**

NATAL DESIGN
Kamping Kushion Box
SQUARE FLAT M
¥6600

"Kamping Kushion Box SQUARE DEEP M"よりも浅めにデザインされたフラット型。同じく収納スペースを8つに小分けできる仕切りがセットされ、持ち運ぶギアに合わせて荷室のサイズがアレンジ可能。**先行予約**

NATAL DESIGN
Kamping Kushion Box RECTANGLE M
¥5500

オイルランタンやガスカートリッジなどの大型ギアを収納するのにフィットしたセミハードギアバッグ。内側には最大3ルームに分けられる仕切り付きで、側面の持ち手は収納棚などから引き出しやすくするための好ディテール。**先行予約**

NATAL DESIGN × HALF TRACK PRODUCTS
IBP
各¥6600

サイフやスマートフォンを収納できるサイズ感に仕上げたハーフトラックプロダクツとのコラボポーチ。内袋を引き出すと500mlのペットボトルが入る大きさに拡張され、両者のロゴラベルを重ねたフロントのデザインもユニーク。**先行予約**

NATAL DESIGN × STANLEY × GO OUT
ADVENTURE VACUUM MUG
OUTDOOR STORE VER. 8oz
¥4400

OUTDOOR STOREのロゴをオンしたスタンレーのスペシャル真空マグ。コーヒーの持ち運びに適した8オンスタイプをGO OUT限定の配色に仕上げ、バックには忙しい現代人に向けてマザー・テレサの名言をプリント。

NATAL DESIGN × SOTO
SOTO スライドガストーチ
OUTDOOR STORE ver. [BLACK]
¥2970

アウトドアの定番アイテムである小型耐風ガストーチ"ST-480"をオールブラックにアレンジしたスペシャルモデル。OUTDOOR STOREのロゴを施したのも別注のポイントで、火口を伸ばせば安全に使えて縮めればコンパクトに。

NATAL DESIGN ×
HALF TRACK PRODUCTS
POLE SNAKE SKIN
各¥8800

ランタンハンガーを地面に打ち込んだ状態で取り付ける装飾用のカバー。サイドに配置したデイジーチェーンで利便性が高まったうえ、内側下部の折り返しポケットを使うことによって収納ケースとしても活躍する。**先行予約**

NATAL DESIGN ×
HALF TRACK PRODUCTS × Ballistics
WET COVER POCKET ADVENTURE
各¥5500

ハーフトラックプロダクツとバリスティクスのウェットティッシュカバーに、ネイタルデザインのタフなオリジナル生地を落とし込んでトリプルコラボ。フロントとバックに何かと使い勝手の良いポケットをレイアウト。**先行予約**

NATAL DESIGN × Platchamp
VINTAGE CUTLERY SET OUTDOOR STORE Ver.
¥4400

ナイフとフォーク、スプーンが一つにジョイントできる、プラットチャンプに別注したステンレスカトラリーセット。ナイフの刃にメッセージ、持ち手にロゴをプリントしたスペシャルエディションはエイジング加工によってアンティーク調のゴールドに。**先行予約**

NATAL DESIGN × Platchamp
FLAT PLATE 30 OUTDOOR STORE Ver.
¥5390

ダークグレーのニューカラーとOUTDOOR STOREのロゴが組み合わさることで、レトロな風合いに仕上がった琺瑯製プレート。盛り付け皿としてはもちろん、ワンプレートランチスタイルにもフィットする、一度使うと手放せない30cmサイズ。**先行予約**

NATAL DESIGN
GOOD BOY CAP(DENIM)
¥6380

数ある7パネルキャップの中で、No.1の人気を誇る定番モデルのデニムバージョン。立体感のあるロゴデザインのステッチをはじめ、フロントのロープやバックのアジャスター、クラウンの通気孔をホワイトで統一してクリーンな印象に。**先行予約**

NATAL DESIGN
(左)SIERRA CUP CLASSIC
¥3080
(右)SIERRA CUP DEEP BOTTOM CLASSIC
¥3080

ジャパンメイドのステンレス製ボディを使い、内側の底部にネイタルデザインのサークルロゴをエンボス。深さの異なる2サイズが用意され、外側をシンプルなホワイトで塗装してクラシカルなデザインをモダナイズ。

NATAL DESIGN
ADVENTURE KEY HOLDER
¥1320

淡いブルーにレッドとイエローOUTDOOR STOREのロゴが映える、ジャック企画ために用意された限定カラーのキーホルダー。カギやバッグと好相性なのはもちろん、テントや寝袋のファスナーに装着するとジッパーが開閉しやすくなって便利。**先行予約**

NATAL DESIGN ×
HALF TRACK PRODUCTS
BANK ND1
各¥6600

内側の片面に大小のカードホルダー、反対面に十分なスペースの小銭入れが配置され、中央にお札が収納できるようにデザインされたウォレット。スマートフォンや通帳がすっぽりと収まる外側のポケットもポイント。**先行予約**

※先行予約の商品に関しての詳細(納期など)は、GO OUT Onlineの各商品ページでご確認下さい。
※全ての商品は在庫に限りがありますので、売り切れ次第、販売終了となるものもあります。ご了承下さい。
※写真はサンプルのため、実際の商品とは一部仕様が異なることがあります。

今回のジャック企画記念として「先着」で購入者限定のオリジナルステッカーをプレゼント。

PCに貼ってカスタムしたい特製ステッカーをご用意。

ネイタルデザインのジャック企画が開催されるのは、3月15日(月)お昼12時から18日(木)午前11時59分まで。この期間中に同ブランドの商品を購入された方に、今回のためにデザインされたオリジナルステッカーを先着でプレゼント。また、豪華アイテムが当たるプレゼント企画も予定。一部のアイテムは抽選販売になり、ココでご紹介しているギアやバッグに加え、まだまだ豪華なアイテムが用意されているのでお楽しみに! 詳しくはGO OUT Online(www.goout.jp)とGO OUT WEB(web.goout.jp)をチェック!!

NATAL DESIGN
Kamping Big Tote Bag
¥13200

小分け用のポケットを備えたフラップは外に出しても中に入れても使える、ギアなどをまとめて収納可能なビッグサイズのトートバッグ。タフな1000デニールナイロンが採用され、両サイドにストラップやカラビナを装着できるDループ付き。**先行予約**

自宅で仕事をする機会が増え、仕事環境をより良くするため休日に友人を誘ってリモートワークで使用するデスクとチェアのD.I.Y.にチャレンジ。1階のリビングからウッドデッキ、外の庭まで繋がっているかのような抜け感が気持ちいい空間は、友人と過ごす時間をよりチルアウトしてくれる。

WONDERFUL EXHIBITION ROOMS TOUR

BESSの家

家にいる時間が増え、より快適におうち時間を過ごすためにインテリアをこだわるヒトが増えている様子。今回はBESSの家で楽しむD.I.Y.スタイルを演出してみました。

Photo／Dai Yamamoto　Styling／Ryosuke Ito

春先には庭やウッドデッキでD.I.Y.を楽しむ、ログハウスならではの自由で理想的な暮らし。

春の訪れとともにウッドデッキやベランダ、庭で過ごす時間も少しずつ増える季節となりました。家で過ごす時間が長くなっていることから部屋の模様替えをしたり、リモートワークのためにワークスペースを作ったりと、ホームセンターなどで材料を購入して自宅でD.I.Y.をするヒトが増えているみたいです。BESSのログハウスなら庭での作業はもちろん、ウッドデッキやベランダも十分なスペースがあるので作業場としてもぴったり。柱や壁も木材なので、直接ビスを打ち込んだりしてラックや棚だって取り付けることができちゃいます。今回は三角屋根が特徴のログハウス「G-LOG」とログ小屋の「IMAGO」をつなぐ庭スペースをメインにD.I.Y.を楽しんでみました。

軒下のベランダ空間が特徴的な、
三角屋根の新世代ログハウス。

G-LOG

空に向かって伸びる大きな勾配をもつシャープな三角屋根が目印の新世代ログハウス「G-LOG（ジーログ）」。軒下には、まるで空中のベランダ空間のようなNIDO（ニド）が広がり、屋根裏部屋のような大きなグルニエも完備。外でも中でもない秘密基地のような空間は、アイデア次第で楽しみ方も無限大。あえて手間をかけることで愛着が増す木の家は、暮らしも家も大事にできる。

1.D.I.Y.の準備をしながらトークタイム。**2.**2台並べて木材を渡すと作業台に。フォールディングソーホース各￥4400／P.F.S.パーツセンター（P.F.S.パーツセンター）**3.** 軽量で頑丈なコンテナには工具を収納。アルミコンテナ￥10120、作業灯￥3080、白いペール缶￥1430／すべてP.F.S.パーツセンター（P.F.S.パーツセンター）**4.**ウッドデッキのチェアでひと休み。赤＆茶チェア各￥13200／P.F.S.パーツセンター（P.F.S.パーツセンター）**5.**金物工具はヤスリとウエスで磨いてメンテナンス。アルミハンドル￥1100〜1320／P.F.S.パーツセンター（P.F.S.パーツセンター）**6.**観葉植物にはポット代わりにバケツを。バケツ￥3080／P.F.S.パーツセンター（P.F.S.パーツセンター）**7.**スケールはD.I.Y.の必需品。

三角屋根の下に広がる超ベランダ空間NIDO（ニド）も、D.I.Y.を楽しめる好スポット。2階は日当たりもいいので、柱や壁にビスを打ち込んでグリーンを飾ったりするのもおすすめ。グレーの工具箱￥4950／P.F.S.パーツセンター（P.F.S.パーツセンター）

最寄りのLOGWAYで「火のある暮らし」を体感しよう!!

この冬も、全国のLOGWAYでは「火のある暮らし体験」を実施中!! 単独展示場ならではのゆったりとしたスペースで、薪を割ったり、簡単な薪ストーブ料理を作ったり、火のある暮らしを体感できる。また、予約制で1棟丸ごと貸し切りできる「貸切暮らし体験」も展開し、家族水入らずで、密を避けながら暮らし体感ができるプログラムに。くわしくは最寄りのLOGWAYまで！

火のある暮らし
詳細はこちら!!

木に囲まれたBESSでの暮らしは、
D.I.Y.好きにはたまりません!!

長田隆誠さん（P.F.S. PR）
曽根田優太さん（P.F.S. パーツセンター スタッフ）

D.I.Y.にぴったりな各種パーツや工具をはじめ、オリジナル家具や輸入工業製品、生活雑貨を取り扱うパシフィック・ファニチャー・サービスの仲良し2人組に、BESSの暮らしを体感してもらいました。休日には友人とスノボーやキャンプといったアウトドアも楽しむ2人。今年はテンカラやフライフィッシングに挑戦!!

（問）LOGWAY BESSスクエア　tel：03-3462-7000　www.bess.jp

CONVERSE CAMPING SUPPLY

街でもフィールドでも主役級に活躍する、今季のコンバース キャンピングサプライ。

アウトドアスペックの新シリーズとして展開される「コンバース キャンピングサプライ」。90年代のアーカイブを現代的にアレンジしたデザインも話題のフットウェアから、今季のアップデートモデルをお届け!!

Photo／Shouta Kikuchi　Styling／Tomomichi Kondo　Model／Mika

今シーズンのRSS CPは、ストリート系ファッションのアクセントとして注目を集めるシルバー1色のみを展開。金属製のバックルとともに、街でもフィールドでも足元が主役となるコーデを実現してくれる。シューズRSS CP FR￥13200（コンバースインフォメーションセンター）ブルゾン￥60500、スウェット￥30800、パンツ￥30800／すべてミーンズワイル（ミーンズワイル）

優れた防水性能を備えるQAK CPのミリタリーテイストなカラバリとなるダークベージュは、アーバンなアウトドアスタイルにもちろんフィット。モデル名やスペックをプリントで表記したミルスペック風のタンも特徴。シューズQAK CP￥12100（コンバースインフォメーションセンター）ブルゾン￥19800、Tシャツ￥5995／ともにケルティ（ゴコウ）その他スタイリスト私物

（左）幅の広いベルトテープに金属製バックルを装備してミリタリーな印象に。（右）防災道具にも使われるターポリンと表面PUコーティング加工ナイロンのコンビ使い。

見た目にたがわぬ機能を採用！火の粉に強いキャンプシューズ。

RSS CP FR

'95年に登場のクロストレーニングシューズRESISTORをアレンジしたモデルに、インパクト抜群のシルバーが登場。防災ギアのようなルックスは見せかけではなく、焚き火などで火の粉がついても燃えにくい素材となっているので、キャンプシーンでも頼れる。￥13200

独自の防水スペックを備えた、アウトドアシューズの新カラー。

QAK CP

昨シーズン評判を集めたQAK CPの新色となるダークネイビー。'92年登場のアウトドアシューズQUAKEがベースのデザインに、テフロン加工のコーデュラを採用することで、優れた耐久性、撥水性、防汚性を発揮。￥12100
※CORDURA®は、耐久性に優れたファブリックに対するインビスタ(INVISTA)社の登録商標です。「テフロン™」および「Teflon™」はケマーズ社の商標です。ライセンスによりコンバースジャパン株式会社が使用しています。

（左）脱ぎ履きをスムーズにするコードロックを備えたゴアレース。（右）テフロン加工のコーデュラはリサイクルポリエステル由来なので環境に配慮していることも特徴。

消防士の現場ユニフォームのようなシルバーの出で立ちのとおり、火を扱うシーンでも安心のスペックを備えるので、ストリートスタイルでも、フィールドスタイルでも活躍してくれる意欲作といえる。

（問）コンバースインフォメーションセンター　tel：0120-819-217　https://converse.co.jp/conversecampingsupply/

MOUNTAIN RESEARCH
White Mountaineering
ALDIES
BAMBOO SHOOTS
F/CE.
BROWN by 2-tacs
POLeR
Champion
South2 West8
Abu Garcia
nonnative
CHUMS
HOKA
and wander
Rocky Mountain Featherbed Co. Jackson, Wyoming
Barbour
AlexanderLeeChang
MOUNTAINSMITH GOLDEN, COLORADO U.S.A.
Rokx
NATAL DESIGN
THE NORTH FACE made possible by nanamica
mont-bell
FILSON SINCE 1897
MERRELL.

LE BRAND 100

緊急事態な冬が過ぎようとしても、この先いろいろと予定外なことがあったりするとは思いますが、だんだんと暖かさを感じるようになってきて、やっぱり春は変わらずにやってきている様子ですね！ ボクらが大好きなアウトドアファッションも、この春の新作が続々とスタンバイする時期ということで、みなさんのワードローブに欠かせない注目ブランドの今シーズンのNEWアイテムたちを一気にピックアップしてきました。この春はキブンをより一層盛り上げて、みんなで前向きに楽しんじゃいましょう‼

Photo／Shouta Kikuchi　Text／Tamaki Itakura, Sachio Kanai, Shuhei Sato

tilak
Teva
carhartt WORK IN PROGRESS
Jack Wolfskin
GO HEMP
BACH BACKPACKS
go slow caravan
grn outdoor
OUTDOOR GARMENT
BURLAP OUTFITTER
snow peak outdoor lifestyle creator since1958
norbit by Hiroshi Nozawa
HOUDINI
is-ness
OSPREY
TOPO DESIGNS
CAL O LINE
Liberaiders
gym master athletic wear
WOODS CANADA
Needles
STANDARD CALIFORNIA
REMI RELIEF Japan
Rab THE MOUNTAIN PEOPLE
meanswhile

OUTDOOR STY

アウトドアスタイルな全100ブランド、
春の新作アイテムを前のめりチェック！

THE NORTH FACE

001 THE NORTH FACE
ザ・ノース・フェイス

サンフランシスコのノースビーチにダウンヒルスキー用品ショップとしてオープンしたのがはじまり。2年後の1968年には自社製品の開発を進め、続々とヒット作を生み出した。現在もアメリカを代表するアウトドアブランドに君臨し、世界中で高く評価されている。

(問) ゴールドウイン カスタマーサービスセンター
tel：0120-307-560　www.goldwin.co.jp/tnf

3

1

7

4

8

5

2

6

9

1.東レのナノ技術によって開発された、安全性の高い防虫テキスタイルWithReliefを採用。さらにメッシュ素材Dot Airで通気性も担保した。￥25300　**2.**着火すると微量のガスを発生させて無酸素状態にし、延焼を防ぐデニムパンツ。￥17600　**3.**クラシックフォルムのキャップをスクエアロゴで現代的に。コットンライクなポリエステル素材を使用。￥3960　**4.**再生繊維とオーガニックコットンを使ったボディに、カラコラム山脈がモチーフのグラフィックロゴを。￥7480　**5.**背面にメッセージをプリント。リサイクル素材を採用した環境配慮アイテムとなっている。￥4620　**6.**強撥水の表地に疎水性素材ポリプロピレンのメッシュ裏地をセット。肌に付かない水陸両用ショーツが完成した。￥7700　**7.**タフな70デニールの表地を採用する2層のゴアテックスジャケットから新色が登場。対象アイテムをジップでインナーに連結できる。￥39600　**8.**軽量かつソフトで通気性にも優れるVent Mesh生地を使う。フィールド問わず使える汎用性の高さが強み。￥16500　**9.**コーデュラナイロンをアッパーに使い、防水メンブレンもインサートしているので水に強くムレにくい。￥17600

002 Patagonia
パタゴニア

1973年にカリフォルニア州ベンチュラで創業。「私たちは、故郷である地球を救うためにビジネスを営む」と掲げ、リサイクル素材やオーガニックコットン、フェアトレード・サーティファイド縫製を多く採用している。所有ギアをより長期間活用するプログラムも実施。

（問）パタゴニア日本支社 カスタマーサービス
www.patagonia.jp/contact

3

1

7

4

8

2

5

9

6

1.H2Noパフォーマンス・スタンダードを採用し、最高レベルの快適さと劣化しにくい防水性を実現したシェルジャケット。￥22000 **2.**オーガニック素材を動きやすく、幅広いシーンで使えるシルエットに。￥8580 **3.**超軽量なリップストップ・リサイクル・ナイロンをフェアトレード・サーティファイドの縫製で。カンガルーポケットと本体を収納可能な隠しジッパー式ポケット付き。￥14850 **4.**コットンとヘンプのブレンド素材で軽いコーチジャケットを。￥16500 **5.**肌触りのよいオーガニックコットンで仕立てた。ライトオンスなので季節問わず活躍する。￥11550 **6.**軽量で丈夫なリサイクル素材100%。携帯時にはポケットに本体を収納できる。￥4180 **7.**リサイクルした漁網から作ったブレオ社の追跡可能なNetPlusをバイザーに。ボディはオーガニックコットン100%素材。￥4620 **8.**やわらかくて吸湿発散性の高いRWS（レスポンシブル・ウール・スタンダード）認証済みメリノウールを使用。￥9350 **9.**補強を施したタフなグリップが頼もしいオーガニックコットン・キャンバス製。製造段階で発生する端切れの量を削減するプロセスがとられている。￥3850

003 ARC'TERYX
アークテリクス

1989年、カナダでクライミング用ハーネスからスタート。洗練されたデザインと革新的なモノづくりで、アウトドアシーンの常識を数多く再定義してきた。極限の環境で最高のパフォーマンスを発揮できるハイスペック＆デザインを追求し、今なお進化を続けている。
(問) アークテリクス コールセンター　tel：03-6631-0833
https://arcteryx.com/jp/jp

4

1

7

5

2

8

3

6

9

1.ゴアテックスによって防水防風透湿性を確保したソーヤー コート。立体構造だから動きやすい。￥64900　**2.**シワになりにくいディエム™ポリエステルを使用する。軽量で通気速乾性にも優れているので外遊びや旅行に最適。￥13200　**3.**ロードトリップやアクティビティなどのためにデザイン。軽くてベタつきにくく快適さが長持ちする。￥12100　**4.**防風と耐水性に優れるゴアテックス インフィニウム™テクノロジーを採用。起毛ライナーで気持ちいい着心地に。￥29700　**5.**ポリエステルとウールの混紡ニットにより調湿機能と防臭効果を獲得した。背中を保護する長め丈がサイクリストにピッタリ。￥12100　**6.**吸湿性や動きやすさにコットンの快適さを備える。合わせやすいシルエットでシーンを問わずに穿けるのも◎。￥15400　**7.**部位ごとに最適な素材を配し、透湿吸汗性や速乾性を向上させたキャップ。￥4620　**8.**湿気を逃がす軽量のオーガニックコットン混紡素材が暑いシーズンのストレスを軽減するTシャツ。ラミネート加工のポケットがアクセントに。￥7150　**9.**コットンとポリエステルの混紡素材デフォー™を採用。自然な柔らかさと透湿性を両立させた。￥9900

004 Goldwin
ゴールドウイン

スキー、マウンテン、ダイナミズムの3つのエレメントで構成されるシンボルを持つ、ニッポン屈指のスポーツブランド。長年スキーカルチャーの牽引者である経験を生かし、アウトドアの合理性を追求したフォルムや機能と、アーバンライフでも映えるデザインを融合させる。

(問) ゴールドウイン 原宿　tel：03-6419-7920
www.goldwin.co.jp/goldwin

1

4

7

2

5

8

3

6

9

1.急な天候変化に対応可能な撥水性を備える。20デニールと薄く軽いが、リップストップで耐久性も文句なし。￥20900　**2.**軽くてしなやかな着心地の二重織ソフトシェル素材。伸縮性と強度に優れ、撥水性も高い。￥30800　**3.**ソフトでストレッチが効いたポリエステル100%のシャツ。ハリ感や優れた形態回復性も魅力。￥26400　**4.**防水透湿素材パーテックス®アンリミテッドをミリタリーテイストに。ラフに着られるゆったりシルエット。￥52800　**5.**ストレッチ機能とナチュラルな風合いを持つツイル生地。左の腰ポケット内側にセキュリティポケットを装備する。￥24200　**6.**コットンとコーデュラ®ナイロンを併用したリップストップのパンツ。裾を絞るとシルエットの変化が楽しめる。￥24200　**7.**高密度ポリエステルを特殊なモミ加工によってコットン的風合いに仕上げた。復元力が高くイージーケアなのも魅力的。￥38500　**8.**ベタつきを軽減する2.5層構造で防水透湿性も備える。生地が擦れやすい箇所にはコーデュラ®素材の補強を施す。￥29700　**9.**通気性に優れるパーテックス®シールド エアを採用するので、高温多湿の環境下でもストレスなく着られる。￥41800

snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

005 Snow Peak
スノーピーク

新潟県三条市から多数の名作ギアを生み出す老舗アウトドアブランド。独自の視点で素材開発とデザインを行い、日常着にアウトドアの機能、知恵を備えさせたアパレルラインも人気が高い。「HOME⇄CAMP」をコンセプトとして、街と自然を行き来するウエアを提案している。

（問）スノーピーク　tel：0120-010-660
www.snowpeak.co.jp

1

4

7

2

5

8

3

6

9

1.いかなるシチュエーションでもつねに高い防水耐久性を発揮するハイテク素材TORAINを使用。快適な着用感がキープされるのも◎。¥9680　**2.**左右に大きく取られたファスナーはベンチレーションのほかにも多くの機能を備える。¥44000　**3.**アッパーは通気性のあるコーデュラメッシュで、ホールド感をウェビングで調整できる。Vibramソールだからグリップ性もバツグン。¥35200　**4.**しなやかなストレッチ性の高機能素材Primeflex®を採用。非常に軽くアクティブシーンでもストレスなし。¥26400　**5.**難燃デニムを使った焚き火対応エプロン。絶妙なバランスの大容量ポケットが使いやすい。¥24200　**6.**綿糸とナイロン糸を職人技で高密度に織り、とても軽量でペーパーライクな触感に仕上げる人気シリーズに新色が追加。¥41800　**7.**フロントに大型ポケットを3つ装備。インフードが付いているため急な天候の変化にも対応できる。¥70400　**8.**フロントはアスタリスクをソリッドステークで再現し、バックにはペグハンマーを持った手をプリント。¥5280　**9.**Polartec Alpha®を中綿に採用し、表地のタテ糸には植物由来のエコ素材を取り入れた。¥17600

White Mountaineering®

006 White Mountaineering
ホワイトマウンテニアリング

「服を着るフィールドは全てアウトドア」とし、デザインと実用性、技術の3要素をひとつの形にする。今季はより日常のスタイルを意識。サイズスペックをリラックスシルエットに作り替え、アウトドアやスポーツのルーツを踏襲しつつファッション性も高めている。

（問）ホワイトマウンテニアリング　tel：03-6416-5381
www.whitemountaineering.com

4

1

7

2

5

8

3

6

9

1.「ミレー」とのコラボ。ポリエステルスムースのSAITOS3レイヤー生地に、15個ものファスナーポケットを配した。￥105600　**2.**ボディは縦横に綿糸とナイロン糸を使用したハリ、コシがある素材。ポケットにはパナマクロスを。￥53900　**3.**トレイルランニング用のベストをショーツにレイヤードしたような個性的デザイン。￥48400　**4.**5種類の生地を同じトーンでまとめたラゲッジマウンテンパーカ。アームホールのない変型ヨークスリーブ、レイヤード風のデザインが目をひく。￥85800　**5.**複数のポケットがテック感を醸し出す。脇に大きくマチがとられているので動きやすい。￥52800　**6.**3種類の素材を組み合わせ、前開き2本ファスナーも装備。アノラック風味のスタイルに。￥49500　**7.**マチの大きいパッチポケットやワイドに開くファスナーポケットなど、圧倒的な収納力を誇るラゲッジベストをカバーオールに融合。￥96800　**8.**袖口にフェイクレイヤードを取り入れた「ミレー」別注のポロシャツ。￥29700　**9.**複雑に組み合わされた素材使いやスニーカーをくり抜いたようなデザインが異彩を放つ。荒れた路面にも対応するVibramソールもポイント。￥36300

007 SOUTH2 WEST8
サウス2 ウエスト8

2003年に自然豊かな北海道でスタート。ブランド名の由来は札幌のフラッグシップストアの住所から。フィッシングをメインテーマとし、今シーズンも日本古来の釣法テンカラに特化したプロダクトが継続。加えて、色や柄にこだわった街向けの逸品も充実させている。

(問）サウス2 ウエスト8　tel：011-280-7577
https://south2west8.com

3

1

7

4

2

8

5

6

9

1.防虫加工のメッシュを大胆に取り入れた。ブッシュに足を踏み入れても落ち着いて釣り糸が垂らせる。¥45100　**2.**ダックハンターやタイガーなど、複数の迷彩をファティーグパンツに。¥20900　**3.**各パーツに異なるカモフラをインストール。バックにはシンボルのディアスカル刺しゅうが。¥13200　**4.**斜めポケットやフード収納立ちエリなどが特徴の人気アウター、カーメルジャケットをムラ染めでアップデート。アーバンアウトドアのノリを強めた。¥71500　**5.**ヘビーウエイトのメッシュでメイクした、収納が多くテンカラ釣りに最適な多機能ベスト。オリジナルのプリントが迫力あり。¥28600　**6.**ノーストレスで穿けるイージーウエストでシルエットも太め。適度な光沢が高級感を醸し出してくれる。¥31900　**7.**合わせやすいコーチジャケットをさまざまなカモフラで個性的に演出。同柄パンツとのセットアップもオススメ。¥30800　**8.**定番展開のモデル。左胸と背中にはメリハリの効いたカラーでブランドアイコンがプリントされる。¥28600　**9.**ポリコットン素材だから速乾性があり肌触りも気持ち良い。水まわりのアクティビティで役立つこと必至。¥9900

F/CE.®

008 F/CE.®
エフシーイー

毎シーズン、世界いずれかの国をテーマに掲げて展開。今季は先シーズンから引き続きイギリスをピックアップし、'80年代後半〜'90年代半ばに起きたムーブメント「マンチェスター・サウンド＝マッドチェスター」に焦点を当てる。環境への配慮もさらに深く追求。

（問）ルート　tel：03-6452-5867

http://fce.tools

1

4

7

2

5

8

3

6

9

1.オーガニックコットンとリサイクルナイロンのブレンドによる高密度ツイルに、フッ素フリーの撥水加工を施す。￥46200　**2.**パッカブル仕様のショートカバーオール。背中のヨークには清涼感あるクールマックスメッシュが。￥28600　**3.**イギリス軍のロードキャリーベストがモチーフ。バッグのパーツを取り入れてエフシーイーらしさも注入。￥31900　**4.**'80年代のクルーザージャケットをイメージしたカラーリング。脇下にマチがあり動きやすい。￥44000　**5.**太めベイカーパンツをハイウエスト＆センタープレスで上品に。穿くほどに風合いの出るリサイクルナイロンとコットンの混紡素材。￥26400　**6.**シルクタッチの優しい着心地で、着脱しやすいフロントスナップ。ボックスシルエットが'80s感を漂わせる。￥19800　**7.**フランスのリヨン近郊で作られたプリント生地を使用。アームホールが大きいのでゆったりと着られる。￥26400　**8.**オーガニックコットンにピグメント加工を施してフェイド感を演出。レイヤード的デザインも落とし込んだ。￥13200　**9.**可動域が大きいドロップショルダー。ボリュームある'80年代風のシルエットも特徴的な1着。￥41800

009 MOUNTAIN RESEARCH
マウンテンリサーチ

山の暮らしを謳い、独自に「山」路線を突き進む中目黒発信のブランド。今季は「SUGAR MOUNTAIN」をタイトルとし、不思議な出で立ちをした山の衆が自身のテリトリーに迎えてくれる。フランスはパリ発のブランド「FUTUR」とのコラボアイテムもドロップ間近!!

(問)…..リサーチ ジェネラルストア　tel：03-3463-6376
https://sett.co.jp

1

4

7

2

8

5

3

9

6

1.軽妙なナイロン素材を厚盛りの刺しゅうで飾ったキャップ。モチーフのHolidays in the Mountainはスローガンにして名フレーズ。¥11000 **2.**Tシャツ感覚で使える軽量速乾ウインドブレーカー。ミリタリーライクな背中開口のおかげでバックパックを背負ってもムレ知らず。¥28600 **3.**ベンチレーションになるフロントの全開ファスナーがインパクト大。開口部からレギンスを覗かせてもよし。¥33000 **4.**軽量コットンのモッズコート型ミッド丈フーディ。同素材ベスト＆キルトパンツの3ピースでミリタリーな山パンクスタイルが完成。¥60500 **5.**人気定番の動物刺しゅうBDシャツに100%メリノウール版が登場。¥28600 **6.**フィッシングポケットを装備し、ポーチとしても使えるイージー脱着型のベルト。ジェネラルストア別注色のブラックもある。¥28600 **7.**オリジナルマウンテンハットを夏仕様に。速乾素材の脱着式スウェットバンドもポイント。¥28600 **8.**コットン天竺級に滑らかな新素材を採用した速乾タイプ。プリントされたアイコンは今季ならでは。¥11000 **9.**背面に2連大容量フラップポケットを備えて、デイパック並みの収納力を誇る。¥33000

ALDIES

010 ALDIES
アールディーズ

'04年より「LOVE＆JOKE」をコンセプトに展開。何種類もの色、生地をレイヤードしていくパッチワークのような手法は世界でも類を見ない。'80年代のポップアート的「奇抜さ」と、小さなカラーの組み合わせによる「かわいさ」を備えたアイテムが人々を惹きつける。

（問）アールディーズ 渋谷　tel：03-6455-1377

https://aldies.net

4

1

7

5

2

8

3

6

9

1.カラー切り替えやバックプリントといった十八番のデザインが目を引く。旬のワイドシルエットを取り入れ、リラックス感ある着心地に。￥32780　**2.**レーヨン生地本来の柔らかさと発色の良さを活かした。￥13530　**3.**清涼感たっぷりのライトなポリエステルでメイク。両脇の大きなポケットが機能性とアクセントをフォローする。￥15400　**4.**ショートバイザーと迫力あるロゴ刺しゅうが個性を主張。抗ウイルス機能繊維を使っているのも新しい。￥6600　**5.**ベースボールシャツに独自の解釈でアレンジを加えた。インナーにフーディを仕込んでいる風のフェイクレイヤード。￥19690　**6.**薄いポリエステルを使ったオールシーズン着用できる9.5分丈。クライミングパンツの機能性を残しつつ、よりリラックスできるようアップデートした。￥15180　**7.**ビッグシルエットにラウンドテールを。得意のユーモラスなグラフィックも高ポイント。￥7480　**8.**人気の高いビッグTシャツ。裾を絞れば好みのフォルムにチェンジできる。￥7920　**9.**ワンマイルからフィールドまで幅広く使える、オリジナルの総柄ファブリックが決め手のミニショルダーバッグ。右￥6490、左￥6380

011 and wander
アンドワンダー

「山や自然の中でも街と同じようにファッションを楽しみたい」と考えた2人のデザイナー、池内啓太と森美穂子によって設立。モード感とアウトドアウエアの実践的な機能性を追求し、自分たちが実際に山を歩いて感じた楽しさに基づいてクリエイションしている。

（問）アンドワンダー　tel：03-5787-3460
www.andwander.com

1

4

2

7

5

8

3

6

9

1.独特なシワ感のある耐久性撥水リップストップ生地に、リフレクターステッチを施した。¥15400　**2.**英国の名門「バブアー」との人気コラボ第3弾となるeVentのメンブレンやシームテープで仕上げたレインコート。3月発売予定。¥121000　**3.**インパクトあるオリジナルプリントが映える撥水ストレッチショーツ。¥33000　**4.**通気性が高い耐久撥水素材の凹凸あるリップストップを採用。肩の可動域が広い設計や部分的リフレクターステッチも特徴。¥39600　**5.**イラストレーターのジェリー鵜飼氏の描き下ろしをプリント。¥11000　**6.**撥水性とムレにくさを両立。凹凸によって肌との接地面積も減らしたので快適に着用できる。¥28600　**7.**クールマックスの糸を用いたリネン混の吸水速乾シャツ。ポケットはバックパックのストラップに干渉しない位置に。¥25300　**8.**透けにくいUVカット素材のうえ速乾性もあって水遊びにジャスト。デオドラントステッチで汗の臭いを抑える効果も。¥24200　**9.**「サロモン」との4回目となるコラボ。シームレス設計のハイキングシューズで特別なデザインとなっており随所にリフレクターが。3月発売予定。¥26400

OUTDOOR GARMENT

012 COMFY OUTDOOR GARMENT
コムフィ アウトドアガーメント

Comfy＝快適さを起点に、山服とデイリーウエアの融合点を探求。今シーズンは、綿ポリの3レイヤーで山登り中でも風が感じられるほどの高い耐水透湿性を誇る、独自に開発した生地のCOEXIST FABRICに注目が集まる。また、撥水ナイロンのシャツやショーツも充実。

（問）ロストヒルズ　tel：03-6809-5582
www.losthills.jp

4

1

7

2

5

8

3

9

6

1.撥水塩縮加工のナイロンで構築。今シーズンは日焼け防止バイザーを追加している。￥13200　**2.**フルジップで開閉できるよう設計し、プルオーバーポンチョの着脱しにくさを解消した。左ポケットに本体が収納できるパッカブル。￥44000　**3.**2層目にハイスペック素材PTFEを取り入れた3レイヤージャケット。耐水透湿性に優れ、左右非対称のデザインが着心地の良さを生み出す。￥52800　**4.**オリジナルの3レイヤー素材を採用。フードは内側で束ねるとスタンドカラーに。背面のビッグポケットに本体を収納できるパッカブル仕様。￥57200　**5.**スコットランドのキルト族から着想したスカート付きパンツ。￥30800　**6.**高通気性素材ドット エアをラップスカートのインナーショーツに仕込んだ。￥28600　**7.**オリジナル素材のCOEXIST FABRICだから水の侵入を防いで湿気は逃す。パッカブル仕様でネック近くのジップポケット内にはプルオーバーのフードを内蔵。￥52800　**8.**風と紫外線をブロックする撥水ナイロンの裏面に、経年劣化しないアクリルコーティングを。￥35200　**9.**撥水塩縮加工が入ったナイロンボディなので、非常に軽く肌触りも秀逸。￥26400

013 THE NORTH FACE PURPLE LABEL
ザ・ノース・フェイス パープルレーベル

人気セレクトショップ「ナナミカ」によるザ・ノース・フェイスの別注ライン。ブランドのコンセプトやルーツを見つめ直し、今季より新しい時代に合わせた都会で機能するアウトドアウエアを提案する。キーカラーに設定されたアスファルトグレー使いに注目を。

(問) ナナミカ 代官山　tel：03-5728-6550
www.nanamica.com

1.リサイクル原料を高密度に織り上げたナイロンタッサーで、'80年代のザ・ノース・フェイス製アノラックを現代的に蘇らせた。￥22000　**2.**定番素材の65/35ベイヘッドクロスと機能素材HYVENT®を掛け合わせた生地を採用。防水透湿性がありながらクラシックな風合いに。￥53900　**3.**ミッドウェイトのベイヘッドクロスで軽快なイメージにまとめたホッパーカーディガン。￥25300　**4.**'90年代のワイドテーパードパンツをベースにデザイン。表面に撥水加工を施し、クラシックな表情と機能性を両立。￥19800　**5.**コットンライクなナイロンタスランタフタで仕上げたフィッシングシャツ。￥16500

3

1

4

2

5

014 DESCENTE ddd
デサント ディーディーディー

日本を代表するスポーツウエアメーカーであるデサントが、長年の開発で培ってきたノウハウを活かした汎用性の高いカジュアルウエアライン。「ddd」とは3Dの意で、平面的ではなく、より立体的に表現している。ミリタリーなどのさまざまなデザインソースを採用。

(問) デサント ブラン 代官山　tel：03-6416-5989
www.descenteblanc.com

1.タスラン原糸を用いることでナチュラルな風合いを持つファブリックに、塩縮加工で独自のハリ感とヴィンテージ感をプラス。￥17600　**2.**ミリタリーテイストのハーフコートは、ナイロン短繊維のCEBONNER®をシワ加工し、ナチュラルな仕上がりに。￥30800　**3.**タスラン原糸を使った生地に塩縮加工で風合いを出したコーチジャケット。￥20900　**4.**立体的なポケットが特徴のトラックジャケットは、水滴の付着を軽減する独自の生地を採用する。柔らかな手触りも◎。￥19800　**5.**ポリエステル100%ながらもコットンのような優しい風合いのTシャツ。吸水速乾性に優れていることもポイント。￥6380

4

2

5

3

1

nonnative®

015 nonnative
ノンネイティブ

39回目のコレクションテーマは「SOUTH」。ニュージーランドを意味し、広い大地に海や空、自然豊かな風土にインスパイアされたプロダクトが揃う。とくに現地で盛んなアウトドアシーンをイメージしたアースカラーや、ミリタリーアイテムモチーフのデザインが充実。

（問）ベンダー　tel：03-6452-3072
https://coverchord.com

1.先染めの形状記憶ポリエステルリップストップを使用する。腕の動きを妨げないエルボーアクションプリーツ入り。￥50380　**2.**LIBERTY®プリントをコットンリップストップの生地表面に施した。現代風に表現された柳が独特の存在感を発揮。￥30580　**3.**同じ柄、素材のイージーパンツとセットアップコーデが可能。サイドスリットはボタンで開閉できる。￥26180　**4.**クルーネックのハイゲージニットを後染めし、さり気ないボーダーに仕上げた。￥22880　**5.**ニュージーランドを拠点に活動するマイク・ファブラスのソロプロジェクト「LORD ECHO」。そのロゴデザインがモチーフのバケットハット。￥9680

3

1

5

4

2

meanswhile

016 meanswhile
ミーンズワイル

「日常着である以上、服は衣装ではなく道具である」というアイデンティティで、「身体に最も近い道具」をコンセプトに、モノづくりの側面から機能が伴ったファッションを提案。ファブリックからこだわり、機能美とデザイン性を両立させた骨太なものづくりを実践。

（問）ミーンズワイル　info@meanswhile.net
https://meanswhile.net

1.耐久撥水加工を施したタイプライター生地を使ったカーゴショーツ。ポリエステルに微起毛加工を施すことで風合いのある仕上がりに。￥32000　**2.**コットンリネンを用いた春夏らしい素材使いが特徴。裏糸に双糸を使うことで肌触りの良さと通気性を向上。￥28200　**3.**大小6つのフラップポケットを装備したラゲッジベストは、高密度ギャバジンを採用。￥36300　**4.**名作フライトジャケットであるMA-1を超軽量マイクロリップストップで春夏向けにモディファイ。撥水加工を施しているので多少の雨にも対応する。￥44000　**5.**上のMA-1と同じく超軽量マイクロリップストップを使った半袖シャツ。￥27500

4

2

5

3

1

017 NATAL DESIGN
ネイタルデザイン

特定のテーマは設けず、デザイナー自身のライフスタイルや影響を受けたカルチャーからコレクションを展開。今季は得意とするアウトドア要素に加え、よりファッション要素を高めたラインナップで、特に染めのジャケットはハイファッションを意識した仕上がりに。
（問）スキャターブレイン　tel：03-5300-8164
www.natal.jp

1.毛足の長いオリジナルのシープ裏毛スウェット生地を用いたパンツ。太もも部分にあるメッセージプリントがアクセントに。￥18700　**2.**「シャカ」の定番サンダルCHILL OUTをベースにしたオリジナル生地の別注モデル。かかとのストラップを外すことも可能。￥14300　**3.**ドロップショルダーのワイドシルエットに仕上げたヘリテージジャケットは、特殊な染色でナイロンでも絞り染めのような雰囲気を実現。￥49500　**4.**肉厚で上質なスウェット生地を用いたスウェットパーカ。背面には大きくブランドネームのサークルロゴが入る。￥24200　**5.**定番人気のGOOD BOY CAPをアレンジしたキャップ。￥6930

3

1

4

5

2

AlexanderLeeChang

018 AlexanderLeeChang
アレキサンダーリーチャン

ブランド設立から18年目を迎える人気ブランド。ストリートに軸を置きながらも、一線を画するデザイン性とクオリティは今季も健在。オリジナルのテキスタイルや、ビビッドなカラーリングを用いたコレクションを展開。またキャンプや自宅で使えるギアなども豊富。
（問）チャング　tel：03-6804-7704
https://alexanderleechang.com

1.レゲエのレジェンドをモチーフにしたユニークなプリントと色鮮やかなカラーリングがマッチしたTシャツ。￥7150　**2.**架空のタコスショップ“タコキャット”をイメージしたプリント。ボディには速乾素材を使っている。￥17600　**3.**左右で配色の異なる切り替えが個性的なタム。春夏にぴったりなコットンアクリル素材。各￥8800　**4.**軽くて快適なサプレックスナイロンを使用したシャツは、オリジナルの猫モチーフ迷彩柄で。￥17600　**5.**シャツと同素材のショーツ。もちろんセットアップで着るのが◎。￥13200

4

2

5

3

1

is-ness

019 is-ness
イズネス

存在そのもの≒is-nessを名前に掲げる。コンテンポラリーと技術、アート、ミュージック、ファッションをキーワードに、伝統の奥深い力と現代的センスを融合させるデザイングループとして'01年より本格始動。五感では感じられない「心で感じるプロダクト」を目指す。
（問）イズネス／アルファPR　tel：03-5413-3546
www.is-ness.com

1.クラシカルな切り替えデザインが映えるトラックジャケット。薄くて軽い着用感のナイロン素材で、ライナーはメッシュだからベタつかない。¥35200 **2.**同素材のジャケットとセットアップ可能。もちろん単品でも適度な存在感あり。¥24200 **3.**ファスナーの開閉によってショートとロングの2パターンの着こなしが楽しめる。ドライな質感も特徴。¥64900 **4.**シームテープ仕様のCWUジャケット。4ウェイストレッチで3レイヤーのオリジナル素材を採用して万能タイプにアレンジした。¥60500 **5.**スタンダードなボタンダウンシャツに速乾性をプラス。軽さや季節感あるビタミンカラーもポイント。¥22000

3

1

2

4

5

020 NEEDLES
ニードルズ

人気セレクトショップ「ネペンテス」のオーナー、清水慶三氏が1995年より手がける。ネオトラスタイルにプログレッシブロックの雰囲気を取り入れたプロダクトを展開。今シーズンもさまざまなブランドとのコラボや、カプセルコレクションのリリースが控えている。
（問）ネペンテス　tel：03-3400-7227
https://needles.jp

1.「スイコック」とのコラボサンダルはソールを合わせて収納可能。鼻緒にはオリジナルファブリックを採用する。¥22000 **2.**インパクトのあるジャガード柄を押し出したトラックジャケット。通気性と伸縮性に富み、幅広いシーンで快適に着られる。¥26400 **3.**毎シーズン人気のトラックパンツをジャガードでリリース。あえてサイドラインは省き、素材の個性を引き立てた。¥23100 **4.**ブランドアイコンの蝶柄を全面に落とし込んだ、軽量なウォームアップジャケットは「NEEDLES SPORTSWEAR」の逸品となる。¥38500 **5.**ラフなワークシャツをしっとりした肌触りの生地で上品寄りにシフト。¥16500

4

2

3

5

1

021 BROWN by 2-tacs
ブラウン バイ ツータックス

「活動的日常着の提案」がブランドテーマ。素材本来の機能や風合いをオリジナルのファブリックに落とし込み、街やフィールドでの活動に心地よいウエアを作り出す。今シーズンは、暑くてもサラリと爽やかに着用できる素材を中心にしたラインナップを用意する。

（問）フォントショップ　tel：03-5724-7232
www.2-tacs.com

1.高密度のリネンポプリンを用いて軽やかな着心地を実現したキューバジャケット。膨らみある表情が魅力のピンタックテープは手作業の賜物。￥55000　**2.**ワッシャー加工のウールリネンウェザーが独特の風合いを演出。ゆとりあるテーパードシルエットがチル感満点。￥26400　**3.**高い支持率を誇る定番のメリノウール天竺によるフーディ。今シーズンは杢感のあるネイビーカラーで登場する。￥18700　**4.**ユルめのシルエットを描くレギュラーカラーシャツ。ウールナイロン生地だからベタつかず爽やかな着心地に。￥28600　**5.**メリノウールナイロン天竺を注染でタイダイ風にアレンジしたTシャツ。￥15400

3

1

2

5

4

4

2

022 norbit
ノービット

膨大な年月を経ても色褪せないタイムレスな技術と、最新のテクノロジーから生み出されるハイスペックを見事にブレンドさせて、独自の機能美を提案。新旧それぞれの素晴らしさを取り入れ、「フィールド、旅、チル」をテーマとして注目のコレクションを展開する。

（問）ファシック　tel：03-6709-8333
https://norbit.jp

1.コンフォートな穿き心地、クラシックハンティングの無骨さ、軽量の三要素を網羅したショーツ。裾はスピンドルにより調整が可能。￥24200　**2.**超軽量の3レイヤー生地を使用したレインコートは3シーズン着られる逸品。￥63800　**3.**ベースはポリエステルハードメッシュ、ポケット部にはナイロンポリのミニリップ生地、リュック中央部にはパワーネットを採用。￥30800　**4.**ポリエステルのハードメッシュ生地に、虫除け加工でコーティング。バックポケットに収納可能。￥30800　**5.**虫除け加工を施したハードメッシュ生地のパンツ。こちらもバックポケットに収納できるパッカブル仕様。￥24200

5

3

1

Battenwear

023 Battenwer
バテンウェア

日本人デザイナーである長谷川晋也氏が手掛けるメイドインUSAにこだわった実力派。今シーズンは、核であるヴィンテージのスポーツウエアやアウトドアウエアに、日本のハイテク素材をプラス。いい意味でアメリカの粗野さとニッポンの生真面目さをミックスする。
(問）アリガインターナショナル　tel：03-6659-4126
www.arg-intl.jp

1.予測不能なNYの春や夏の天気にも対応できる定番のパッカブルアノラック。ナイロンでもコットンのような手触り。￥36300　**2.**キューバの伝統的なグアヤベラシャツとハワイアンシャツの長所をミックスしたファイブポケットアイランドシャツ。￥25850　**3.**シーズン毎にアップデートされる定番のライトシェルパーカはメイドインUSA。￥42900　**4.**1枚ずつ職人によるハンドダイで仕上げられたロングスリーブT。肉厚なメイドインUSAボディを使う。￥11550　**5.**軽くて堅牢なナイロンを使ったキャンプショーツは、ゆったりとした穿き心地をもたらす1本。撥水加工を施していることも特徴。￥25850

3

1

5

4

2

4

2

CAL O LINE

024 CAL O LINE
キャル オー ライン

アメリカ黄金期のカルチャーと、後の自由を求め生まれたカウンターカルチャー。相反する2つのカルチャーを彩ったさまざまなスタイルを独自の解釈で再構築。今季は「LIFE, FASHION, LIFE.」をテーマに、こんな状況下だからこそファッションを楽しむ姿勢を提案。
(問）ユナイト ナイン　tel：03-5464-9976
https://store.unitenine.jp

1.カブーとのコラボレーションとなるストラップキャップは、アイビー的なコットンマドラスで涼しげに。￥9680　**2.**フライフィッシング用のジャケットをアップデート。シェルには軽量でしなやかな高密度撥水ナイロン、裏地にクールマックスを用いる。￥39600　**3.**ドライタッチなアメリカンコットンのボディにオールドスタイルなパロディプリント。￥6930　**4.**UVカット機能がある独特なフード切り替えデザインのTシャツ。ボディにはコットンライクな風合いの吸水速乾ポリエステルを使用する。￥16940　**5.**フォトグラファーベストのポケットディティールを取り入れた鹿の子ポロシャツ。￥14300

5

3

1

025 MOUNTAIN HARDWEAR
マウンテンハードウェア

1993年に設立。最高品質の素材と最新テクノロジー、各アクティビティに適した設計など、徹底的に機能性を追求する。春夏にプッシュするのは日本限定アイテムも登場するプレシェルコレクション。オーガニックコットンを軸に展開予定のタイダイ系も見逃せない。
(問) コロンビアスポーツウェアジャパン　tel：0120-193-803
www.mountainhardwear.jp

1.リサイクルナイロンタッサー100%の撥水ジャケット。ヨセミテCAMP4に集うクライマーを想定しているため丈夫で動きやすい。¥16500　**2.**動きやすく速乾性に優れた、ガゼットクロッチ装備のクライミングパンツ。裾はドローコードで絞れる。¥14300　**3.**3レイヤーの防水透湿ジャケットで、残雪登山や春スキーから夏山まで役に立つ。フード内に収納できるパッカブル仕様。¥29700　**4.**環境問題がモチーフのメッセージを、オーガニックコットン100%のスウェットパーカに。¥12100　**5.**軽量で水に強く伸縮通気性も備え、さまざまなアクティビティに対応するプレシェルの長袖シャツ。¥18700

3

1

2

4

5

026 Haglöfs
ホグロフス

1914年の創業から大切にしている「最小限で、最大のパフォーマンスを」＝「Less Is More」の哲学のもと開発されたL.I.Mシリーズに今シーズンは注力。軽さとパフォーマンスのベストバランスを追求した。日本限定でデリバリーのLIMITED COLLECTIONも期待される。
(問) アシックスジャパン ホグロフス事業部　www.haglofs.jp

1.L.I.Mシリーズの最新トレッキングシューズ。サステナブルなProofEcoメンブレンによって防水効果を獲得し、非常に軽量に仕上がっている。¥24750　**2.**軽さが求められるアクティビティに合わせて、ゴアテックス®アクティブをボディに採用。¥54450　**3.**耐摩耗性に優れ、軽さや速乾性も申し分ない。表面には過フッ素化合物フリーの撥水加工を施す。¥9790　**4.**夏のフィールドにハマる軽量ジャケットで、風は防いでムレを放出する。パッカブルだから携帯するのも負担ゼロ。¥18150　**5.**透湿防水性に優れるゴアテックス メンブレンを採用し、さらに裏地はメッシュだからベタつきにくい。¥59400

4

2

5

3

1

karrimor

027 karrimor
カリマー

2021年の春夏シーズンより、ブランドのアイデンティティである移動装備の拡張を目的として2つのレーベルへ進化。「ADVENTURE」をシーズンテーマに掲げたコレクション「Naturestyle」と、日々の暮らしを再定義して機能性と美しさを統合する「Lifestyle」で構成。
(問) カリマー インターナショナル　tel：03-3221-6883
www.karrimor.jp

1.撥水加工を施したロング丈のコートは、携帯にも優れたパッカブル仕様。リュックの有無を問わず、美しいシルエットを保持。￥17600　**2.**肌離れのよい二重構造で4ウェイストレッチのナイロンを使ったトラベル向けショーツ。￥10450　**3.**防風性、撥水性と上質な肌触りを兼ね備えたPERTEX®UNLIMITEDを採用した軽量スモックジャケット。￥16500　**4.**キャンプシーンを想定したキャンプパンツは、撥水性とベンチレーション機能付き。裾にはアジャスターコードを搭載。￥13200　**5.**合計7つものポケットを装備した収納力バツグンなリバーシブルジャケット。撥水加工したボディ素材もポイント。￥20900

3

1

4

5

2

4

2

MAMMUT SWISS 1862

028 MAMMUT
マムート

今季は「Fast & Light」をシーズンプロダクトテーマに掲げ、軽量化における山での「安全性、快適性」が山登りをもっと楽しくさせることを提案。また日常生活においても、「動きやすさと軽さ」によって疲労やストレスを軽減するプロダクトを中心に展開している。
(問) マムート スポーツグループジャパン　tel：03-5413-8597
www.mammut.jp

1.ベーシックなポロシャツにクールマックスを組み合わせた高機能な1枚。汎用性の高さはピカイチと言えそう。￥10450　**2.**メインファスナーにフラップが付いたオーセンティックなマウンテンパーカ。防水素材でコンパクトに収納できる。￥24200　**3.**ゴアテックス インフィニウムを採用したソフトシェル。ストレッチが効いているので動きやすいことも特徴。￥35200　**4.**スイングトップ型のショート丈ジャケット。超軽量で防水なので機能面もバッチリ。カラーにはフードが収納されている。￥29700　**5.**防水素材を取り入れたハーフコート。インナーの組み合わせしだいでオールシーズン使える優れもの。￥49500

5

3

1

029 HELLY HANSEN
ヘリーハンセン

創業者のヘリー・ジュエル・ハンセンは海水や雨から船員たちを守るため、オイルスキンコートを開発した。多くの問題を解決し、水と関わる楽しさを提供するのが、ブランドの140年以上続く哲学。その想いをプロダクトに込め、今シーズンも幅広い世代をサポート。

（問）ヘリーハンセン 原宿店　tel：03-6418-9669

www.goldwin.co.jp/hellyhansen

1.高強度ナイロンを使用した大容量ベスト。ロゴとラインはリフレクター仕様なので夜間の視認性を確保している。￥15400　**2.**水を弾き適度な防風性も持つ。ウエストとショルダーベルトは細かく調整できるので、かがむ動作の多い釣りタイムを快適にサポート。￥19800　**3.**暑さと虫から逃げるため、脇下や顔まわりにメッシュを配置。ポケッタブルだからコンパクトに収納できる。￥49500　**4.**プロアングラー吉田 遊氏の釣りアクションを解析し、スムーズに動けるように設計された1本。￥37400　**5.**プロアングラーのアドバイスとブランドのノウハウを融合させたフィッシングジャケット。￥22000

3

1

2

4

5

030 Foxfire
フォックスファイヤー

1982年に4型のフライフィッシングベストから始まったフォックスファイヤーは、日本におけるフライフィッシングのパイオニア的存在。長年培った技術や経験を活かし、「クワイエットスポーツ」をテーマに幅広いラインナップを揃えるアウトドアブランドへと発展。

（問）ティムコ　tel：03-5600-0121

www.foxfire.jp

1.キャスティング時の腕の動作を妨げず、高い収納性を誇るチェストパック仕様のフィッシングタックルベスト。￥19800　**2.**透湿性に優れるゴアテックスパックライトのフィールドジャケット。肩ヨークパーツと両胸には耐久性の高いナイロンタッサーを使用。￥39600　**3.**オリジナルのフィッシュアイカモフラージュ柄シャツ。水中の魚眼から見た場合にステルス性が発揮される。￥13200　**4.**袖をファスナーにて取り外しでき、ベストとしても着用できる2ウェイノーカラージャケット。￥50600　**5.**高密度ウェザー生地にパラフィン系ワックスを含浸させたアルフラックスクロスを採用したパンツ。￥16500

4

2

5

3

1

DAIWA PIER39

031 DAIWA PIER39
ダイワ ピア39

「大自然と都市をシームレスに繋ぐ架け橋」をコンセプトにした話題の新ライン。今シーズンは好評のミリタリーベースのアイテムに'70sのエッセンスをブレンド。バックボーンにあるフィッシングシーンでの経験やアイデアを日常に落とし込んだ機能美がポイント。

(問）グローブライド　tel：0120-506-204
https://daiwapier39.jp

1.クラシックなライン入りTシャツは、2種類のポリエステルを組み合わせることでバネのようなストレッチ性を実現。￥9350　**2.**軽量でストレッチ性の高いコンフォートな穿き心地。ポリエステル100%だがコットンのような肌触り。￥22000　**3.**フィッシングウエアらしいポケットのパターンをシャツに落とし込んだデザインが秀逸。シワの出にくいストレッチ生地。￥17050　**4.**超軽量ナイロンリップストップストレッチを使ったサイクリングベスト。耐久撥水機能を備えていることも特徴。￥21450　**5.**ドローコード付きのBBキャップは、コットンのような被り心地をポリエステルで表現した。￥5500

3

1

5

4

2

Abu Garcia

032 Abu Garcia
アブ ガルシア

釣り好きであれば、知らぬものがいない1921年創業のスウェーデン発の老舗メーカー。日本でも多くのプロアングラーをサポートしつつ、2019年からは、よりファッション性を高めたコレクションを展開中。機能性は言わずもがなオシャレ感あるグラフィックも秀逸。

(問）アンシングス　tel：03-6447-0135
www.anthings.co.jp

1.「イズネス」とのコラボキャップ。RUN DMCをモチーフとしたロゴ刺しゅうが◎。￥6050　**2.**オリジナルの3層防水ストレッチ生地を使用したシャツ。袖の取り外しが可能となる。￥22000　**3.**こちらも「イズネス」とのコラボモデル。RUN DMCからインスピレーションを得たストリートなアプローチで仕上げた。￥9900　**4.**3層防水ストレッチ生地と、コットンライクに仕上げた耐久撥水加工を施したストレッチツイル生地のコンビネーション。フードに収納できるパッカブル仕様。￥23100　**5.**コットンライクに仕上げた耐久撥水加工を施したストレッチツイルショーツも「イズネス」とのコラボ。￥18150

4

2

5

3

1

033 Columbia
コロンビア

多くの名作を世に輩出してきたアメリカを代表するアウトドアブランド。今シーズンは、オリジナルテクノロジーをふんだんに採用し、ハイキング、キャンプ、フェス、フィッシングなどのアクティビティに対応したアイテムが豊富。クリエイターとのコラボにも注目。

(問) コロンビアスポーツウェアジャパン　tel：0120-193-803

www.columbiasports.co.jp

1.生地に紙繊維を織り込むことで調湿性、ドライ感、通気性を確保。ズレ落ちを防ぐために袖口にゴムを仕込んだ通称バーベスリーブを採用。￥19800　**2.**アウトドアタレントの「たけだバーベキュー」とのコラボ。切り替え部分に防炎素材を使用。￥19800　**3.**独自の吸湿速乾機能であるオムニウィックを搭載したTシャツ。胸のサングラスポケットがあり、裾部分にサングラスクリーナを配備。￥6930　**4.**アイコンでもあるフィッシングベストをフェス用に改良。ドリンクポケットや背面の大型ポケットなどを装備。￥19800　**5.**アッパーに防水透湿のオムニテックを採用したレザーシューズ。￥12650

3

1

2

4

5

034 Burton
バートン

最高峰アウターウエアコレクションの[ak]のスプリングコレクションが話題。天候の変化に対応するマルチパーパスレイヤリングなど、山と自然を1年中楽しむことができるプロダクトが充実。またbluesign®の認証を受けた素材を世界最高レベルの割合で使用する。

(問) バートン　tel：03-4540-6752

www.burton.com

1.吸い上げた汗を素早く外部へ放出してくれるDRYRIDEを用いたベースレイヤー。ロゴプリントでカジュアルな印象に。￥8580　**2.**肌寒い春先やキャンプなどでも使えるプルオーバーのフリースジャケット。クラシックなロゴ使いが◎。￥12100　**3.**最高峰のアウターコレクションである[ak]のサージェンスジャケット。ゴアテックスパックライトプラスを採用する。￥46200　**4.**防水性や透湿性、速乾性に優れたDRYRIDEを使ったジャケット。大胆なカラーブラックがアクセントに。￥18700　**5.**タフで動きやすい4ウェイストレッチのコーデュラナイロンを使った[ak]の名作エアーピンパンツ。￥22000

4

2

5

3

1

035 WILD THINGS
ワイルドシングス

1981年登山家のジョン・ボーチャードとマリー・ムニエによってアメリカのニューハンプシャー州ノースコンウェイにて創業。「LIGHT IS RIGHT」をコンセプトに、アメリカの登山家やクライマーとともに様々な傑作を輩出。米国国防省へのミルスペック納入実績もある。

（問）インス　tel：0120-900-736

www.wildthings.jp

1.デュポン社が開発した高機能ナイロンであるサプレックスを使う。裏地には着心地のよさと静電気を抑えるメッシュを採用。¥18000　**2.**ほどよく厚手なコットン100%のオリジナルボディ。大きめの身幅に対し、着丈を短めに設定することでグッドシルエットに。¥5500　**3.**ポリエステルを高密度に織ることで高水準の撥水性を維持し、軽量で洗いざらしのコットンのように仕上げたタクティカルジャケット。¥26000　**4.**大きめのポケット使いが際立つサプレックスナイロンのプルオーバーシャツ。¥11000　**5.**染めムラのあるマットな質感のバックサテンを用いたショーツは収納力の高さも特徴。¥11000

3

1

5

4

2

4

2

5

3

036 CHUMS
チャムス

1983年にアメリカのユタ州のリバーガイドによって設立された、おなじみのアウトドアブランド。激流でもサングラスを失くさないために考案したメガネストラップのチャムス オリジナルリテイナーがファーストプロダクト。現在はウエアからギアまで幅広く展開。

（問）チャムス 表参道店　tel：03-6418-4834

www.chums.jp

1.遊び心あふれるクレイジーパターンのキャンピングパーカライト。豊富なカラバリも見逃せない。¥15180　**2.**定番のジャケットをバイカラーにすることで新鮮な印象に。コットンライクなナイロン素材を使用する。¥14080　**3.**急な天候の変化にも対応できるゴアテックスを用いたミリタリーテイストのタクティカルジャケット。大きなポケットが装備され、収納力もバツグン。¥34100　**4.**定番モデルのハリケーントップをモチーフにしたバンドカラーのプルオーバーシャツ。¥8690　**5.**ワークウエアであるオーバーオールのフロントポケットやハンマーループなどをアウトドア仕様にアレンジ。¥14080

1

037 MANASTASH
マナスタッシュ

1993年にシアトルで設立されたマナスタッシュ。今では世界中の企業がサステナブルへの取り組みを行っているが、創業当時より企業理念としてその姿勢を一貫している。環境に優しい素材を使用しながらも、デザインや機能性にこだわったプロダクトをラインナップ。

(問) ビーバー 渋谷　tel：03-5728-2288
www.beaver-jp.com

1.ヘンプとオーガニックコットンのヘビーツイルを使用したプルオーバージャケット。ペンドルトンとのコラボレーション。￥23650　**2.**立体裁断で仕上げたコンフォートで都会的なバルーンシルエット。前ポケットの内側にコインポケットの付いた6ポケット仕様。￥12100　**3.**襟元にマウンテンロゴテープを使った'90sテイストのヘンププルオーバースウェット。￥13200　**4.**あえてサイドにスマイルフェイスがプリントされたTシャツ。ほどよく落ち着いたカラーリングも絶妙。￥6600　**5.**スマートフォンを取り付けできるストラップはデイジーチェーンがモチーフ。カラフルな配色もポイント。各￥6600

3

1

4

2

5

4

2

5

3

038 GOHEMP
ゴーヘンプ

ヘンプブランドの先駆者として「ART OF HEMP」をテーマに1994年にスタート。地球に優しい素材であり、肌触りや通気性がよく、速乾性と抗菌効果もあるヘンプを軸に、各地の老舗工場で作られるプロダクトを生産。着心地のよさや機能美に優れたウエアを展開する。

(問) ジュズ　tel：03-6277-5573
https://juzustore.jp

1.ヘンプとリサイクルペット素材を活用したサステナブルなベスト。カラビナが付くので外遊びにも向いている。￥17380　**2.**オリジナルのヘンプ55%、オーガニックコットン45%のヘンプスウェットに、タイダイとプリントをオン。￥14080　**3.**定番であるヘンプ55%、オーガニックコットン45%の混率による8oz生地を使用したロングスリーブTシャツ。￥7480　**4.**バックサイドにカラビナ、ナイロンテープによるデイジーチェーンを備えたキャンプなどで活躍するユーテリティベスト。￥16280　**5.**トレンドであるリーフカモを落とし込んだヘンプコットンウェザークロスのユーテリティパンツ。￥17380

1

039 POLER
ポーラー

サーファー、スケーター、スノーボーダーのライフスタイルをミックスした新感覚アウトドアブランドとして2010年にスタート。ロードトリップのバイブスからインスパイアされた遊び心、優しさがあふれるデザインとブランド発祥の地、オレゴンの空気感をブレンド。

（問）キャンパス　tel：03-5639-9669

https://polerstuff.jp

1.ブランドのフラッグシップモデルとして知られるポンチョ。パッカブル仕様でボタンを外せば、スクエアのシートになるアイデアも見逃せないところ。￥18480　**2.**人気のサイクロプスロゴが入った人気のポケットTシャツ。インナーの挿し色にも◎。￥5280　**3.**肉厚でしっかりとしたボディにキャッチーなフォントでブランドロゴを配したプルオーバータイプのパーカー。￥10780　**4.**今シーズンに登場したコミカルなキャラクターアイコンを用いた総柄のシャツ、コットン100%で着心地がいいのもポイント。￥8580　**5.**アイコンであるサイクロプスロゴとフューリーカモのコンビが良好なキャップ。￥4620

3

1

5

4

2

040 go slow caravan
ゴースローキャラバン

今シーズンのテーマは「BACK TO THE NATURE」。いつでも外遊びに繰り出せるように、より自然の中でのライフスタイルを意識した世界観を表現したコレクションになっている。インドアでもアウトドアフィールドでも気持ちが高まるようなプロダクトが多く揃っている。

（問）三高　tel：03-5669-0211

https://official.goslowcaravan.com

1.釣りやキャンプなどにも活躍するユーティリティベストは、フロントポケットが着脱可能。撥水性のあるファブリックを使用。￥12100　**2.**クラシックさも持ち合わせたクレイジーカラーのハイカージャケット。ポーチとしても使えるポケットが付くのもポイント。￥15400　**3.**ビッグシルエットが際立つモッズコートは、ジャングルモチーフの刺しゅうで個性的に仕上がっている。フィッシュテールも◎。￥19800　**4.**左脇のカーゴポケットが着脱可能なショーツ。撥水性のあるコットンナイロン素材。￥9350　**5.**美しいテーパードシルエットを用いたカーゴパンツは、刺しゅう使いがアクセントに。￥13200

4

2

5

3

1

mont·bell

041 mont-bell モンベル

1975年に大阪にて創業し、登山、キャンプ用品を主軸に、定番的に使えるアウトドアギアから、最新の高機能素材を使用したアパレルの企画製造、販売まで手掛ける日本を代表する総合アウトドアブランド。アウトドアイベントやツアーなどの企画も積極的に行なっている。

（問）モンベル・カスタマー・サービス　tel：06-6536-5740　www.montbell.jp

1.適度なストレッチ性が効いた独自の素材を使用した農作業用パンツ。デニムのような風合いと動きやすいシルエットはアウトドアアクティビティにも最適。¥8800　**2.**バツグンの通気性と速乾性を兼ね備えた高機能素材を使用したアロハシャツ。メッシュ素材であるため熱もこもらず、夏でも快適に過ごせる。¥7480

Marmot

042 Marmot マーモット

創業は1971年。カリフォルニア大学に通う2人の学生からスタートし、ダウンを使用したウエアとスリーピングバッグがブランドとしてのファーストプロダクト。また、高機能素材としてメジャーな素材であるゴアテックスをアウトドア界で初めてウエアに使用したことでも知られる。

（問）デサントジャパンお客様相談室　tel：0120-46-0310　www.marmot.jp

1.定番のトレッキングパンツをベースに作られたコンバーチブルパンツ。ポケットを多数装備し収納性に優れ、さらに耐久撥水性、ストレッチ性も兼ね備えている。¥16500　**2.**防水性に優れた東レのダミザクス2.5レイヤーをアウトシェルに、染色には天然成分由来の"オニベジ"を採用した3ウェイ仕様のジャケット。¥53900

GRAMiCCi

043 GRAMICCI グラミチ

180度自然な開脚を可能にしたガゼットクロッチや片手でウエストを調整できるウェビングベルトなど、画期的なディテールを生み出してきたグラミチ。そのコンフォータブルな穿き心地はクライミングやアウトドアシーンだけでなく、タウンユースでも支持され続けている。

（問）インス　tel：0120-900-736　www.gramicci.jp

1.前身頃から後身頃にかけて配された大きなポケットが特徴で、ほどよいゆとりとスマートさを併せ持ったショーツ。耐久撥水機能と塩素にも強い素材であるため、プールでも活躍。¥9680　**2.**コットンのようなナチュラルで柔らかなナイロン素材を使用した、パッカブル仕様のユーティリティシャツ。¥15180

HOUDINI

044 HOUDINI フーディニ

「CORE COMFORT(最高の着心地)」をテーマに掲げ1993年にスウェーデンで設立。機能美はもちろん、ミニマリズムを骨子とするデザイン哲学のもと、手掛けられるプロダクトは、高い機能性だけでなく、環境負荷を考慮したサステナブルなモノづくりにもチカラを入れている。

（問）フルマークス　www.full-marks.com

1.薄手でソフトな肌触りでありながらも丈夫な耐久性、伸縮性、防風性、透湿性も備わったデイブレイクジャケット。¥26400　**2.**リサイクルポリエステルから作られた超軽量で丈夫なC9 リップストップ™生地は耐風性、透湿性に加え、耐久撥水加工も施されている。街でも山でも活躍するジャケット。¥39600

046 Rab ラブ

1981年にイギリスでロバート・キャリントンが自宅の屋根裏部屋にて2台のミシンを使って機能的なダウンや寝袋を作り始めたのがブランドのはじまり。世界中の極寒環境やアルパイン登山に特化したハイクオリティなウエアとスリーピングバッグを主力アイテムに展開している。
（問）ベンダー　tel：03-6452-3072　https://coverchord.com

1.ソフトシェルの伸縮性や快適性とハードシェルのプロテクションを兼ね備えたハイブリッドなジャケット。ツバ付きフードはポリマー製のワイヤー入りの立体設計で、サイドからの雨風も遮断してくれる。¥32000　**2.**ゴアテックスパックライトプラスを採用したジャケットは高機能なうえに軽量かつ汎用性の高い1着。¥39000

045 MILLET ミレー

2021年で創業100周年を迎えるフランスのアウトドアブランドでフランス初のヒマラヤ登山隊に装備提供した輝かしい功績を持つ。近年では環境に配慮したサステナブルな企画にも力を入れており、高機能でありながらも環境に優しいプロダクトは高い評価を得ている。
（問）ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン　tel：03-6417-0492　www.millet.jp

1.ザックの容量30〜40Lを想定したオリジナルプリントのレインカバー。素材は強度の高いシルナイロンを使用し、風飛び防止のコンプレッションストラップを装備。¥4950　**2.**独自開発の極薄メンブレンの生地は、高い耐水圧と透湿性を両立し、適度なストレッチにより動きやすさも兼ね備えた1着。¥28600

048 Tilak ティラック

チェコ共和国のアウトドアブランドで大量生産こそできないものの、自社工場での一貫した生産管理によって徹底的な品質が保たれたプロダクトが多くのファンを魅了して止まない。今季もアウトドア、タクティカル、トラベルの3カテゴリにフィーチャーしコレクションを展開している。
（問）バーリオ　tel：075-354-6604　www.barriojapan.com

1.速乾性、ストレッチ性のある肌離れの良いデルタという機能素材を採用したロングスリーブTシャツ。フロントはセットイン、バックはラグランスリーブ仕様のゆったりとしたリラックスフィットが特徴。¥9900　**2.**撥水、透湿性のあるアメリカ製のマルチカモ素材を採用。両腕には3種のワッペンが付属する。¥44000

047 NORRØNA ノローナ

ノルウェー発のアウトドアブランドとして知られ、北欧らしいデザインはもちろん、カラーリングだけでなく、世界レベルのクライマーたちも愛用する機能性の高さから、プロアマ問わず選ばれ続けている。いまでも縫製や裁断など手作業で行われている品質の高さも大きな魅力だ。
（問）フルマークス　www.full-marks.com

1.ソフトなオーガニックコットンとリサイクルポリエステルの混紡生地は防風性、耐久性に優れたベストセラーモデル。フロントにはカンガルーポケットとハンドウォーマーポケットを装備する。¥26400　**2.**通年着用できるレインジャケットとして開発したモデルで、生地にはゴアテックスC-KNITを採用。¥63800

050 Jack Wolfskin
ジャック・ウルフスキン

1981年にドイツ・フランクフルトで誕生したアウトドアブランド。今季で創業40周年を迎え、原点回帰がテーマの限定コレクション「レトロアーカイブパック」を発表。アウトドアギアだけでなく、日常着としても快適に過ごせる独自素材を備えたアイテムがラインナップされる。
（問）ジャック・ウルフスキン カスタマーサービス　tel：0120-300-147　www.jackwolfskin.jp

1.シワ加工を施したナイロンタッサー生地の表面にさらに撥水加工をすることで、ナチュラルかつドライタッチな素材感が心地よいマウンテンパーカ。¥15400　**2.**独自で開発した防水透湿素材であるテキサポールを使用し、2.5レイヤーの軽量マイクロリップストップで仕立てたミリタリーライクなコート。¥25300

049 L.L.Bean
エル・エル・ビーン

数々の銘品を生み出してきたアメリカ生まれのアウトドアブランド。誕生から半世紀を超えてもなお、ビーンブーツやビーントートと呼ばれ、ブランドのアイコンとしていまでも親しまれている。今季は環境に配慮したブルーサイン認証やオーガニックアイテムを多くラインナップ。
（問）エル・エル・ビーン カスタマーサービスセンター　tel：0422-79-9131　www.llbean.co.jp

1.アドベンチャー・ダッフルでお馴染みの軽いナイロン素材を使用したトートバッグ。小さく収納できるため、旅先など携行にも便利。ラージサイズ。¥5940　**2.**軽量ながら、細かなキルティングが保温性を高めるプルオーバージャケット。耐摩耗性に優れ、ブルーサイン認証の環境に配慮した素材を使用している。¥8690

052 FILSON
フィルソン

120年以上もの長い歴史を誇る老舗ブランド。ハンティング、フィッシング、キャンプなど、生業とする人から趣味人まで、世界中で愛されている。今季はメイドインUSAのデニムコレクションをはじめ、定番アイテムの新色など、新鮮さを感じさせるラインナップが揃っている。
（問）フィルソン トウキョウ ストア　tel：03-6416-0768　https://filson.jp

1.フィルソンを代表するプロダクトのひとつ、ラギッドツイルのトートバッグ。今季から新色であるグリーン、ブルー、キャメルが登場。¥29150　**2.**ドライワックスドコットンをアウトシェルに使用した耐水性、防風性に優れたアノラック。リップストップ生地を採用しているため引き裂き強度にも長けている。¥39600

051 Barbour
バブアー

英国アウトドアライフスタイルを体現するブランドとして1894年に創業し、英国アクティビティと密接にリンクしたファッションが特徴。代名詞ともいえるワックスドコットンのジャケットはもはや説明不要で、最近では機能性素材を取り入れるなど現代的にアップデートし続けている。
（問）バブアー渋谷店　tel：03-6450-5993　www.japan.barbour.com

1.ノンワックスでありながら着続けて馴染んできたワックスドのような趣ある風合いを感じさせるピーチド素材にブラッシュド加工を施したスリムフィットのビデイル。¥37400　**2.**表面をなでるだけでシワがとれる高密度に織られたポリエステル素材を採用した、軽量でトラベルシーンにもぴったりなボーダー。¥39600

054 KAVU カブー

アメリカ・シアトル発のアウトドアブランドで、フェスハットの名作チルバやチロリアン柄のウェビングテープを配したストラップキャップなど、機能性と実用性の高いアイテムを生み出し続けている。オリジナルテキスタイルの総柄モノは1シーズン限定となるため毎季注目が集まる。
（問）エイアンドエフ　tel：03-3209-7575　www.kavu.jp

1.アメリカ軍の市街地戦用に作られたカモ柄を採用した日本限定モデルで、テストサンプル品のみで製造が終了してしまった都市型迷彩をリップストップ生地で夏らしい軽さのあるパターンに仕上げたバラノフショーツ。¥14300 **2.**ナイロンのウェビングがアクセントになった、定番ストラップキャップにも同生地を使用。¥5650

053 AIGLE エーグル

1853年にフランスで生まれたライフスタイルブランド。今季は「バーチャルトラベラー」、「ポジティブインパクト」、「アンコーデッド」、「レイン／コズミックサマー」の4つのテーマを軸に展開。都会的だったり、サステナブルだったりとそれぞれのテーマに沿ったプロダクトも必見。
（問）エーグルカスタマーサービス　tel：0120-810-378　www.aigle.co.jp

1.「アンコーデッド」コレクションのグラフィックである国際信号旗をフロントにプリント。実際に船舶同士のコミュニケーションで使われている信号をポップにあしらった。¥7590 **2.**コントラストの強い配色をブロッキングしたプルオーバー。ファスナーで開閉可能な大きめポケットは使い勝手よし。¥20900

056 sasta サスタ

デザイン大国として名を馳せる北欧フィンランドにて1969年に誕生したアウトドアブランド。長年にわたり、現地のハンターやアウトドア愛好家たちのリアルな声に耳を傾け製品開発を行ってきた本格派でありながら、デザイン性にも優れたクリエイティブなアイテム展開が大きな特徴。
（問）アンブラージュインターナショナル　tel：072-728-2781　https://sasta.jp

1.高密度コットンで有名なベンタイルを採用。フロントファスナーは上下開閉式で、口元と干渉しないようにオフセットされている。¥66000 **2.**リサイクルポリエステルとオーガニックコットンを高密度に織り上げた混紡生地にワックスコーティング。着脱用のサイドファスナーはベンチレーションも兼ねている。¥39600

055 WOODS ウッズ

1885年にカナダのオタワで誕生し、美しく厳しい自然の中で働く人々をサポートしながら、カナダの歴史と共に130年間歩んできた老舗アウトドアブランド。昨年ブランドタグも新たに日本で再デビューを果たし、現代の生活にマッチした感性豊かなアウトドアスタイルを提案する。
（問）ハワード　tel：03-5728-5858　www.haward.co.jp/woods.html

1.軽くて耐摩耗性、速乾性に優れた柔らかな風合いが特徴のサプレックスナイロンに抗菌防臭機能をプラス。キャンプシーンにもぴったりなロングスリーブシャツ。¥17600 **2.**GRS認証を取得したリサイクルナイロンに難燃・撥水加工を施した、大小さまざまなハンティングポケットを配したアノラックジャケット。¥20900

058 Carhartt WIP
カーハート WIP

アメリカで生まれた130年の歴史を誇るワークウエアの代名詞的ブランドで、過去のアーカイブをベースにデザインやシルエットを現代的にブラッシュアップさせ、ファッション性を持たせたヨーロッパラインとして1989年に設立されたのが、絶大なる支持を集めるカーハートWIPだ。

（問）カーハート WIP ストア 東京　tel：03-3402-9810　https://carhartt-wip.jp

1.薄手ながらも耐久性に優れたコットンリップストップ生地を使用し、前後左右4面とも異なるカラーを配したショートパンツ。¥13200　**2.**春夏のコレクションテーマのひとつであるアウトドアにフィーチャーしたジャケット。撥水性、ストレッチ性を兼ね備え、フロントにはリフレクターのブランドタグが装備される。¥28600

057 MOUTAINSMITH
マウンテンスミス

1979年にアメリカで生まれたマウンテンスミスはバッグを主軸に展開してきたアウトドアブランド。2019年より、F/CE.®を手掛ける山根敏史氏をデザイナーに迎え、アパレルラインを展開。レトロなデザインやカラーリングに機能性を加味したアーバンアウトドアなデザインが魅力。

（問）スタンレーインターナショナル　tel：03-3760-6088　www.stanleyintl.co.jp

1.タスランのソリッド面とメッシュ面を持つリバーシブルベスト。特殊なナイロン素材であるタスランは柔らかな風合いでありながらも耐久性に優れ、シワになりにくいのも特徴。¥25300　**2.**中空糸で織り上げたロビックエアーを使用したジャケット。従来のナイロンよりも約20%も軽量なうえに耐摩耗性にも優れる。¥30800

060 REMI RELIEF
レミ レリーフ

「REMIX＝工夫、想像」と「RELIEF＝省く」を語源とし、工程ごとに想像、工夫をし、余計なものを省く過程でいいモノが生まれる“マイスター”の思想が込められている。量ではなく質を重視し、糸、撚糸、編み立て、加工など、合理的ながらも究極のアメリカンベーシックを追求する。

（問）ユナイト ナイン　tel：03-5464-9976　https://store.unitenine.jp

1.コットン50%、ポリエステル50%の混紡裏毛スウェット。生地の表面にネップが表現され、さらにムラ糸の綿と混紡することで、ヴィンテージの風合いをイメージした1枚。¥20680　**2.**特有の加工処理を施したフェード感のある表情が魅力のコットンナイロン生地で仕上げたパッカブルフードブルゾン。¥40480

059 BAMBOO SHOOTS
バンブーシュート

今季のコレクションは「バックパッカー」がテーマ。ディレクターである甲斐一彦氏がいつかのアメリカで見つけた自分の家を担いで旅をする男のイラスト。バックパッカーが背負うのは自らの凝縮されたライフスタイルとし、デイリーウエアとして長く愛せるウエアを広く揃える。

（問）バンブーシュート　tel：03-5720-1677　www.bambooshoots.co.jp

1.カブーの定番キャップをKen Kagami氏によるキャラクターの刺しゅうとチロリアンテープのカラー変更でコラボレーション。¥7920　**2.**首元を冷気から守るチンストラップ付きのコーチジャケットは、なんとサンカンパニー社の温度計付き。脇下に大きく生地をとる印象的なYジョイントスリーブは着心地も快適。¥26400

061 BURLAP OUTFITTER
バーラップ アウトフィッター

「ASK THE FABRIC（生地に訊け）」をメインコンセプトに機能的マテリアルを駆使し、デザイン性の高いデイリーウエアを提案する。アウトドアウエアやギア、ミリタリーのフィールドでも使用される高機能素材のパフォーマンスを堪能できる玄人好みなラインナップは必見。
（問）ソーズカンパニー　tel：03-5724-5712　https://burlapoutfitter.com

1.キャップショルダーのディテールを装備したナイロンジャケット。素材は速乾性とUVカット機能に優れたサプレックスナイロン生地を採用。ライナーにはメッシュが使われ、ドライな肌触りが特徴だ。¥20900　**2.**レオパード柄のビッグシルエット総柄シャツ。こちらにもサプレックスナイロン素材を使用している。¥15400

062 Topo Designs
トポデザイン

2008年にコロラド州デンバーで設立。アウトドアを基盤に置きつつも、シーンに限らず、デイリーに使えるプロダクトを展開する。高機能素材だけでなく、シャンブレーやコットンリップストップなど、オーセンティックなアメリカを象徴する素材も積極的に採用している。
（問）ノーツ アンリミテッド　tel：03-3845-0403　http://topodesigns.jp

1.水辺での着用を想定し、動きやすく、速乾性に優れたナイロンストレッチ素材のショーツ。¥9790　**2.**柔らかなポリエステル生地を使用したライトウェイトなアノラック。フロントポケットに収納可能なパッカブル仕様で、さらにストラップが仕込まれているためファニーパックさながらに携行できる。¥16280

063 Rocky Mountain Featherbed
ロッキーマウンテン フェザーベッド

1960年代にカウボーイの街、アメリカのジャクソンホールで誕生して80年代に消滅後、ヴィンテージ市場で人気を博し、2005年に復活。1枚断ちのレザーヨークなど当時の価値を継承しつつ現代のエッセンスを加えたアイテムが特徴。直営店となるアールが吉祥寺に3月オープン予定。
（問）アール22724　tel：080-7024-4090　http://rocky-mountain-featherbed.com

1.米軍のM-51オーバーパンツをベースにヴィンテージのコットンナイロンのポプリン生地を採用した今季の新作アークティックパンツは数量限定品。¥37400　**2.**毎シーズン色や素材を変えて展開する人気のスワッガーコート。今季はコットンライクで速乾、耐風、撥水性を併せ持つ高機能素材タズランナイロンを採用。

064 STANDARD CALIFORNIA
スタンダード カリフォルニア

アメリカ西海岸の陽気や文化に魅せられて2003年に創業し、オリジナルアイテムはインポートやユーズドに負けないほど評価が高い。今季のテーマは「Stay Stoked = 夢中であれ!」。こんなご時世だからこそ、夢中になれるなにかを見つけて楽しく過ごそうという思いが込められている。
（問）スタンダードカリフォルニア　tel：03-3770-5733　www.standardcalifornia.com

1.マジックテープベルト仕様の軽くて柔らかい穿き心地のイージーコーデュロイパンツ。ゆったりとしたワイドテーパードシルエット。¥19580　**2.**サーフやヒッピーカルチャーなどを象徴する通称メキシカンパーカ型のバハフーディ。表地は太番手糸のコットンネル、裏地はダブルガーゼを使用し肌触りバツグン。¥23980

067 PENDLETON
ペンドルトン

1909年アメリカ・オレゴン州ペンドルトンの街に自社工場を創業し、ネイティブアメリカン向けのトレーディングブランケットの生産を開始。鮮やかな色と複雑なパターンの柄は唯一無二で、ウールブランケットやボードシャツはいまも愛され続けている。
(問) エイアンドエフ　tel：03-3209-7575
https://pendleton.aandf.co.jp

ブランド定番ボードシャツの中でも元祖となるビーチボーイズ柄の半袖仕様。襟は開襟でフラップポケットが付いたシンプルなディテールで、日本人体型に合わせてリサイズしたジャパンフィットモデル。¥16500

066 SIERRA DESIGNS
シエラデザインズ

1965年アメリカ・カリフォルニア州リッチモンドで創業した、シェラネバダ山脈から命名されたアウトドアブランド。1968年にはブランドの代名詞ともいえる60/40素材を用いたマウンテンパーカを発表し、50年以上に渡り世界中で愛され続けている。
(問) アリガインターナショナル　tel：03-6659-4126
www.arg-intl.jp

60/40と同様に引き裂きや摩擦に強い撥水加工した65/35クロスの1枚生地で仕立てた、裏地なしでさらっと羽織れるスプリングステンカラーコート。すっきりとしたシルエットはオンオフ問わず活躍。¥19800

065 Eddie Bauer
エディー・バウアー

昨年創業100周年を迎えたアメリカ・シアトル生まれの老舗ブランドは米国初のダウンジャケットの生みの親としても知られるアメカジの代表格。冒険をもっと楽しく行動するために、数々の冒険から着想を得た革新的で高品質な製品を作り続けている。
(問) ハンドイントゥリーショールーム　tel：03-3796-0996
https://eddiebauer.jp

防水性、通気性に優れたウェザーエッジテクノロジーを採用し、2レイヤーポリエステルキャンバス地を使用したEBテックジャケット。フードは取り外しでき脇の下にあるピットジップで温度調整可能。¥20900

070 icebreaker
アイスブレーカー

世界的な羊毛の産地ニュージーランドで1994年に創設されたメリノウールが持つ利点を活かした先駆者的アウトドアウエアブランド。サステナビリティを根底に考え、経済活動とエコロジーのバランスをつねに考慮したビジネスモデルを追及している。
(問) ゴールドウイン カスタマーサービスセンター
tel：0120-307-560　www.goldwin.co.jp/icebreaker

クラシックなスタイルながらストレッチ性の高いメリノテリーを使用したアスレチックフーディ。天然素材のメリノウールがもたらす温度調整機能とテリーの点接着によりバツグンの快適性を誇る。¥22000

069 NANGA
ナンガ

滋賀県にある国内有数のダウンメーカーで、安全で品質の良いダウンを使用した独自の縫製技術によって生まれる商品はすべて自社工場で生産される日本製。今シーズンは環境へ配慮したリサイクルポリコットン素材を使用したアイテムの展開をスタート。
(問) ナンガ　tel：0749-55-1016
https://nanga.jp

ほどよく柔らかい素材感と自然なメランジが特徴で、大胆なフロントプリントのラグランスリーブスウェットフーディ。紡績工程で水を使用せず色染め工程もなしのリサイクル素材リカバーヤンを使用。¥12980

068 NORDISK
ノルディスク

スカンジナビアデザインの伝統に根ざしたシンプルで機能的かつハイセンスな製品が魅力の100年以上の歴史を誇る北欧発アウトドアブランド。葛西臨海公園に1月末オープンした、ヒュッゲをコンセプトにしたアウトドアライフスタイルショップも話題。
(問) ヒュッゲストア バイ ノルディスク　tel：03-6661-4347
www.instagram.com/hyggestore_by_nordisk

前後と内側に大容量ポケットやハンマーループを装備し、難燃加工を施したコットンリネンキャンプベスト。天然繊維ならではの優しい風合いと通気性のよさが特徴で、アウトドアシーンにぴったりな1着。¥30800

073 MONTURA
モンチュラ

イタリア語で“ユニフォーム”を意味する言葉を冠して2000年に立ち上がった、イタリア発アウトドアブランド。追随を許さない立体裁断と縫製技術を駆使したエルゴノミックデザインは国内外問わず高く評価され、アスリートから絶大な信頼を得ている。
（問）ドナ　tel：03-5799-6924
http://donajapan.com

ゴアテックスプロを採用した3レイヤー軽量ハードシェルのアイアン20ジャケット。肩まわりはストレッチ性があり、フードにはギャザーとツバが付き視界を確保。脇下にはベンチレーションを完備。￥53900

072 MONTANE
モンテイン

イギリス北東部アッシントンに本拠地を置く1993年に誕生したアウトドアブランド。軽量かつ高機能な素材にこだわり、英国仕込みのベーシックで革新的なデザインとサポートするアスリートからフィードバックする機能美を融合したウエアを提供する。
（問）ドナ　tel：03-5799-6924
http://donajapan.com

軽さと小ささを追求したファストパッキング向けの半透明プルオーバーレインシェル。フロントのハーフジップで着脱しやすく芯の入ったツバ付きフードで視界も良好。付属のスタックバッグに収納可能。￥22000

071 Black Diamond
ブラックダイヤモンド

クライマーによるクライマーのためのメーカーとして1989年に設立し、信頼できるギアを作り続けている。現在ではバックカントリーやトレッキングなど大自然を舞台にしたさまざまなアクティビティでハードに使えるギアをワールドワイドに販売する。
（問）ロストアロー　www.lostarrow.co.jp/store

ミニマリストのための超軽量ソフトシェルで、汚れを弾くナノスフィアR撥水加工を施したブルーサイン認証生地を使用したアルパインスタートフーディ。内部の胸ポケットに収納できるパッカブル仕様。￥19690

076 STONEMASTER
ストーンマスター

クライミングパンツの機動性や、穿き心地のよさを軸に、洗練されたシルエットと素材使いでデイリーウエアを展開するストーンマスター。そのほかアウトドアのテクノロジーやノウハウを軸に作られるファッション性の高いアイテムには定評がある。
（問）バーリオ　tel：075-354-6604
www.barriojapan.com

ナイロンとコットンの混紡生地を使用したフルレングスのパンツ。顔料を使用するピグメントダイの製品染め加工を施し、さらにポケッタブル仕様でデザインされ、左のバックポケットに収納可能。￥19580

075 ROKX
ロックス

クライマーとしてアウトドア界にその名を轟かせたマイク・グラハムが2000年に立ち上げたクライミングウエアブランドで、機能性と耐久性に優れたアイテムを展開。ブランド名はROCK（岩）とEXTREME ACTIVITIES（クライミング）を合わせた造語。
（問）エスシーティージャパン　tel：03-5436-6389
www.rokxusa.jp

ワタリ部分がゆったりとしたジャムパンツは、オリジナルのツイルストレッチ生地を使用し細身ながら動きやすい。製品染の一種となるピグメント加工を製品後に施すことで独特の風合いをだしている。￥11880

074 Outdoor Research
アウトドアリサーチ

自然科学者のロン・グレッグが1981年に創業したアメリカ・シアトルを本拠地とするアウトドアブランドで、最先端の機能性を備える一貫性にこだわった製品を提供し続けている。豊かな自然環境から生まれた機能的かつ斬新なデザイン、アイデアが特徴。
（問）エイアンドエフ　tel：03-3209-7575
www.outdoorresearch.com

ストレッチが効いた素材で動きを妨げないブランド独自開発のナイロン生地スパンデックスソフトシェルを採用したフェロッシーアノラック。フロントには機能的なカンガルーハンドポケットを配置。￥14300

079 GRIP SWANY
グリップスワニー

難燃素材を用いた焚き火ウエアや機能性を追求したギアショーツなど、フィールドで役立つディテールを踏襲したアイテムですっかり外遊び派の定番となった、173年続くアウトドアグローブからスタートしたブランド。今季も新たなコラボアイテムに期待。
（問）スワニー販売　tel：03-3306-1411
www.grip-swany.co.jp

ブランドの特徴でもあるポケットを9個配した、バッグいらずで手ぶらで外出できる夏の定番ギアショーツ。綿のように柔らかく速乾性、耐摩耗性に優れたサプレックスナイロンはサラッと快適な穿き心地。¥8690

078 gym master
ジムマスター

素材やカラーを巧みに組み合わせ、ベーシックかつオリジナリティあふれるアイテムを生産するカナダ発ライフスタイルブランド。クラシカルなスポーツスタイルのスウェットアイテムをタウンユースとして再構築するなど、バッグや雑貨まで幅広く展開。
（問）グランド・ワン　tel：03-3358-1652
https://gymmaster.jp

毎シーズン人気を博す手描きイラストのオリジナル総柄を落とし込んだ"ハッピーペイント"シリーズ。今季の新作Tシャツは日が昇ってくるビーチをイメージしたデザインを大胆に全面バックプリント。¥4290

077 Champion
チャンピオン

アスレチックウエアを起源に1919年アメリカ・ニューヨーク州チェロスターで誕生。代表作のスウェットシャツは"キングオブスウェットシャツ"として世界中で評され、いつの時代もデザインや機能性など細部にまでこだわった革新的なアイテムを提供。
（問）ヘインズブランズ ジャパン カスタマーセンター
tel：0120-456-042　www.championusa.jp

フード部分のナイロン素材切り替えが特徴的な綿100%ミドルウエイト生地のプルオーバースウェットシャツ。裏毛仕様でフードはゴムスピンドルで調節でき、フード後ろの刺しゅうロゴがアクセントに。¥9350

082 Liberaiders
リベレイダース

アジアのみならず世界に照準を合わせた、リアルなストリートファッションにアウトドアの最新技術とクオリティを落とし込んだ独自のスタイルを日本から発信。今季は沖縄をテーマにミリタリーを中心に打ち出したクラフト感あふれるアイテムを展開。
（問）ニュートロン　tel：03-5785-4672
www.liberaiders.jp

フロントには鷹、バックには当時の沖縄のマップが刺しゅうされたノーカラーリバーシブルジャケット。アセテートレーヨン生地を使用し、シルクのような高級感が漂うタウンユース仕様にアップデート。¥33000

081 Back Channel
バックチャンネル

テキスタイル、シェイプ、ファンクションの融合をコンセプトに幅広いコレクションを展開。ストリートを背景に素材と機能性を追求し、独自の世界観で着るヒトの雰囲気や個性を最大限に引き出すコトを意図したオーセンティックな洋服を作り続けている。
（問）バックウッズボロー　tel：03-3479-0420
www.backchannel.jp

サスペンダー部分のゴム仕様とサイドのスナップボタンが着心地と着脱をラクにする、コットン素材の日本製オーバーオール。裾はロールアップして軽やかに、コーディネートのアクセントにもオススメ。¥23980

080 grn outdoor
ジーアールエヌ アウトドア

アメカジブランドgrnのアウトドアラインとして、独創的かつ遊び心とアイデア満載のウエアやギアなど、60/40クロスを使用した商品を中心に展開。"ソトアソビ"をより楽しくさせるファッション性、マルチ機能、使いやすさを日々追求し続けている。
（問）スイインターナショナル　tel：03-6712-0200
https://grn-outdoor.com

ブランドの代表作"TEBURA"シリーズ最新作のマウンテンパーカには撥水テフロン加工を施した60/40クロスを採用。前後に21個ものポケットとDカンを装着し、モデル名通り手ぶらで外遊びできる1着。¥16170

085 BACH バッハ

40年以上の歴史を誇るアイルランド創業スイス発のバッグブランド。耐久性と軽量化を重視するため、メインマテリアルとしてコーデュラナイロンを採用する。昨年リリースした「Dr.Duffel」が、ダッフルバッグとしては異例のロングヒットを更新中。
（問）バーリオ　tel：075-354-6604
www.barriojapan.com

今シーズン新しく提案する自転車ライフのユーザーのためのバックパック。メインコンパートメントにはPCスリーブポケットを搭載し、フロントのボトムポケットにはレインカバーも付属する。¥19800

084 GREGORY グレゴリー

1977年にアメリカ・カリフォルニア州で設立し、独自の哲学に基づいた"着る"ようにカラダにフィットする革新的なアイテムをリリースし続けている老舗アウトドアバッグブランド。モダンバックパックの開祖にして、山から街まで幅広く愛されている。
（問）サムソナイト・ジャパン　tel：0800-12-36910
www.gregory.jp

グレゴリーの定番バッグパックをベースに、ナチュラルな質感のヘビーキャンバス生地へ張り替えた限定モデル。ステッチカラーはホワイトに、金属パーツはゴールドに変更した抜け目のない仕様も魅力。¥14300

083 MYSTERY RANCH ミステリーランチ

1975年からアメリカで最高のバックパックを作り続けてきたデイナ・グリーソンによって2000年に創設。米軍の特殊部隊に採用されるなど最も過酷な環境で酷使してもビクともしない高い耐久性が特徴で、あらゆる面において最高品質なアイテムを提供。
（問）エイアンドエフ　tel：03-3209-7575
www.mysteryranch.jp

ブランドの持ち味でもある耐久性が高く質感の異なる4種の機能素材をクレイジーパターンで張り合わせた日本別注モデルのアーバンアサルト。オールブラックでまとめたスタメン入り確実な逸品。¥20900

088 GRANITE GEAR グラナイトギア

1986年アメリカ・ミネソタ州で生まれたアウトドアバッグブランドで小さなパックや財布はフェスシーンにおける定番。流行やファッションに流されることなく可能な限り軽量で機能性と耐久性も持ち合わせた斬新なアイデアのパックを作り続けている。
（問）ヴァーテックス　tel：046-205-7391
www.vertex-corp.co.jp

ブランドルーツとなるカヌートリップがモチーフのデザインをプリントしたムーンライトパドルシリーズは、利便性にこだわった細かなディテールが魅力。（上）パドルスイフト¥6050（下）ハイカーサチェル¥4840

087 KELTY ケルティ

1952年にカリフォルニアでスタートしたアウトドアブランドで、アルミフレームのバックパックを世界で初めて製作し、基本概念となるウエストベルトや背部のテンションを発明。今季は1980年当時のロゴを使用したヴィンテージ感のあるシリーズを展開。
（問）アリガインターナショナル　tel：03-6659-4126
www.arg-intl.jp

80年代当時の黄色タグを採用した2トーンカラーナイロントート。内側には小物が収納できるスリーブ式のオーガナイザーとキークリップ、ジップファスナーを完備。ショルダーストラップも付属する。¥8250

086 OSPREY オスプレー

1974年にアメリカ・カリフォルニア州サンタクルーズでバックパックメーカーとして誕生し、美術大学で絵画を専攻していたデザイナーの芸術性と自身の趣味であった登山をうまく一体化させた、機能美と卓越した高性能を併せ持つ製品を作り続けている。
（問）ロストアロー　www.lostarrow.co.jp/store

軽量な小型デイパックはクイックシンチクロージャーにより素早く開閉でき、取り外し可能なデイジーチェーンが付属。バックパネルとハーネスにはメッシュを採用し、ハイドレーションスリーブも完備。¥5940

091 HOKA ONE ONE
ホカ オネオネ

2009年にフランスで発祥し、現在はアメリカを拠点にアクティブなヒトに向けた上質なアイテムを提供。特徴的な分厚いミッドソールが一躍話題となり、ユーザーの問題を解決するという発想のもと独自の機能性とデザインを融合したシューズを開発する。

（問）デッカーズジャパン　tel：0120-710-844
www.hokaoneone.jp

今季より再生プラスチック素材をアッパーに採用したチャレンジャー ATR 6。アウトソールのラグ間隔が狭くなり、路面の変化に適応しやすく改良。ロード、トレイル問わず履けるオールテレインモデル。¥17600

090 MERRELL
メレル

今年設立40周年を迎えた、1981年にアメリカ・ユタ州バーナルで創業したアウトドアブランド。今季は「YEAR OF THE MOAB」というコンセプトを掲げ、累計販売数2500万足を越えるブランドの象徴モアブのセレブレーションとともに新作を続々と発表予定。

（問）丸紅フットウェア　tel：03-3665-1789
https://merrell.jp

史上最上級の機能性と耐久性を求め、最新のビブラムソール"XS TREK EVO"を搭載したカメレオン 8 ストーム ゴアテックス。今季の新色となるムーンビームはファッションとしても取り入れやすい1足。¥18480

089 Danner
ダナー

1932年にアメリカ・オレゴン州ポートランドで創業し、アメリカではじめてビブラムソールを用いたシューズを開発するなど、ハイキング業界で草分け的存在として地位を確立。厳選された素材で丹念に手作業で作り上げるスタンスはいまでも変わらない。

（問）ダナー　tel：03-3476-5661
https://jp.danner.com

今季もフラワーマウンテンとのコラボモデルに新作が登場。防水メンブレンをブーティ構造で配し、ソールにはスタッドレスタイヤに使用される発泡ゴム、内部にはAGION社製の抗菌・抗臭機能素材を採用。¥23100

094 inov-8
イノヴェイト

2003年にイギリスで誕生したトレイルランニングシューズブランドで世界のトップアスリートやメディアから高く評価される。近年ではトレイルランだけでなく、クロスフィットやジムトレーニングの分野でも愛用される世界的なブランドとして成長。

（問）デサント トウキョウ　tel：03-6804-6332
https://tokyo.descente.com

世界最軽量クラスのトレッキングブーツながら軽快な足さばきを可能にしたロックライトプロ G 400 ゴアテックス。アウトソールには鉄の200倍以上も頑丈なノーベル賞を受賞したグラフェン素材を採用。¥26400

093 Salomon
サロモン

フランスのマウンテンアクティビティブランドとして1947年に創業し、トップアスリートからファッション好きの外遊び派まで幅広い層に支持される。四季を通してフィールドを自由に楽しむための革新的なシューズやアパレル、ギアを生み出し続けている。

（問）サロモン コールセンター　tel：03-6631-0837
www.salomon.com/ja-jp

捻挫を防ぐ新開発のシャーシ構造"ADV-C Chassis"を採用したXウルトラ ミッド ゴアテックス。特殊なスリッポン形状により機動性を向上し、コンタグリップは濡れた路面でも高いグリップ力を発揮。¥22000

092 On
オン

2010年にスイス発スポーツブランドとして誕生し、立ち上げからわずか10年で55ヶ国を超える国で700万人以上のランナーやトップアスリートが愛用する存在に。独自のアウトソールシステムは世界特許を取得し、幅広いシューズやアパレルを展開する。

（問）オン・ジャパン　tel：050-3196-4189
www.on-running.com/ja-jp

トレイルもオフロードも長距離派におすすめのクラウドウルトラは、クッション性、フィット感、通気性に優れ、2層になった独自のアウトソール"クラウドテック"により快適なランニングをサポート。¥20680

097 Teva テバ

1984年に世界初のスポーツサンダルを生み出したアメリカ・アリゾナ州生まれのフットウエアブランド。今季は「In Your Element」をテーマに自然界を構成する要素から着想を得た地球が作り出す自然なカラーを取り入れたアイテムをラインナップ。
(問) デッカーズジャパン　tel：0120-710-844
https://jp.teva.com

軽量で通気性の高いメッシュ素材のアッパーとクッション性に優れたオープンセル構造のポリウレタンフットベッドを搭載したゲートウェイ スウィフト。再生プラスチック素材を採用した新モデル。¥12980

096 Timberland ティンバーランド

アメリカ・ニューハンプシャー州ストラザムに本社を構える1973年創業のグローバルアウトドアライフスタイルブランド。イエローブーツで世界的な知名度を持ち、現在ではスタイルにこだわるだけでなく上質なフットウエアやアパレル、アクセサリーを提案。
(問) ティンバーランド／VFジャパン　tel：0120-953-844
http://shop.timberland.co.jp

再生可能天然素材を配合したコンフォートソールと独自開発リサイクル素材をアッパーに採用したソーラーウェーブハイキングシューズ。サステナブルを追求しつつ、デザイン、機能、快適性も抜かりない。¥11000

095 Oboz オボズ

2007年アメリカ・モンタナ州ボーズマンで創業し売上の一部を自然環境保護団体に寄付し環境保護活動にも力を入れるアウトドアフットウエアブランド。今季はトレイルからタウンまで幅広いフィールドに対応するマウンテンタウンコレクションを発売。
(問) 三共スポーツ　tel：03-3832-1248
http://obozfootwear.jp

これまで技術開発してきたトレイルシューズにインスパイアされ作られた、ボーズマンコレクションのローカットレザーモデル。機能性と履き心地をバランスよく兼ね備え、幅広いシーンで活躍する1足。¥16280

100 SHAKA シャカ

1990年代に南アフリカで誕生したサンダルブランドでラギッドなソールに民族調の色柄を落とし込んだウェビングテープを特徴とし、2000年前半に一時消滅するものの2013年に復刻。履き心地を向上させ、現代的なデザインへとアップデートしている。
(問) ブルームーンカンパニー　tel：03-3499-2231
http://shaka-jp.com

極限まで薄く形成されたアウトソール搭載ベアフットモデル。ナイロンテープは肌あたりがよく、軽量でクッション性にも優れる。デザインも履き心地もグッドなスラックラインBFは5月から順次発売予定。¥8580

099 Chaco チャコ

1989年にアメリカで誕生したサンダルブランドで、足を専門とする整形外科医の力も借り、人間工学的な側面から快適なデザイン、フィット性、サポート性、性能を追求。タウンからフィールドまでさまざまなシーンで活躍するサンダルの開発に力を注ぐ。
(問) エイアンドエフ　tel：03-3209-7575
www.chacos.jp

昨年発売開始し好評だったEVA高反発素材を使用した軽量設計のチロススポーツは優しい履き心地としっかりとしたフィット感が特徴。独自開発のフッドベッドによりリラックスシューズとしても活躍。¥6930

098 KEEN キーン

アウトドアシューズ界の雄で知られ、デザイン性と機能性を融合したプロダクトに定評があるアメリカのシューズブランドで、これまでに多くの名作を生み出す。今季は地球環境負荷を軽減するシューズ作りに注力したエシカルプロダクトも多く展開する。
(問) キーン・ジャパン　tel：03-6416-4808
www.keenfootwear.com

1枚のソールと2本のコードで編み上げられた、スニーカー同等の履き心地を有するユニーク。伸縮性のあるコードが足の動きに合わせて変形するため、バツグンの履き心地を実現。タイダイカラーは新作。¥12000

Jack Wolfskin

40周年記念の特別なカプセルコレクションRETRO ARCHIVE PACK!!

1981年にドイツで生まれた「ジャック・ウルフスキン」が今年40周年を迎え、創業期のアイコニックなモデルを現代的にアレンジした“レトロ・アーカイブ・パック”を展開。80～90年代テイストを全開でアピールするラインナップに要注目!!

Photo／Shouta Kikuchi

原型となるサイクリングジャケットTRAILRIDERが掲載された'93年のカタログ写真。当時の技術力と発想で生まれたディテールと、絶妙な色合いの配色がグッド。

マルチカラーブロッキングの先駆的ブランドらしい配色!!

JP TRAILRIDER 2.0 JACKET

90年代らしいマルチカラーブロッキングで仕上げた2.5レイヤーのジャケット。背面ポケットや首元のバタつきを防止するホールド機能などの意匠を継承し、袖の防水透湿素材テキサポールのロゴも当時を再現。￥26400

細部までディテールを踏襲し、最新防水透湿素材でアレンジ。

JP BLIZZARD+WATERLINE 2.0

大きな前立てやファスナーカバーなどが特徴的だった90年代のブリザードとウォーターラインをマッシュアップし、最新のテキサポールを採用した2.5レイヤーのアノラック。スタッフサック付きで携帯性も◎。￥24200

当時のデザインを復刻したグラデーションロゴ。

今回のレトロ・アーカイブ・パックを象徴するグラデーションロゴは、実際に当時のアイテムのインサイドネームとして用いられていたものをあえて外側に配置することでブランドDNAを体現しながら、クラシカルなムードを演出。右側の画像は創業当時の初期メンバーの写真。一番高いところにいるのが創業者のウルリッヒ・ダウズィン。

’80sマルチポケットベストを現代風に仕立てた復刻モデル。

JP SURVIVOR 2.0 VEST

切り替えやシルエットなどのディテールを現代的にアップデートしたベスト。ボディ素材はオーガニックコットンとナイロンをブレンドしたモスキートプルーフ。背面の大部分にはメッシュを採用。3月発売予定。各¥15400

’88年のカタログに掲載された写真。カセットテープやプレーヤー、ヘッドフォン、電卓などのガジェット類からも、80年代らしい雰囲気が伝わる。

創業期のレトロな雰囲気を、グラフィックデザインで表現。

JP TATZE 2.0 T(左)
JP SACK DETAILS RETRO LS T(右)

狼の足跡、ポーマークをビッグサイズのマルチカラーでプリントしたTシャツ。ロンTは’88年のカタログに記載されたバックパックの解説ページをグラフィックで背面プリント。ともに4月発売予定。（左）¥5940（右）¥7040

現代的ディテールワークがクロスオーバーしたパンツ。

JP STAYAWAY2.0 SHORTS(左上)
JP TANGO+LIMBO 2.0 SHORTS(左下)
JP DUSTYROAD+EXPERIENCE 2.0(右)

当時のアウトドアウエアらしい配色で仕上げたショーツはともに機能素材を使用し、ディテールも実用的に。ベルト付きのロングパンツはヒザ部分にベンチレーションを備える。（左上）¥9900（左下）¥9790（右）¥14300

90年代アーカイブデザインをモチーフにしたハットも展開。

JP VAGABOUND 2.0 HAT

クラシックなデザインをもとに、テーピングをあしらった同色のジャカードネームで今っぽさをプラス。サイドに配したアイテム名の刺しゅうがアクセント。内側の汗止めバンドは吸水速乾仕様。3月発売予定。各¥5500

佐々木 慎　スタイリスト

1984年生まれ。“GoRi”の愛称で、ファッション誌、広告、カタログなどを中心に活躍。愛車のデリカD:5で海に山に繰り出すアクティブ派で、アメリカ系ブランドの古着への造詣も深い。

ドイツ老舗ブランドならではの、独特なカラーリングが魅力的。

「いわゆるアメリカの西海岸ブランドとはひと味違う、寒冷地のドイツならではの絶妙なカラーリングで、フード裏やドローコード、収納袋など、細かなところまで色使いにこだわっているのがいいカンジ」と、マルチカラーブロッキングの先がけであるジャック・ウルフスキンの遊びゴコロあるデザイン性を踏襲する、今回のレトロ・アーカイブ・パックの魅力を語るGoRiさん。「テキサポールなどの機能性と発想力あるデザインを兼ね備え、つくりもしっかりしているから、オシャレだけどホンキさも感じられるフォルクスワーゲンのヴァナゴンみたいな質実剛健なイメージ。個人的にはアノラックパーカのブルーとかをオーバーサイズでざっくりと着たいですね」。

(問)ジャック・ウルフスキン カスタマーサービス　tel：0120-300-147　www.jackwolfskin.jp

春のバックパック

このシーズンになると気になる、最新バックパック事情。

これから新生活が始まる人もそうでない人も、とにかく暖かくなってくれば新しいバックパックを背負って出かけたくなるはず。使い勝手やデザインに秀でた2021春の最新バックパックを集めてみました！

Edit／Takatoshi Akutagawa（Thunderbird Design）　Photo／Hiroyuki Yamada　Styling／Takahiro Nakajima
※容量は編集部調べ。

JANSPORT
SUPERBREAK PLUS

春らしさ全開のカラフルラインナップ。

ブランドを代表する人気モデル「スーパーブレイク」にボトル用サイドポケットや15インチまで対応のPCスリーブを追加し、使い勝手がより向上したアップデートモデル。ジャンスポーツらしい、目にも鮮やかなカラーバリエーションの豊富さも高ポイント。26L。各¥7150（ユニグローブ）

Liberaiders
TRAVELIN' SOLDIER BACKPACK Ⅱ

1000Dコーデュラナイロンを採用、PCスリーブやボトルホルダーなどを備え、普段使いに最適な一品。背面はメッシュの下にロゴを配し、通気とデザイン性を兼備。30L。¥16500（ニュートロン）

GREGORY
DAYPACK CLASSIC BOLD 2

ウェビングベルトやショルダーストラップ、ジッパープルや内装など、これでもかというくらいグレゴリーロゴを散りばめたシーズナルモデル。26L。¥24200（グレゴリー／サムソナイト・ジャパン）

OUTDOOR PRODUCTS
4053EXPT DAYPACK

同社の人気バッグ「4052EXPT」を大振りサイズにアレンジした新モデル。コーデュラナイロン×スエードのコンビで耐久性にも優れる。32L。¥8580（アウトドアプロダクツカスタマーセンター）

FREDRIK PACKERS
NYLON OX TIPI DAYPACK

大きく開くメイン室の開口部や内外のメッシュポケットなど荷物のアクセスと収納性に優れるデイパック。デイリーユースに向いた軽さもポイント。16L。¥12980（ハリウッド ランチ マーケット）

F/CE.®
RECYCLE TWILL TYPE A TRAVEL BP

全体の50%に高品質リサイクルナイロンを採用し、テープのロールエンド処理や肩のカーブに沿うよう工夫されたアジャスターなど快適性を追求した機能が満載の注目作。16L。¥22000（ルート）

L.L.Bean
MOUNTAIN CLASSIC BIGELOW BACKPACK

革製ピッケルホルダーなど古き良き時代のバックパッカーを彷彿とさせるクラシック感が魅力。デイハイクから街まで幅広く対応。35L。¥21780（エル・エル・ビーン カスタマーサービスセンター）

THE NORTH FACE PURPLE LABEL
MOUNTAIN FIELD DAYPACK

TNFを象徴するマウンパデザインがモチーフ。表面に撥水加工、裏にアクリル加工を施し、ハリが出るよう仕上げた綿60／ナイロン40%のグログラン生地を採用。25L。¥28600（ナナミカ 代官山）

Nigel Cabourn
DAYPACK PEAT LABEL

スイス軍の生地を再現したオリジナル生地を使用し、形は'60年代米国のデイパックがモチーフ。ホーウィン社のレザーを配し、質実剛健なつくりと軽さも特徴。25L。¥41800（アウターリミッツ）

KELTY
'80S DAYPACK

クラシカルなティアドロップ型フォルムに'80年代に使用されていた織ネームを配した、懐かしくも新鮮な一品。全6色展開と豊富なカラバリも嬉しい。18L。¥10780（アリガインターナショナル）

D/HILL × EASTPAK
D/HILL × EASTPAK DAY PACK

世界的スケートボーダーが手掛けるブランドとのコラボ。旅を連想させるトランクのステッカーをイメージしたパッチは、'60年代の米軍のテント生地を採用。24L。¥33000（ティーニー ランチ）

MOUNTAIN HARDWEAR

ALPINE LIGHT 28, 35, 50

スタイリッシュなホワイトが魅力のMHW最新作。

眩いほどの純白ボディがひと際目をひく、ファストパッキング用モデル。生地やベルト、フォームなど、ほぼすべての素材が無染色で環境負荷も少ないというこだわりで、メイン素材には超高強度のスペクトラナイロンリップストップを採用する。上：¥31900、右：¥39600、下：¥50600（コロンビアスポーツウェアジャパン）

Jack Wolfskin
CROSSTRAIL 24 LT

100%PFCフリー素材で製作し、背面には独自のエアコントロールシステムを採用で、フィット感と通気性を追求。レインカバー付属。¥15400（ジャック・ウルフスキン カスタマーサービス）

MILLET
TRILOGY 15+

超軽量で耐久性も持つ50Dダイニーマを採用し、過酷な環境でも優れた機能を発揮するアルパインパック。フリーロックダイヤルシステム搭載。¥26400（ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン）

GRANITE GEAR
PERIMETER 35

あらゆる体型に適したフィッテングを可能にする新背面システム、ペリメターサスペンションを搭載。脱着式リッドや高い撥水性能、各種ポケットなど多機能を誇る。¥27500（ヴァーテックス）

MYSTERY RANCH
URBAN ASSAULT 21

オレンジのパーツや専用ベルクロパッチなどのディテールは、森林消防隊をサポートするための特別仕様。売上の一部はMRが立ち上げた奨学財団の資金に拠出される。¥19250（エイアンドエフ）

CABIN ZERO
DAY PACK FLAP

搭乗中に荷物を整理したり、サブの機内持ち込み荷物としてシート下に取り付けたりとトラベル時に重宝する機能が豊富。スキミング防止のRFIDポケットも装備する。21L。¥11000（アンバイ PR）

MAMMUT
SEON CARGO 35

今季より改良したセオンシリーズは"家〜会社〜ジム"のコンセプトで製作され、オン／オフで使用可能。カーボネート加工済みなので耐久性もアップ。¥19800（マムート スポーツ グループ ジャパン）

OAKLEY
VOYAGER BACKPACK

撥水性リサイクルナイロンを採用し、オークリーらしいアイウエア収納に最適なポケットのほか、内外に多数のポケットを備えている。26L。¥13750（ルックスオティカジャパン（オークリー））

EXPED
CENTRUM 30

15インチまで対応のPCスリーブやガジェット収納に最適なポケットに加えて、霜降り調の600Dリップストップナイロンファブリックでタウンユースに重宝するモデル。¥16280（アクシーズクイン）

douchebags
THE ELEMENT JO CAMO 3.0

スウェーデン軍のカモ柄をグレー系にアレンジした限定色はランドプロデューサーであるヨン・オルソンのシグネチャーモデル。軽量かつ防水性に優れた生地を採用。32L。¥42900（RCTジャパン）

MILLET
SAAS FEE 30+5

コーデュラナイロンに快適性の高い背面システムを備えた人気モデルの新色。背負ったまま取りやすいメッシュストレッチポケットも付く。¥21450（ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン）

Eddie Bauer

STOWAWAY PACKABLE DAYPACK

パッカブルで機能性も高いバックパック。

メインとしてもサブとしても使える、バリエーション豊富なパッカブル仕様バックパックの「ストアウェイ パッカブル デイパック」。コスパも最高で容量や機能性、カラーリングなど、使うシーンに合った最適なモデルがきっと見つかるはず。上段左20L：￥3300、上段右25L：￥4400、下段30L：各￥4400（ハンドイントゥリーショールーム）

C.P. COMPANY
NYLON-B LENS BACKPACK

ブランドお得意の、ナイロンにガーメントダイを施した一品で経年変化が楽しめる。Wジップポケットやアイコンとも言えるレンズディテールも特徴的。20L。¥31900（トライステイトジャパン）

FREITAG
CARTER

同社の代名詞的なリサイクルトラックタープと高耐久な再生ペットボトルナイロンのコンビ。前のストラップにはウエアなどを引っかけられる。22L。¥37400（フライターグ ストア トウキョウ シブヤ）

Columbia
PEPPER ROCK 30L BACKPACK

スマホ入れやペンホルダー、ボトルスリーブやハイドレーションなど街から山まで対応する多機能モデル。独自の撥水性素材オムニシールドを採用する。¥13860（コロンビアスポーツウェアジャパン）

AS2OV
WATER-PROOF CORDURA DAYPACK

耐水圧20000mmの透湿防水素材UNBY-TEXを始め、保冷シート付きボトルホルダーや衣服への摩擦を軽減するネオプレン素材装備のショルダーなど高い機能性を誇る。19L。¥28600（アンバイ PR）

blue de chauffe
CAMP

高品質コットンキャンバスとベジタブルタンニンレザーを組み合わせ、フランスにて一つ一つ職人により製作。内側の脱着式ポケットはポーチとしても使用可能。20L。¥39600（クオリネスト）

bagjack
RUCKSACK SLW2020

既存モデルを小ぶりにアレンジし、上質なリモンタナイロンを採用する日本別注モデル。ストラップは脱着式なのでカラビナなどで本体を吊るして使うことも可能。18L。¥68200（オーバーリバー）

FILSON
DRY BACKPACK

ポリウレタンコーティングされた完全防水モデルは高密度フォームの背面パネル搭載で背負い心地も上々。ハンティングなどに適したオレンジは今季の新色。28L。¥29150（アウターリミッツ）

TASF × master-piece
ITEMNAME

一見普通のバックパックだが実は斜めがけのワンショルダーという個性的なプロダクト。思いのほか背負い心地も良好で、強靭性に優れた東レの1680Dナイロンを採用する。25L。¥29700（MSPC）

POLER
ELEVATED RUCKSACK

今季待望の復活を果たしたバッグコレクション。600Dポリのタフボディとクラシックな見た目に加え、PCスリーブも装着され、アクティブ＆街使い双方に対応可能。28L。¥12980（キャンバス）

COMFY OUTDOOR GARMENT
CMF BACKPACKERZ 32

耐水10000mm・透湿30000g/ m2-24hを誇る独自素材を採用。前面ポケットで容量を拡大でき、両脇からも内部にアクセスができるなど随所にこだわりが満載。¥33000（ロストヒルズ）

EASTPAK × BEAMS
PADDED PAK'R DOUBLE XL SP

ARC'TERYX × BEAMS
ARRO 22

JANSPORT × BEAMS
PLUS PACK

ノームコアなビームス別注モデルたち。

今季も精力的に別注企画を遂行し、魅力あふれるプロダクトでボクらの物欲を刺激してくれるビームス。上：ビームス40周年時に別注したモデルのサイズはそのままに、フロントポケットを2つにアレンジしてアップデートした「パデッドパッカーダブル XL スペシャル」 。29L。¥13200　左：これまで色替えが技術的に困難とされていた、フロントのカンガルーポケット部分をブランド初となるグレーカラーに変更したり、インラインでは現在採用されていない始祖鳥とブランド名の並記ロゴを採用するなど、これまで以上のこだわりが詰まった「アロー22」。22L。¥31350　右：ジャンスポーツのインラインモデルをベースに型から別注した「プラスパック」。ウエストバッグとポーチはそれぞれ取り外し可能で単体での使用もできる。31L（バックパック部分）。¥15950（ビームス 原宿）

cotopaxi
ALLPA TRAVEL PACK - DEL DÍA 42L

残布やパーツ類を再利用して、ほぼ全ての部位を色違いで組み上げた、まさに世界でオンリーワンの大型パック。カラフルな印象だけでなく、機能性も優秀。￥29700（アルコインターナショナル）

MICHEL LINNELL × SY32
BIG LOGO BACKPACK

耐水圧2000mmの撥水・耐久性のあるナイロンに、PCスリーブや各種ポケットなど使いやすい機能が盛りだくさん。ロゴは夜道でも安心なリフレクター仕様。41L。￥15400（ロンヨンジャパン）

and wander
SIL DAYPACK

摩耗・引き裂き・擦り切れに強く、2000mm以上の耐水性能を持つシルナイロン生地を採用。パッカブル仕様で、お馴染みの斜めファスナーにより出し入れ容易。15L。￥16500（アンドワンダー）

OSPREY
UL DRY STUFF PACK

シームテープ採用の防水モデルながら、使わないときは内部のポケットに小さく収まるポケッタブル仕様。メッシュのストラップなどULの名に恥じない軽量性も魅力。20L。￥7150（ロストアロー）

Marmot
PTEROSUR 28 X-PAC

X-PACを使う以外に独自技術ゼロパターンを駆使することで構成するパーツ類を極力減らし、軽さと耐久性を高めている。20〜35Lまで容量調整も可能。￥19800（デサントジャパンお客様相談室）

Patagonia
ARBOR LINKED PACK

クライミング用パックからヒントを得たアーバン仕様で、15インチまで対応するPCスリーブを備え、大容量のフロントポケットも高ポイント。25L。￥9900（パタゴニア日本支社 カスタマーサービス）

Haglöfs
CORKER 20L

サイドパネルが大きく開くので、内部のPCスリーブやオーガナイザーへのアクセスがスムーズ。正面のバンジーコードにはアウターなどを挟んでおける。￥18920（アシックスジャパン／ホグロフス）

THE NORTH FACE
BC CLIMBING BAG M

TNFの名作を街使いしやすく改良。高耐久性表地はそのままにPCスリーブや小物用ポケットなどを内部に配置。3月下旬発売予定。25L。￥19800（ゴールドウイン カスタマーサービスセンター）

BURTON
MULTIPATH COMMUTER 26L PACK

TPUコーティング加工済みのブルーサイン認証400Dナイロンを採用。PCスリーブをはじめ多彩なポケットやスーツケースのように180度開くメイン室などにより収納性も抜群。￥14300（バートン）

Black Diamond
STREET CREEK 30 RT BACKPACK

人気のストリートクリークシリーズにひと回り大きな30Lサイズが登場。自立式など使い勝手はそのままにロールトップ仕様に変更し、ポケット追加などでより便利になった。￥14300（ロストアロー）

BROOKLYN MACHINE WORKS
BKMWBAG 03

N.Y.発、自転車を主としたストリートカルチャーを背景に持つ人気ブランドが手掛けるバックパック。ミニマルなデザインながらも多機能を誇る。40L。¥22000（ハンドイントゥリーショールーム）

TASMANIAN TIGER
MODULAR PACK 30 IRR

700Dコーデュラナイロンに対赤外線コーティング加工を施し、赤外線暗視装置などに対する迷彩効果を持つ逸品。こちらの新色は同社イチ押しのストーングレーオリーブ。¥44000（トランパーズ）

macole
SPECTRA HARNES

超高強度ポリエチレン繊維を織り込んだスペクトラを使用。拡張式でアウターやヘルメット、スニーカーボックスなど大きいものまで挟み込むことが可能だ。30L。¥25300（キャニオンワークス）

CHUMS
SLC ONYX 2WAY OVERNIGHT DAY PACK

トロリーケースのハンドル固定用スリットなどトリップにも便利な大型デイパック。限定のメタルロゴバッジや本革使いといったクラス感のある仕上がりにも注目。35L。¥29700（チャムス表参道）

THULE
LITHOS BACKPACK 20L

15.6インチPCスリーブや10.1インチタブレットスリーブをはじめ、内容物が見つけやすいジッパー付きメッシュポケットなど収納性に優れたアーバンモデル。¥13200（ゼット お客様相談センター）

MONOLITH
BACKPACK PRO L

今季始動の注目バッグブランドでビジネス・スポーツ・トラベルとあらゆるシーンに対応する。摩耗・引き裂きに強い1260Dコーデュラバリスティックナイロンを採用。33L。¥44000（ムロフィス）

pacsafe
VIBE 25

13インチPCスリーブのほか、同社らしく盗難防止機能も装備したスポーティなモデル。海に捨てられた魚網やプラスチックなどを再生したリサイクルナイロンを採用。¥16500（エイアンドエフ）

Cote & Ciel
ISAR MEDIUM POP ACCENT

建築的な曲線美を活かしたフォルムは耐衝撃性や雨が流れやすいなど高い機能性も発揮。レインカバーや貴重品用の隠しポケットなど多彩なギミックも備える。32L。¥53900（コートエシエル東京）

White Mountaineering × MILLET
CATAPIE

インラインモデルをひと回り大きくリサイズし、普段使いしやすくアレンジ。今回一緒にコラボしたマウンパに通じるようなファスナー多重使いも秀逸。35L。¥22000（ホワイトマウンテニアリング）

DOLDY
KESPA 2TONE

同社の代表モデル「ストーン」にサイドポケットを4つ追加し、バイカラーでアレンジ。ドルディのアイコンとも言えるお馴染みのデイジーチェーンは両サイドに装備される。40L。¥16500（ドナ）

MT.RAINIER DESIGN
LUGGAGE PACK

荷物の出し入れがしやすいよう180度開くメイン室が特徴の2WAYで使えるブリーフバッグ。ボトム部には耐久・難燃性に優れたポリカーボネート素材を採用。24.5L。¥25300（ハイ！ スタンダード）

Matador
SEG 42 ONE BAG TRAVEL PACK

ダッフルバッグのように使えるほか、外部からアクセスできる容量自在の小分けポケットを5つ装備。TPOに合わせて効果的なパッキングが可能で背面にはPCスリーブも。¥24200（エイアンドエフ）

MEI
SCRAMBLER MOTOPACK Ⅱ

スペクトラファイバーやX-PACなどの高機能素材を採用し、MTBなどのタフなシーンで活躍するエクストリームスポーツユーザーを想定したモデル。28L。¥20680（スタンレーインターナショナル）

FORTUNA HOMME
NOSEAM ROLLTOP BACKPACK

サステナブルな物づくりにこだわる、今季誕生の気鋭銘柄発、ウェルダー加工で縫い目をなくした防水仕様ロールトップモデル。PCスリーブなど収納も付属。32L。¥26950（フォルトゥナ オム）

CWF
EZ PACK

トートバッグとバックパックの良いとこ取りをし、デイリーユースに最適な「イージーパック」。PCスリーブのほか、大容量外部ポケットやドリンクポケットも装備。（ボイジャーリンク）¥12980

AIGLE × FAGUO
FAGUO BACKPACK

フレンチブランド同士のコラボモデルでデリバリーバイカーからインスパイアされたロールトップパック。防水仕様で13インチPCスリーブが付属する。22L。¥20900（エーグルカスタマーサービス）

CIE
VARIOUS BACKPACK-01

ポリウレタン加工済みの600Dポリエステルを採用し、都会的ななルックスながら耐久・防水性に優れる。ガバっと大きく開く本体はアウターなどを挟み込むのに便利。15L。¥20900（リアルワークス）

THE NORTH FACE
BC FUSE BOX Ⅱ

脱着可能なインナーオーガナイザーを搭載し、使い勝手に優れるロングセラーモデル。リアルツリー調のプリントは今季の新カラー。30L。¥17600（ゴールドウイン カスタマーサービスセンター）

MYSTERY RANCH
PRIZE FIGHTER

PCスリーブなど豊富なポケットを備えるメイン室は大きな開口部でスムーズな出し入れが可能。黒をベースにカラフルなロゴ＆ファスナー使いが実に映える一品。21L。¥19250（エイアンドエフ）

BACH
UNDER COVER 26

バッハが新たに提案するバイシクル用モデルで、上部からアクセスしやすいPCスリーブやガジェットポケット、底部にはリフレクター付きのレインカバーなど機能性に優れる。¥25300（バーリオ）

ソロキャンプの相棒的、LOG WAGONでGO!!

「あさひ」がアウトドア派に向けて提案する「LOG」シリーズから、前後キャリアを搭載したコンパクト自転車の「ログワゴン」が登場。いち早くソロキャンプに取り入れてみたところ、クルマが入れない林間サイトにも大量の荷物を持ち運びでき、快適かつアクティブに楽しめました。ギア感覚で扱えるタフなルックスも含めて、頼れる相棒になること間違いなし!!

Photo／Shouta Kikuchi　Styling／Tomoyuki Sasaki　Text／Masatsugu Kuwabara　Model／Patricio

持ち運ぶ荷物が制限されるバイクパッキングでも、このログワゴンならお気に入りのギアを全部まとめて積み込むことが可能。いつもと変わらず快適だけど、新感覚のソロキャンプスタイルが楽しめる。

1

2

3

4

5

1.ワイドタイヤと長めのホイールベースにより、荷物を積んだ状態でも林間のフィールドを安定して走ることができる。**2.**折りたたみ式のリアキャリアは、重い荷物もしっかりと支えてくれる。開閉式になっているため、荷物の量に合わせて積載面を増やすことが可能。**3.4.**ギアの延長で扱える無骨なデザインは、野営スタイルのキャンプサイトとも相性バツグン。**5.**オプションパーツも充実しており、ボトルなどを安定して固定できるアルミ製ケージなどが揃う。

スマートに持ち運べるOUTRUNKもあり!!

ログワゴンに先がけてデビューした「ログアウトランク」は、気軽に外遊びに連れ出せる軽量フォールディング自転車。スタイリッシュなフォルムのフレームに持ち手を備えるので、クルマへの積み下ろしや、フィールドでの持ち運びにもスマートに対応する。こちらもお見逃しなく!!

安全性や走破性にも優れた、アウトドア仕様の機能が満載。

LOG WAGON

前後にタフなキャリアを搭載した「ログワゴン」。重い荷物を運搬しても高い制動力を発揮するディスクブレーキや、悪路でも安定する20インチの幅広タイヤを装備。カラバリは、カーキ、マスタード、ブラックの3色展開。各￥49980

(問)あさひ　tel：0120-177-319　www.cb-asahi.co.jp

DELICA D:5

最新デリカD:5の実力を、アウトドアの達人がいまこそ体感。

いまの三菱車のデザインコンセプトとなる、ダイナミックシールド採用のフェイスチェンジが話題となった「デリカ D:5」。ルックスは変わってもデリカらしいタフネスさを継承する、その変わらぬ魅力に再注目してみました。

Photo／Fumihiko Ikemoto　Cooperation／オレンジ村オートキャンプ場

アウトドアギア的ミニバンの、ディーゼル＋四駆の実力健在!!

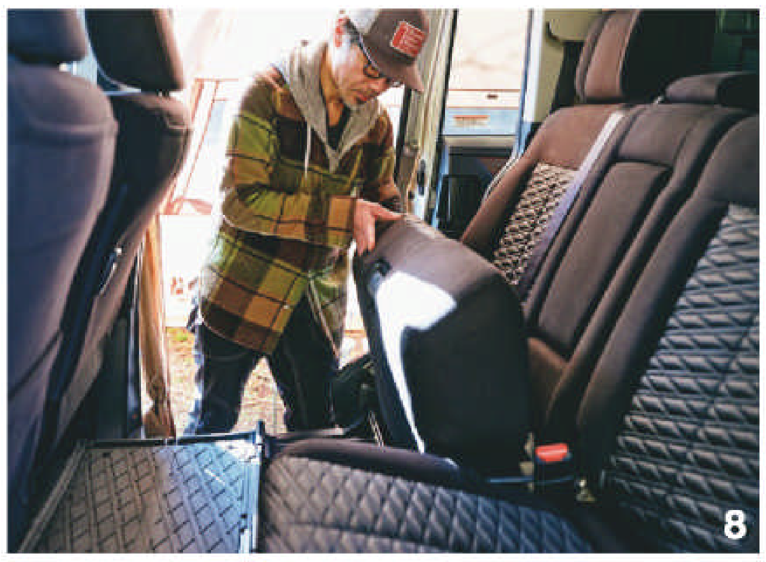
三菱のデリカは、ファミリーカーの象徴的なミニバンながら本格クロカン級のオフロード走破性を備えたモデルとして、'07年登場のD：5においてもアウトドア派に熱く支持され続ける1台。そして'19年のフルモデルチェンジ並みの大幅改良で、フェイスデザインが大胆に変更されたことは、みなさんご存知のとおりかと。そんな〝新顔〟になったD：5の実力を、ひと世代前の旧顔のD：5を愛車とするアウトドアの達人としておなじみの牛田さんに体感してもらいました。

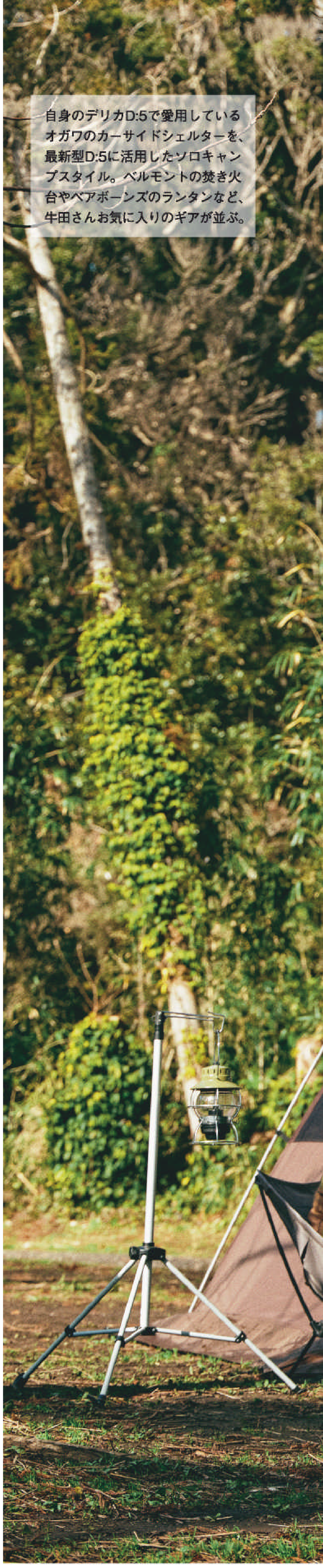
「顔は変わったけど、ディーゼル＋4WDのミニバンとしてライバル不在といえる孤高のクルマなので、その魅力がキープされているのは嬉しいかぎり。トルクのあるディーゼルならではの、高速道路の登り坂でもパワフルな走り、最低地上高やアプローチアングルなども含めた四駆車としての、フィールドでの悪路走破性の高さ、そして大人数が広々と快適に乗れて、ギアまでたっぷり積み込めるのは、やっぱりコイツしかいないですね」。

そのほかにも上質感を増した車内空間や快適装備、グレードアップした安全性能など、旧顔オーナーならではの目線でチェックしたポイントをお届けします。

牛田浩一
B.O.W 代表

国内外のアウトドアブランド専門にPR業務を担う。キャンプやトレッキング、釣り、MTBなどのアクティビティに幅広く精通する達人としてもおなじみで、イベントのコーディネートや専門誌の執筆、著者としての「キャンプ雑学大全」など多方面で活躍中。愛車は'16年式のデリカD:5。





自身のデリカD:5で愛用しているオガワのカーサイドシェルターを、最新型D:5に活用したソロキャンプスタイル。ベルモントの焚き火台やベアボーンズのランタンなど、牛田さんお気に入りのギアが並ぶ。

1.「登場した当時は押し出し強めなフェイスに賛否両論あったけど（笑）、いま見るとなじんできた気がしますね」。**2.**切削光輝仕上げの18インチアルミでもキャンプシーンにしっかり対応。「16インチ&車高アップしても似合いそう」。**3.**三菱自慢のAWCに基づいた電子制御4WDシステムのスイッチ。「3つのドライブモードが選べるので、街中、高速道路、未舗装路、雪道など、あらゆる路面で安心かつ快適」。**4.**木目調パネルなどでグレードアップしたコックピット。「ボクはパドルシフトを使った走行も多いので、8速ATが◎」。**5.**「自動追従のACCはフィールドからの帰りの高速道路で頼りになる」。**6.**主要グレードに標準装備の電動サイドステップ。「乗り降りしやすくなるので家族に優しい」。**7.**カーサイドシェルター内にはコットやフィールドラックを活用して、使い勝手のよい空間に仕上げた。**8.**「2列目シートの座面だけ跳ね上げできるのでクーラーボックスとかをフロアに置きやすい」。**9.**オプションのマットを活用すれば車中泊も快適に。

三菱 デリカ D:5

撮影車両はメッキのドアミラーやドアハンドル、マルチアラウンドモニターなどを標準装備した最上位グレードのP。【SPEC】全長4800×全幅1795×全高1875mm　ホイールベース2850mm　車両重量1980kg　2.2LコモンレールDI-Dクリーンディーゼルターボエンジン　最高出力107kW（145PS）/3500rpm　最大トルク380N・m（38.7kgf・m）/2000rpm　燃料消費率JC08モード13.6km/L　駆動方式4WD　8速AT　乗車定員8名　車両本体価格438万7900円～

（問）三菱自動車 お客様相談センター　tel：0120-324-860　www.mitsubishi-motors.co.jp

今回は人数限定!! ユルくて、オシャレなキャンプイベント開催続報!
GOOUT
CAMP
vol.16
2021年
前夜祭
15:00〜
8:30〜
〜14:00
(イベント終了12:00)
4/23(金)・24(土)・25(日)
ふもとっぱら(静岡県富士宮市麓156)
富士オートキャンプ場ふもと村(静岡県富士宮市麓174-1)
[主催]GO OUT CAMP実行委員会 [企画制作](株)三栄 GO OUT/アースガーデン [特別協力]K-mix/ふもとっぱら [協力]富士オートキャンプ場ふもと村 ※雨天決行・荒天中止
今回は広々とした全面オートキャンプで、開催に向けて進行中のGO OUT CAMP。スタッフ一同、
最大限の感染症対策と、楽しんでもらえるコンテンツを絶賛制作中です。そして出演アーティスト、
会場マップも決まってきました!! 最新情報をチェックして頂き、元気万全でのお越しをお待ちしております。
KINASHI
CYCLE

超豪華ラインナップ!! 全出演アーティスト発表。

広々使えるキャンプエリアと、コンテンツが集まるエリアに一新!

広々としたキャンプエリアは、隣のサイトとも距離を取れるので安心してオートキャンプを楽しむことができます！ そして、豪華アーティストのライブステージ、人気ブランドの出展、アウトドアアクティビティ、ワークショップまで、初参加の方から常連の方まで楽しめるように、会場のレイアウトをリニューアル。

GO OUT CAMP vol.16 MAP 第一弾

※今後、コンテンツなどが確定次第、バージョンアップしていきます。

GO OUT STAGE

人気アーティストのライブ以外にもヨガ、抽選会なども開催される見逃し厳禁のメインステージ。

WORK SHOP GARDEN

木工ワークショップやキャンドル作りなど、手作りが楽しい多数のワークショップが楽しめる。

Brand Avenue

アウトドアギアからウエア、小物まで、人気ブランドが軒を連ねる、買い物が楽しめる大人気エリア。

MARKET VILLAGE

ガレージブランドからクラフト作家まで、1点ものの掘り出し物に出会えるかも。くまなくチェックが吉。

Kids Fields

ここは子供が主役のエリア。自然環境を生かして楽しめる体験教室やアクティビティ盛り沢山の遊びの王国。

FOOD AREA

様々なジャンルの絶品フードとドリンクブースが軒を連ねる。お腹を満たしてくれるフードエリア。

Contents

各ジャンルの達人たちから学べるGO OUT CAMPお馴染みのアクティビティやコンテンツがラインナップしました。色々なコンテンツに参加して、くまなく遊び尽くしましょう! 今後続々と発表されていくので、お楽しみにお待ちください。

and more!

GO OUT CAMPへお越し頂く皆さまへ。

GO OUT CAMP vol.16は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、会場に滞在する人数を
GO OUT JAMBOREE 2019の半数以下となる3,000名以内に制限して、来場者同士の距離がしっかりと確保される会場を作ります。
混雑する出展ブースにおいては前後の方と距離を取って、お買い物やブースのチェック、体験などを楽しめる会場レイアウトとします。
会場内各所に手指消毒液を設置するほか、高頻度接触部(水場、トイレ、売店など)の消毒を定期的に行います。
スタッフ・出演者・関係者の健康管理を徹底し、来場者される皆様同様に以下の取り組みも行う事で、安心して参加できるイベントにします。
そのため、ご来場される皆様にも来場前、会場内では以下のお約束にご協力をお願いいたします。

キャンプイベントを楽しむためのお約束。

来場前

体温の測定

自宅を出発する前に必ず検温しましょう。体調が優れない場合は参加をしないでください。

同乗者の体温測定

車内に熱のある方がいた場合、全員の参加をお断りします。同乗者の検温確認も忘れずに！

参加のマストアイテム

マスク、消毒液、チケットを持って会場へお越しください。どれも忘れちゃダメですよ！

個人情報登録

チケットが必要な年齢の方は個人情報登録が必要です。すでにチケットをご購入済の方は、上記QRコードからご登録をお願いします。

新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAの登録もお願いします。

会場内

マスク着用

飛沫感染を防ぐため、ご自身のテント以外では必ずマスクの着用をお願いします。

入場時体温測定

入場ゲートで非接触型体温計による検温を実施します。熱のある方はご入場をお断りします。

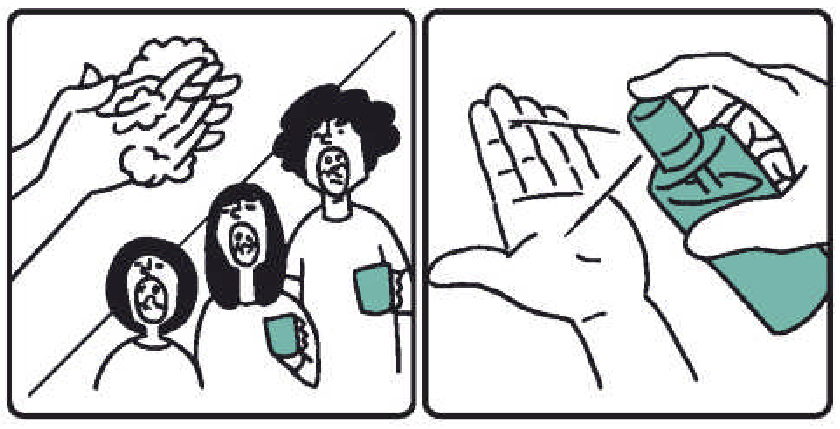
ソーシャルディスタンス

会場内ではできるだけ、人と人が接触しない十分な間隔を保つようにお願いします。

ライブ鑑賞

ステージ前方では、着席またはイス前で観覧ください。後方の方は隣の方と適切な距離で！

個々でも感染予防対策をしっかりと



こまめな手洗い、うがい、消毒を行ってください。会場内に消毒液を設置していますが、個々でも携帯消毒液や除菌シート等の感染症対策グッズのご持参をお願いします。

チケット購入前に必ず新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインのご確認をお願いします!

TICKET INFORMATION

2月26日(金)からローソンチケット、イープラスにて絶賛販売中!

1泊2日入場券+オートキャンプ駐車券セット　17,000円
1泊2日入場券+ふもと村ファミリーサイト駐車券セット　18,000円
1泊2日入場券　11,000円
金曜日祝泊入場券　2,000円

●イベント・チケットの詳しい内容や注意事項を必ず公式ホームページにて確認してご参加ください。
●チケット購入のお間違え、入場時間のお間違えなどないようご注意ください。

※すべて税込価格。※入場は1名につき1枚の入場券が必要です。※小学生以下は保護者同伴に限り無料です。※駐車は1台につき1枚の駐車券が必要です。※出演者変更、出演取りやめ、コンテンツ中止、荒天などによるチケットの払い戻しはできません。※会場の都合などによりイベントが中止になる可能性がございます。予めご了承ください。※本誌発売日にすでにチケットが完売となっている場合もございます。

イベントやチケットについて詳しくは公式ホームページをCHECK!!

www.gooutcamp.jp

@goout_camp
GO OUT CAMP
@goout_camp

楽しめるビーチキャンプフェス。

MP猪苗代 vol.7

開催決定!

2021年

5/28（金）・29（土）・30（日）

天神浜オートキャンプ場

（福島県耶麻郡猪苗代町中小松四百刈1959-2）

［主催］GO OUT CAMP実行委員会　［企画・制作］（株）三栄／アースガーデン／（株）パイク　［特別協力］猪苗代町／KFB福島放送／天神浜オートキャンプ場

GO OUT CAMP猪苗代の開催が決定しました! 会場は絶景ビーチが自慢の天神浜オートキャンプ場。
湖やビーチで楽しめるアクティビティや音楽ライブ、ショッピング、ワークショップ、
打ち上げ花火など、GOC猪苗代ならではのコンテンツが盛り沢山。
スタッフ一同、健康管理や新型コロナウイルス対策をしっかりと行い、皆様をお待ちしております。
それでは、今後発表されるアーティストやコンテンツ詳細の続報をお楽しみに!

猪苗代湖畔の絶景キャンプ場で
GOOUT C
GO OUT ID 会員限定のオトクな超先行チケット抽選受付中!!
超先行チケットは2021年2月26日（金）12:00～2021年3月14日（日）23:59まで受付中。
GO OUT ID 会員様限定の超先行チケットをご用意。抽選申込は、会員限定となりますので、この機会に登録をお願いします。
GO OUT IDは、GO OUTの雑誌、通販サイト、WEBメディア、イベントなどからのお得な情報やスペシャルな体験を楽しめるメンバーシッププログラムです。
Tickets
1泊2日入場券1枚+オートキャンプ駐車券1枚セット　9,000円
1泊2日入場券2枚+オートキャンプ駐車券1枚セット　14,800円
1泊2日入場券3枚+オートキャンプ駐車券1枚セット　20,600円
1泊2日入場券4枚+オートキャンプ駐車券1枚セット　26,400円
上記の他、金曜日宿泊入場券がセットになったチケットもあります。
GO OUT ID 会員限定超先行チケット抽選受付期間
2021年2月26日（金）12:00～2021年3月14日（日）23:59まで
お申込みには、GO OUT IDへのご登録が必要になります。抽選結果は2021年3月16日（火）にメールにて当選・落選のご連絡をさせていただきます。当選メールが届いた時点で購入確定となります。
お申込は
コチラ→
ローソンチケットにて3月19日（金）から先行販売開始!
先行チケットは2021年3月19日（金）12:00～2021年4月18日（日）23:59まで
Tickets
1泊2日入場券1枚+オートキャンプ駐車券1枚セット　9,500円
1泊2日入場券2枚+オートキャンプ駐車券1枚セット　15,800円
1泊2日入場券3枚+オートキャンプ駐車券1枚セット　22,100円
1泊2日入場券4枚+オートキャンプ駐車券1枚セット　28,400円
1泊2日入場券2枚+バンガロー付き駐車券セット　26,800円
1泊2日入場券　6,800円
金曜日宿泊入場券　2,000円
※すべて税込価格。※入場は1名につき1枚の入場券が必要です。※小学生以下は保護者同伴に限り無料です。※駐車は1台につき1枚の駐車券が必要です。※駐車券のみの販売はありません。※出演者変更、出演取りやめ、コンテンツ中止、荒天などによるチケットの払い戻しはできません。※会場の都合などによりイベントが中止になる可能性がございます。予めご了承ください。※イベント、チケットの詳しい内容や注意事項を必ず公式ホームページにてご確認ください。
イベントやチケットについて詳しくは公式ホームページをCHECK!!
www.gooutcamp.jp
@goout_camp
GO OUT CAMP
@goout_camp

自分だけの理想の趣味空間が手に入る!

Livin' BASE

GO OUTが考えた基地のような家、Livin' BASE。特徴的な「BASE」を中心に趣味が充実する間取り。外遊びがもっと楽しくなる、理想の家を建てよう！

Photo／Shigeki Orita, Chie Kushibiki　Text／Shiyori Kawamura（RIDE MEDIA&DESIGN）

EXTERIOR

シックな黒をベースに、柔らかい雰囲気をプラスしてくれるウッド素材が映える外観。山や海などのアウトドアテイストはもちろん、ナチュラルなテイストのインテリアにもマッチするので、庭や玄関周りを好みのテイストで飾り付けるのも◎。庭ではBBQ、デイキャンプを楽しむほか、個性に合わせて自由気ままに暮らしたい。

DIRT FLOOR

ガレージのように使い勝手がよく、現代的にアレンジされた「土間」部分。外につながる出入り口があり、キャンプやスノーボードなど外遊びのギア収納に最適で、自転車やバイクの置き場所としても活用できそう。窓付きで明るさも十分。収納スペースだけでなく、工具を並べD.I.Y.の作業スペースとしての活用もオススメ。

外遊びも毎日の生活も充実!
自由自在な基地のような家。

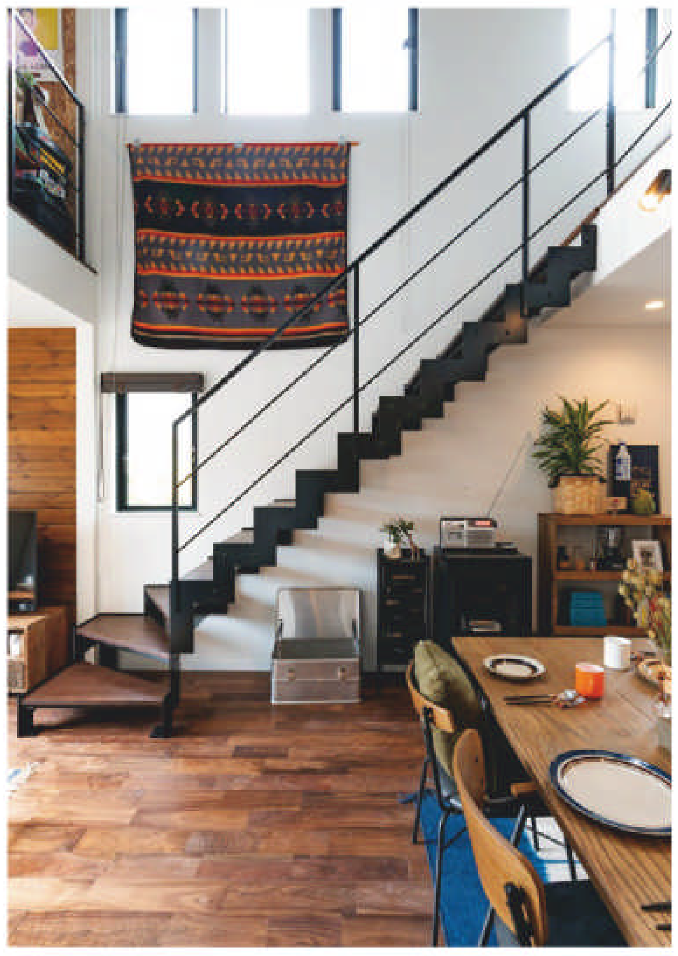
毎日過ごす家でもアウトドアな気分を満喫したいし、家族や仲間と楽しい時間を過ごしたい。室内はおしゃれなインテリアにしたい。そんなワガママな想いをすべて実現できる、夢のような住宅がLivi'n BASE。自慢のギアたちを収納できる、基地のような空間「BASE」が最大の特徴です。ほかにも外と家との空間をつなげてくれる「DIRT FLOOR」、リビングから広がるウッドデッキなど、外遊び好きがより快適に暮らせるインテリアの要素が凝縮。室内を見ると、タイルを壁一面に使ったキッチンやアイアンの収納棚など、GO OUTらしい素材が盛り込まれ、スタイリッシュな暮らしを楽しめます。この住宅は、全国で多数の実績がある住宅メーカー「suzukuri」が手がけたもので、これまでの工例に基づいて使い勝手を考え抜かれた構造。家族や仲間と団らんのひとときを過ごす広いリビングは、吹き抜けによるバツグンの開放感。家に戻ってくるたびに、ほっと落ちつける空間です。家族の人数や居住地など、それぞれのライフスタイルに合わせて選べる複数のプランをラインナップ。

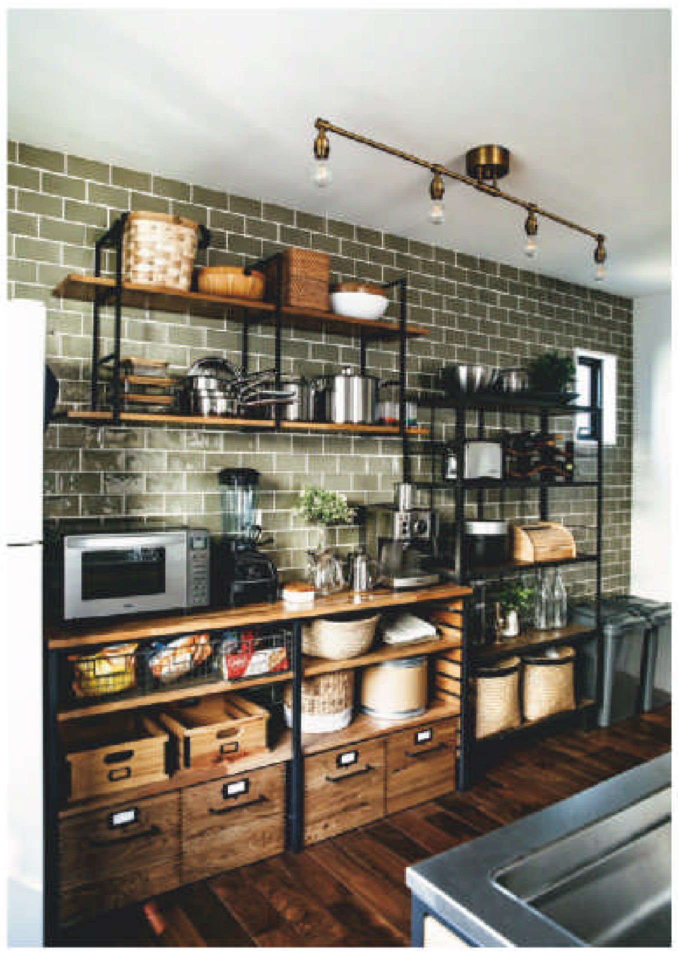
BASE

この家最大の魅力は、何と言ってもリビングの吹き抜け上部にある「基地／BASE」スペース。階段を上がると広がる空間は、まるで子どもの頃に夢見た秘密基地のよう。オプションのひとつとして、2×4材と有孔ボードを使った収納壁がゲットできるので、専用フックを使いコレクションした自慢のアウトドアギアを並べるのもよし、なかなか捨てられないパッケージをディスプレイ、なんて手も。工具を並べれば秘密のアトリエさながら。大好きなアイテムたちに囲まれた、自分だけの趣味空間が手に入ります。

LIVING

スライド式の大きな窓から光が射し込むリビング。窓はウッドデッキと直結しているので、休日は外でご飯を食べるのもアリ。直結したダイニングスペースと合わせ、約21帖もある広さと、2階へと続く吹き抜けがより開放的な空間を作ってくれます。好きな家具を持ち込んで、自分テイストなリビングを完成させたい！また、奥に設置されたキッチンからは調理中もリビングにいる家族とコミュニケーションが取れるため、ファミリー必見のレイアウト。家族団らんのひとときがより楽しくなる空間に仕上がっています。

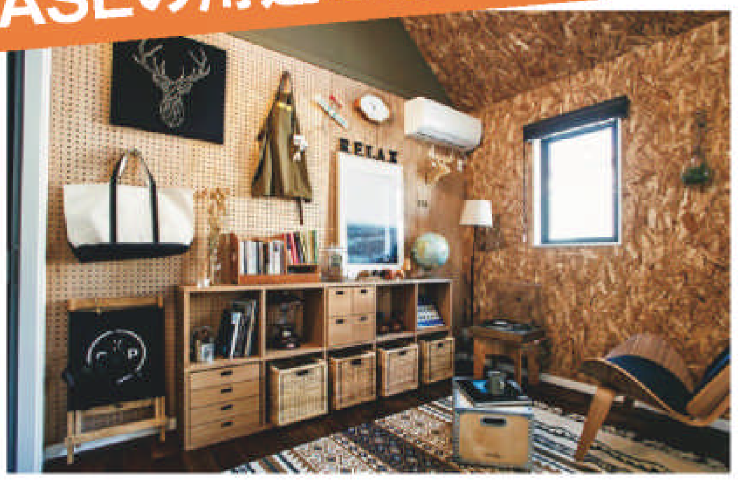




KITCHEN

開放感溢れるオープンキッチンに、調理器具や食器類が十分入るたっぷりの収納スペースが確保された使い勝手バツグンの仕上がり。特に注目してほしいのが、タイルに映える黒いメタルフレームと木材がマッチしたオリジナルの食器棚。壁一面のタイルは好みのカラーをチョイスでき、自分オリジナルのインテリアが完成します。またダイニングテーブル近くの棚は、ディスプレイラックとしても活用でき何かと便利そう。また、コンロの上にはパワフルな換気扇を採用し、家の中に調理中のニオイがこもる心配もナシ！

BASEの用途は無限大



BASEの使い方は自由自在！ キャンプギアを置き趣味スペースとして活用するのはもちろん、本棚を作れば家族の読書スペースにも最適。またリビングから見える場所にあるので子どもの遊び場にしたり、レイアウト次第で用途は無限大。

Livin' BASE

気になったら、
まずは資料請求!!

suzukuri

株式会社ナック
suzukuri Div.
Tel 03-3342-4533
http://suzukuri.jp/

and wander style vol.4

バブアーとの鉄板コラボ第3弾は、ショーツとのセットアップで登場!!

コンテンポラリーなファッションピースとしての完成度と、アウトドアギアとしての有用性を高い次元でマッシュアップする「アンドワンダー」。そのこだわりを誰よりもよく知るショップスタッフが個人的にもイチ押しする、いま旬なアイテムをピックアップ!!

Photo／Shouta Kikuchi　Text／Satoshi Yamamoto

50年代名品の特徴を踏襲し、現代的な素材でリファイン。

Barbour × and wander
Barbour CORDURA solway shirt（上）
Barbour CORDURA solway short pants（下）

ワックスドクロスでおなじみの英国伝統ブランド「バブアー」とのコラボ第3弾。50年代の白タグ時代の名品“ソルウェイスモック”を現代的にリファインしたトップスと、そのセットアップとしてつくられたショーツ。ファン垂涎の最新コラボ作をお見逃しなく!!「当時のディテールを踏襲しつつ、素材にはコーデュラリップストップを採用したプルオーバーシャツ。軽量感と優れたフットワークで、都会的に仕上げたアイテムです。同仕様のショーツとのセットアップスタイルは、タウンユースだけでなく裏山や川沿いの探検などに着用したいですね。もちろんそれぞれ別個での着用も◎。コーデの幅がひろがる2アイテムです」。（上）￥40700（下）￥29700

街でも外遊びでも頼れるバディ的存在のコラボ作。

山口隼人さん
and wander
名古屋ラシック 店長

学生時代に古着に傾倒し、セレクトショップでのバイトを経て洋服屋ひと筋17年。海にも山にもアクセスのいい名古屋地区を拠点に、ライフワークのアウトドア遊びを満喫中。

（上）襟裏のネームは両ブランド名が記される特別仕様。（中）フロントボタンを開けると、クラシックなアクセントともなる風除け付き。（下）バブアーらしいラウンド型の大きなフラップポケット。

（問）アンドワンダー　tel：03-5787-3460　www.andwander.com

GO OUT Choice

GOC06

Item

Gramicci NATURAL DENIM SERIES

Photo／Shouta Kikuchi

ナチュラルな風合いが春らしい、今季要注目のホワイトデニム!!

アメリカ・カリフォルニア州ヨセミテの小さな倉庫で立ち上げたブランド「グラミチ」。クライミングパンツの雄としてガゼットクロッチやウェビングベルトといった画期的なディテールを開発してきた同ブランドの中から、今回は定番シリーズとしてラインナップするパンツに今季から新たに仲間入りした、ナチュラルな風合いで明るい印象のホワイトデニムシリーズに注目。真っ白ではない生成りのような色合いが特徴で、10オンスのストレッチデニムはノンストレスで履き心地バツグン。いままでホワイトのパンツを避けてきたヒトでも履きやすそうな色味に仕上がっている。（問）インス　tel：0120-900-736　www.gramicci.jp

(左)細身のシルエットが特徴のグラミチ定番NNパンツのレングスをくるぶし丈になるように調整。履くヒトを選ばないオールマイティな1本。デニムNNパンツジャストカット￥12980
(右)ヒップと腿周りにゆとりをもたせた、細すぎず太すぎない絶妙なルーズシルエット。フロントポケットはベイカーパッチ仕様でワークテイストに。デニムルーズテーパードパンツ￥12980

ホワイトデニムにライトブラウンのステッチがナチュラルな風合いを際立たせつつ、いいアクセントに。程よい厚みの10オンスストレッチ生地はアクティブシーンでも着用でき、年間通して活躍してくれる。

最大の特徴となるエコで快適な履き心地を体現する“フロートエコ”を搭載し、アッパーにはリサイクルニットとTPUアッパーを、ライニングにはリサイクルメッシュを採用。伝統的なデザインと最新の技術を融合させた、サステナブルにもこだわった1足。¥12100

上のディープライケン、こちらのタービュランスと、タウンユースでも映えるカラバリを展開するほかに、スタイルをシックに落とし込むブラックを加えた全3色をラインナップ。

(左)メレル独自仕様の融解プラスチックを原料として採用し、廃棄対象となる端材を一切出すことなく成形されたミッドソール“フロートエコ”により、優れた軽量性とクッション性を両立。(右)30%のリサイクル素材を用いたラバーアウトソール。

GO OUT Choice

GOC07

Item

MERRELL CLOUD MOAB

Photo／Shouta Kikuchi

軽量でクッション性に優れた、最新技術搭載の新型モアブ。

今年ブランド設立40周年を迎えたアメリカ生まれのアウトドアブランド「メレル」の不朽の名作ともいえるモアブをタウンユースにコンバートしたクラウドモアブが新登場。リユースしやすい原材料を使用したサステナブルな新型ミッドソール“フロートエコ”を搭載し、まるでフワッと浮いてしまうかのような軽さと足を優しく包み込む快適なクッション性と安定性により、インソールいらずのシューズ構造を実現。長期間着用してもへたりにくい優れた耐久性とファッショナブルなカラーリングもポイント。エコで快適な履き心地の次世代スニーカーが誕生した。（問）丸紅フットウェア　tel：03-3665-1789　https://merrell.jp

GO OUT Choice

GOC08

Item

Patagonia ARBOR ROLL TOP PACK 30L

Photo／Shouta Kikuchi

パタゴニアの名作バッグに、ロールトップモデルが初登場。

環境保護活動に力を入れているサステナブルの先駆的ブランドとしても知られる、アメリカ・カリフォルニアのアウトドアブランド「パタゴニア」から、タウンユースを念頭にデザインされたスタイリッシュなルックスと、人間工学に基づく疲れにくさで高い人気を誇る名作バッグシリーズ“アーバーパック”に新作が登場。アーバーコレクション史上初となるロールトップ採用モデルとなり、発売は3月上旬予定なのでチェックは忘れずに。また、現在パタゴニア直営店は事前予約制のため、来店前にはホームページの各ストア予約フォームから申し込みを忘れずに。（問）パタゴニア日本支社 カスタマーサービス www.patagonia.jp/contact

(上)ロールトップ部分を最大限に伸ばした状態にすれば、より多くの荷物を収納できる。(中)背面にはサイドからすばやくアクセスできる便利なファスナーを完備。(下)フロントのポケットは口の上まであり、長いモノも収納でき使い勝手◎。

さまざまな量の荷物に合わせて開口部の巻き込み具合を調節できるロールトップは、しっかりと巻いて閉じることで耐水性を高めることが可能。100%リサイクルポリエステルと原料染めで作られた生地にはDWR加工を施す。15インチのラップトップ用スリーブを搭載し、小物の収納に便利なサイドポケットも完備。￥16500

2トーンカラーが目を引く、鮮やかなブルーをベースとしたカラバリは、上のブルー×ブルーに加え、ブルー×オレンジ、ブルー×ブラックをラインナップ。さらに1トーンのブラックが加わった全4色展開。

キャンプシーンにおけるインナーウエアのセレクトは意外と重要で、良質な綿100%の着心地と肌触りのいいインナーなら夏でも冬でも快適に過ごすことができる。帰りに立ち寄る温泉用に着替えの準備もマスト。左からピグメント ワッフル長袖Tシャツ￥3850、パネルリブ 半袖Tシャツ￥2200、切替え・ボーダーソックス各￥660、ワッフル長袖Tシャツ￥2750、ピグメント リブ半袖Tシャツ￥3300、ピグメントワッフル長袖Tシャツ￥3850

(右)クラシックモデルの半袖Tシャツはパネルリブ仕様により伸縮性に優れ、綿100%で肌触りもバツグンの定番アイテム。￥2200 (左)製品染め加工を施したピグメント リブTシャツも展開。￥3300

(右)定番のワッフルタイプのロングスリーブTシャツは全3色をラインナップ。各￥2750 (左)古着のようなビンテージ感を楽しめる、左の半袖と同様のピグメント リブ長袖Tシャツは全6色。￥3850

ロバートP.ミラーの代表作となるパネルリブ仕様のタンクトップ。豊富なカラバリが魅力で、無地の4色に加え、細ボーダーと太ボーダーをそれぞれ3柄ずつラインナップ。綿100%。各￥1980

全50色以上となる米国モートン社製のパネルリブ仕様のニットキャップは数量限定品。各￥1100 ソックスは柔らかな肌触りが特徴。切替え・ボーダーソックス各￥660、3Pパイルソックス￥1430

GO OUT Choice

GOC09

Item

Robert P. Miller Innerwear Collection

Photo／Shouta Kikuchi　Styling／Tomomichi Kondo

無骨な雰囲気が男心をくすぐる、コスパも魅力な高品質インナー。

パネルリブと呼ばれる針抜き仕様の独特な織り方は当時では画期的な技術で、40年代から60年代にかけて確固たる地位を築き上げた、アメリカ・アーカンソー州で生まれたインナーウエアブランド「ロバート・ピー・ミラー」。そんな1937年創業の老舗ブランドからベーシックをとことん追求したアイテムをたっぷりとご紹介。素材は良質な綿100%にこだわり肌触りがよく、丸編の一種となるパネルリブは高い伸縮性が特徴で着心地もよい。また、どのアイテムもシンプルで使いやすい色や柄を多くラインナップし、良心的なコスパなのでまとめ買いにもオススメ。（問）GSIアブロス　tel：03-6661-9163　https://miller.market

GO OUT Choice

GOC10

Item

MAMMUT NEW SEON SERIES

Photo／Shouta Kikuchi

フルモデルチェンジで進化した、マムートの大本命バックパック。

安全性とイノベーションを追求し続け高品質のプロダクトを提供する、150年以上の歴史を持つスイス生まれのアウトドアブランド「マムート」から、“オフィス to ジム”をコンセプトに掲げ、ビジネスから普段使いまでさまざまなライフスタイルにマッチする人気のバックパック“セオン”シリーズがフルモデルチェンジをしてリリース。以前のモデルよりも素材の耐久性がアップし、多目的なコンパートメントと細かいディテールもアップデートされ使い勝手がさらに向上。世界に先駆け日本先行発売となり、前作を超える仕上がりは一見の価値あり。（問）マムート スポーツグループジャパン　tel：03-5413-8597　www.mammut.jp

（左上）ラップトップやタブレット、書類の持ち運びに最適なパッド入りスリーブ。（右上）内側にパーテーションが付いた浅めの貴重品コンパートメントは出し入れもしやすく使い勝手バツグン。（左下）メインには2つに別れたメッシュのジップ付き内ポケットとシューズが入るほどのマチを設けたジップポケットを備える。

表地にはカーボネイト加工と撥水加工を施し、アナトミカルシェイプのショルダーストラップは柔らかいパッド入りで快適な背負い心地を実現。本体上部と右側面には手持ち用のハンドルを装備し、貴重品コンパートメントのジップにはフックが付き安全面を考慮。セオン トランスポーター 25￥19800

（左上）フロントのフラップ裏にはジップ付きポケットとキークリップ付きポケットを備える。（右上）側面にあるジップ付きサイドコンパートメントは小物の収納に重宝しそう。（左下）本体上部は入口が広くモノの出し入れがしやすいジップ付きのロールトップクロージャーとなり、手持ち用の小さなハンドルも装備。

フロントフラップのデザインが特徴的なクーリエは、セオンシリーズ唯一のロールトップ採用モデルとなり、こちらの20Lのほかに30Lも展開。生地やショルダーストラップは左のトランスポーターと同仕様で、パッド入りのスリーブも完備。同色のロゴでスタイリッシュな印象。セオン クーリエ 20￥16500

アメリカ製コットンを編み立てたブランドオリジナル生地をすべてのボディに採用した、日産とのコラボTシャツシリーズ。**1.**ダットサン トラックTEE ￥4950 **2.**キャラバンTEE ￥4950 **3.**サファリTEE ￥4950 **4.**スカイライン2000 GT-R ビッグTEE ￥5500 **5.**ブルーバード1600 SSS ロングスリーブTEE ￥6050 **6.**フェアレディ240Z ビッグTEE ￥5500 **7.**ラリーメカニック猫 ロングスリーブTEE ￥6600

GO OUT Choice

GOC11

Collaboration

go slow caravan
NISSAN × go slow caravan T-shirts Collaboration

Photo／Shouta Kikuchi

日産の名車たちがポップに蘇る、ゴースロー節全開の注目コラボ。

キャンプやフェス、サーフィン、サイクリングなどの外遊びをテーマに、身に付けたヒトがハッピーになるアイテムを展開する「ゴースローキャラバン」から、「日産自動車」とのコラボTシャツがリリース。日産が世界とトップを争った、ラリー参戦時代のメカニックスーツを着た猫をはじめ、ダットサンやフェアレディZ、ハコスカ、サファリと旧車をデザインに取り入れた「Taku Yoshimizu」氏が描くイラストは、どれもゴースローらしいポップな仕上がり。周囲にいるクルマ好きから注目を集めること間違いなしの、クルマ好きに着てもらいたいイチ押しTシャツ。（問）三高 tel：03-5669-0211 https://official.goslowcaravan.com

GO OUT Choice

GOC12

Item

OUTDOOR PRODUCTS FICCE, BRAVE COLLABORATION

Photo／Shouta Kikuchi

デイリーユースにおすすめの、フィセブレイブ別注2型が登場。

アウトドア愛好家に好まれる日用品を作りたいというアルトシュール兄弟の強い想いによって、1973年にアメリカ・カリフォルニアで誕生した「アウトドアプロダクツ」。ライフスタイルブランドとして世界60ヵ国以上で長年にわたり愛され続けている同ブランドがフィセブレイブ別注アイテムとして、2層式ボックスリュックとエコバッグをリリース。リュックにはPCポケットを搭載し、荷物が多くなってしまったときでも安心な30Lサイズ。エコバッグは会社に置いておき、ランチの買い物用としても最適。どちらも細かいディテールまでこだわった、デイリー使いにぴったりなアイテム。（問）ロワード／キタムラトレードサービス

底面と上蓋部分には耐久性が高く水にも強いターポリンを使用。PCポケットのほかに、フロントと両側面、背面サイドにもポケットを配置。底面気室には抗菌防臭機能をもつデオドラントネームが付属。￥10780
（問）サックスバー
tel：0120-073-357
https://sacsbar.com

(上)底面の気室には全面に保冷保温シートを使用し、保冷剤ポケットも完備。(中)右側面ポケットにはカールコード付きのパスケースを装備。(下)背面には胴体に直接アクセスできるサイドファスナーを配し、ちょっとしたモノの出し入れも容易。

厚手で丈夫なポリエステル生地と底の大きなマチが特徴のエコバッグは、コンビニのお弁当にぴったりなサイズ感。ペイズリーとストライプを基調とした全12色を展開し、パッカブル仕様で便利なカラビナも付属。￥2420
（問）サックスバー　tel：0120-073-357　https://sacsbar.com

カラフルなナイロンジャケットにシックな色味のテーパードシルエットのスウェットを合わせた、すっきりとみせる春のアクティブコーデ。ファッション製に加え、通気性と動きやすさも兼ね備える。ヘリテージジャケット¥49500、C.C.スウェットパンツ¥1870／ともにネイタルデザイン その他モデル私物

ランタンハンガーを装飾するとともに、サイドのデイジーチェーンが利便性を高めるアイデアアイテム。鋭利な先端をポケットに収めればそのまま持ち運びが可能。ポールスネークスキン¥8800／ハーフトラック×ネイタル

カップの底にサークルロゴのエンボス加工を施した、クラシカルなステンレス製の深型シェラカップ。落ち着いたマットな雰囲気のラッターブラックを採用。容量280mL。シェラカップディープボトム カラード¥3080

日本の伝統的な染色技法のひとつ、注染染めで1枚ずつ染めたナイロン100%のドビー織り生地を使用。セミロング丈でマウンテンパーカ感覚で着用でき、見頃のポケットはクッション材入り。ヘリテージジャケット¥49500

人気のスウェットパンツに着まわしやすい濃いめのグレーの新色が登場。毛足の長いシープ裏毛加工を施し、腰回りはゆったり、裾周りはすっきりと細めに仕上げたテーパードシルエット。C.C.スウェットパンツ¥18700

アメリカで古き良き時代に活躍したセーフティゴーグルから着想を得た、福井県鯖江製のビンテージ風サングラス。絶妙なフィット感のケーブルテンプルを採用し、立体に浮き出たロゴがアクセントに。バロウズ¥38500

GO OUT Choice

GOC13

Brand

NATAL DESIGN

Photo／Momoko Otaki Model／Nico（NICO & MOUNTAINEER APARTMENT）

日本の伝統技術を取り入れた、ネイタル至高の傑作アイテム。

少しずつ春を感じる気候へと移り変わりはじめ、装いも一気にスプリングモードになりそうです。「ネイタルデザイン」からはこれからやってくる春本番に向けてファッション性と機能性を兼ね備えたアイテムがいち早く到着。日本の伝統的な染色技法で丁寧に染め上げた生地を使用したジャケットや世界に誇る福井県鯖江のメイドインジャパンのサングラスに加え、スウェットパンツとシェラカップにも新色が登場。また、3月15日からはネイタルデザインがGO OUT Onlineを完全ジャックし、注目の新作コラボを含め豪華ラインナップでお届け予定なので、そちらも要チェックです!!（問）ネイタルデザイン tel：03-5300-8164 www.natal.jp

GO OUT Choice

GOC14

Item

Liberaiders CANVAS HUNTING JACKET

Photo／Shouta Kikuchi

レトロアウトドアを彷彿させる、ミリタリーMIXのタフなJKT。

オリジナルストリートのマインドとアウトドアを融合した独自のスタイルを日本から発信する「リベレイダース」。ミリタリー、トラベル、ロックンロール、フォトグラフィと多岐にわたるテーマで、アジアのみならず世界に照準を合わせた同ブランドから、レトロクラシックな雰囲気をもつハンティングジャケットがリリース。フロントには両サイドのハンドウォーマーに加え、バイカラーの配色が際立つ胸ポケットやDカンなど、アウトドアシーンで役立つディテールが満載。フィールドはもちろん、街シーンにも馴染む"アウトドア×ストリート"を体現した1着である。（問）ニュートロン　tel：03-5785-4672　www.liberaiders.jp

カラバリは2色展開となり、左のベージュに加え、オリーブをラインナップ。ポケットに配したアクセントカラーが目を引く。

生地には撥水性に優れた厚織りのパラフィンキャンバスを、襟にはコーデュロイを使用。アウトドアシーンでも活躍してくれるタフな作りは、長年着用することで経年変化も楽しめる。左サイドには平和を願う折り鶴ロゴの三角タグを配置。￥38500

（左）胸ポケット下のメタル製Dカンはオリジナルのこだわりっぷり。ポケットはマチつき。(中)袖の内側はコーデュロイ仕様で、耐久性をアップしつつ肌触りも◎。（右）裾の両サイドにはドローコードを装備し、裏地には綿100%のヘリンボーンツイルを採用。

SAN-EI
CORPORATION

GO OUT Choice

GOC16

Item

Nordisk
Reisa EXP JAPAN LIMITED

日本限定グレーの別注レイサは、ミニマル仕様の四季対応モデル。

スカンジナビアデザインの伝統に根ざしたシンプルで機能的かつハイセンスなデザインが魅力の100年以上の歴史がある北欧発アウトドアブランド「ノルディスク」。同ブランドの傑作テント"レイサ6"をベースに、よりファミリーキャンプで使いやすいように仕様変更がされた別注モデルがリリース。スカート、フルメッシュ、サイドフラップなど、日本での使用環境に合わせて細かいディテールも見直されているリミテッドモデルは、3月中旬に全国のディーラーにて数量限定で発売予定。この希少性の高いレイサは見逃せない!!

(問) ブルースカイング　tel：03-3527-9953　ノルディスク公式ディーラー　https://nordisk.co.jp/shop

日本の四季にマッチするグレーカラーを採用し、素材はポリエステル100%、耐水圧は3000mm。左右のパネルはフルオープンにでき、インナーテントを外せばシェルターとしても使用可能。オーバースペックなディテールは省きつつ、オールシーズン対応モデルへと昇華した。¥181500

1

2

3

1.入口とサイドの3面にはスカート付きのメッシュパネルが装備され、虫の侵入を抑える。**2.**前後は跳ね上げ可能で、前方のみサイドフラップ付き。**3.**インナーテントは4人用のみが付属し、小物収納ポケットはそのままに、中のセンター仕切りをなくしダブルマットを敷くなどアレンジが可能に。2人用インナーテントを取り付けられるパーツは完備する。

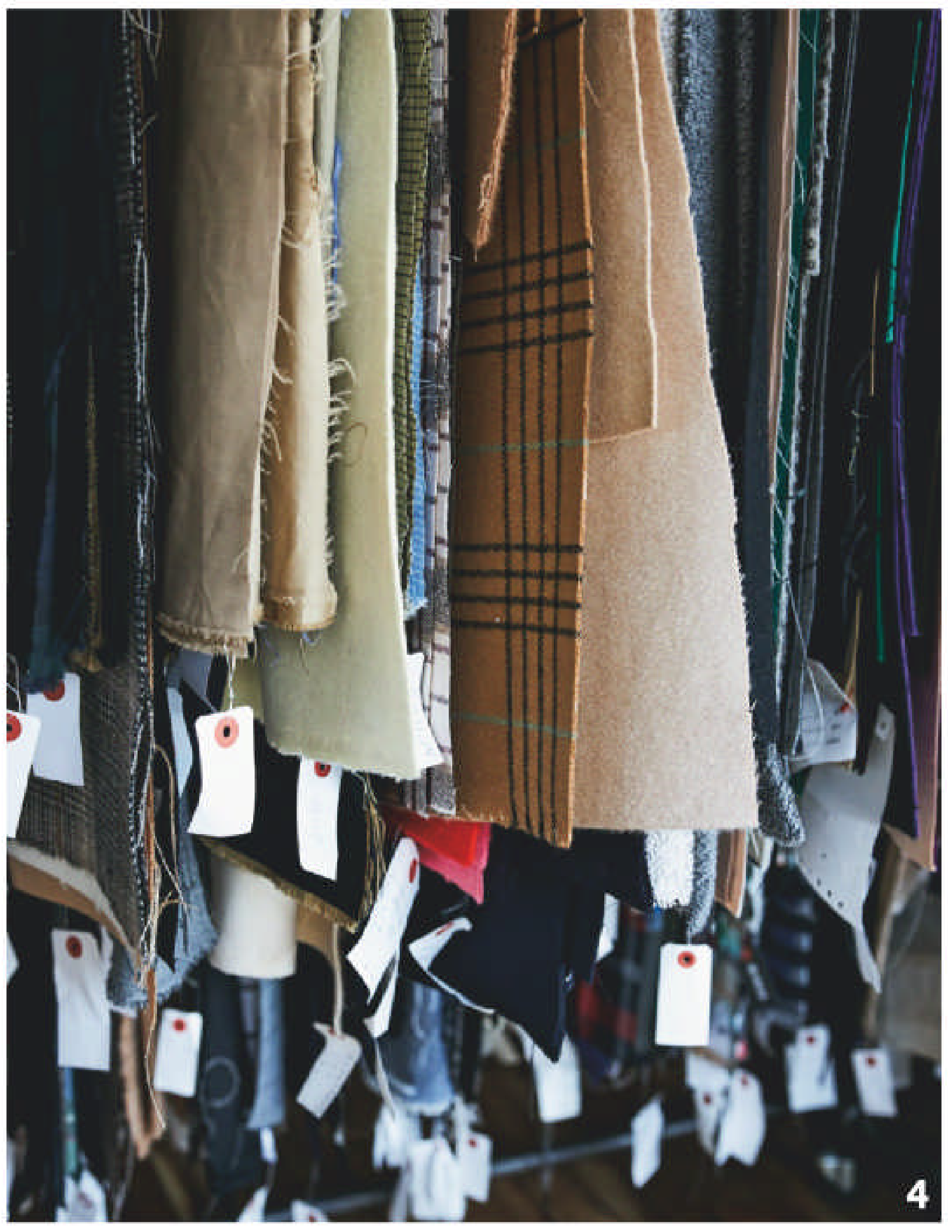
ポールやペグ、ガイロープは落ち着いた色合いのブラウンに変更され、テントとも馴染むアースカラーに。キャノピーポールは2本（1セット）付属。自在など小さな金具にもロゴが入り高級感が漂う。

BRAND PICK UP

KAPTAIN SUNSHINE

絶妙にヌケ感のあるトラッドなデザインと上質さで、ファッション感度に長けた大人たちの心を掴むキャプテンサンシャイン。人気の理由は、他では真似できない０ベースからの製品作りにあった。

Photo／Shouta Kikuchi　Report & Text／Naoto Matsumura



1.生地問屋の親会社クリップクロップ内に設けられた事務所には、児島さんの膨大な資料が揃う。**2.**大量のヴィンテージアーカイブが並ぶラックから抜き取った1枚は1920年代のアクアスキュータムのジャケット。生地の風合いもさることながら、シルエットも驚くほどいい。**3.**デスクまわりのいたるところに生地の山。価格を抑えるために生地を妥協するブランドは多いけど、そこを払拭できるのがキャプテンサンシャインのストロングポイントだ。**4.**過去に用いたファブリックもきっちり保管。つねに生地先考で、デザインとのコンビネーションは他を圧倒する。**5.**ゴールドウインと意気投合して生まれた山陸対応ウエアなど、キャプテンサンシャインだからこそ生まれたアイテムは数知れず。

コラボや別注を誰もが懇願するデザイン力と、もうひとつの強み。

今年で8年目を迎えるキャプテンサンシャインの名はすでに全国区といえよう。デザイナー児島晋輔さんは長野の白馬で育った本格派スキーヤーで、鎌倉在住のサーファーでもあるアウトドアマン。それでいて青山の会社に席を置き、ファッション業界の猛者たちがものづくりの助けを乞う腕利きのディレクターだ。バブアーなど老舗のインポートブランドとのコラボや、大手セレクトショップとの別注、スキーをブランドのオリジンとするゴールドウインとのプロダクトなどがその人気を証明している。果たして他のブランドと何がそこまで異なるのか。

多くの人はブランドの真骨頂を、児島さんが持つヴィンテージアーカイブを基にアウトプットされる、トラディショナルかつ新鮮なデザインと思っているはず。これまでにもシエラデザインズの幻のミナレットパーカーや、知られざるバラクーダG8など、ニッチなアイテムが持つシルエットやディテールを絶妙なカタチで蘇らせてきただけに、おおかた正解だ。

「じつはブランドの強みは会社の背景が生地屋であることなんです。大抵のメーカーは業者のストック生地を使って製品を作るから、選択肢があまりない。でも、ウチの製品はすべてがオリジナルファブリック。ひとつのアイテムのためだけに、それ用の生地を作っているんです」。

どれだけデザインにこだわっても、素材の表情にまで個性が出せるブランドは少ない。キャプテンサンシャインが秀でる最大の要因は生地にあるというのだ。

「生地屋がベースにあるウチでさえ業者から、そんな生地作れないって言われることは日常茶飯事。1920年代の製品を持っていっては、特徴をつまんで近い生地を表現してもらったり、ときにはアンティークの織機で作ってもらったりするときもあります。別注カラーって聞くと安易に聞こえるけど、ウチは必ず生地作りから話していくから、時間も手間もかなりかかってしまうんですよ」

ヴィンテージアーカイブや自身のアウトドアライフから生まれたデザインに、オリジナルファブリックを用いることで、普遍的でありながら世にない逸品を生む。目を養い改めて製品に触れたとき、そのものが時を経ても良い物として世に残っていることがすぐに想像できた。各社もそんな製品を作りたい思いでキャプテンサンシャインを頼っているのだろう。

BRAND PICK UP | **KAPTAIN SUNSHINE**

新作カラー別注とコラボ作をいち早く紹介。

2021SSに発売のゴールドウインとの新プロダクトに、ビームス、シップス、ビショップなど名うてのセレクトショップらによる今シーズンのカラー別注アイテム。さらには2021AW発売予定のバブアーとのコラボジャケットまで、こだわりの詰まった共作を各店からいくつかピックアップしました。

Barbour × Kaptain Sunshine

2021AW。デザインから完全別注したメディア初披露のバブアーとのコラボ新作！ ショートレングス・フィールドウェアをベースに、フーディーで提案。表生地にはライトウエイト・オイルドクロスを使用し、無地はフリースを採用したアウトドアライクな1着。（キャプテンサンシャイン）

Goldwin × Kaptain Sunshine

2021SS。雪山をルーツに持つ老舗と、キャプテンサンシャインによる人気コラボの最新作！生地には耐水、透湿、防風、超軽量のGORE-TEX PACLITE®素材を採用。つねにドライな状態を保つ優れもので、梅雨時期にも重宝する。￥73700（キャプテンサンシャイン）

BEAMS PLUS × Kaptain Sunshine

2021SS。夏にも重宝するインラインのフレンチアーミーM-47フィールドパンツを別注。ドライ感がありながらも滑らかなコットンリネンシルクからなるヘリンボーンツイルはもとより、丈感や太さなどもより今っぽく仕様変更した逸品。￥41800（ビームス プラス 原宿）

Bshop × Kaptain Sunshine

2021SS。旧イギリス軍のグルカパンツをデザインベースに、現代的解釈でアップデートしたトラウザーズの別注カラー。洗いこむと風合いがでるヘリンボーンツイルは、タテ糸にコットン、ヨコ糸にリネンとシルクを合わせた上質な素材を使用している。￥35200（ビショップ）

SHIPS × Kaptain Sunshine

2021SS。定番リラックスシルエットシャツをレギュラーカラーで別注。ライトブルーにインディゴ染めしたオーガニック超長綿の高密度シャンブレーと、やや太番手コットンを旧式のシャトル織機にてゆっくりと織り上げたダークグレーの2色展開。￥29700（シップス 渋谷店）

BRAND PICK UP | KAPTAIN SUNSHINE

生地の追求ぶりに脱帽するラインナップ。

別注やコラボはあくまでキャプテンサンシャインの一部にすぎない。真髄を垣間見るなら何よりインラインのコレクションにフォーカスすべきだ。高級糸からブレンド綿まで、生地問屋の実力を遺憾なく発揮！

（問）キャプテンサンシャイン　tel：03-6277-2193　http://kaptainsunshine.jp

高密度に織り上げた上質な光沢とハリコシ、シルク原料も用いたことで生まれる柔らかさなど、非常に表情が豊かなウォーカーコート。裾に向かってフレアしたシルエットも絶妙。￥99000

強撚糸のアメリカ至高のコットンとリネンシルク混紡の涼しい素材。フランスのシェフジャケットをモチーフにした、カーディガンのように羽織れるボックス型のダブルブレスト。￥58300

涼感あるカバーオールは、エジプトの高級綿を3本撚りしたシャリ感ある縦糸と、ヨーロピアンリネンのヨコ糸を使って製作。どこよりもスタイリッシュなサマーツイル素材に。￥47300

肌に貼りつかず1枚で着られるサファリ調のシャツはシルクとコットンリネンの混紡による、上質な光沢感とスラブ感を併せ持つ夏素材。洗いこめば表情の変化も楽しめる逸品。￥33000

和紙100％で吊り編みにて製作したという即乾、吸収、消臭効果のある天竺素材。リネンや綿の強撚糸に似た肌離れのよい生地だから暑い時期にも重宝し、洗濯機も通常洗いでOK。￥27500

マチ付きの深いラウンドした裾と、フロントの6ボタンなどの感覚までこだわり抜いたクラシカルなシャツ。シルク×コットンリネンによる、涼しく着られる夏のブランド定番素材。￥33000

サイドシームレスのボリューム感からテーパードさせたファッショナブルなシアサッカー地のミリタリー・オーバーオール。エジプト超長綿と細番手のシルクをハイカウントに交織。￥49500

1枚仕立ての大振りなサイズ感が特徴のフィッシュテールコート。3シーズンに対応するコットンポリエステルウェザーで撥水加工も施しているからシーンを問わずに使いたい。￥104500

細番手の先染めしたエジプト超長綿を限界まで打ち込んだ、超高密度オックスフォードのショートブルゾン。両袖ジップポケットや着脱フードなどのデザイン、撥水効果なども秀逸。￥66000

メリノ品種を使用したハイゲージ・ウール天竺のTシャツ。高い消臭機能を誇り、夏は涼しく冬は暖かい。ネックはシームレスで着心地もよく、防縮加工により洗いの心配もなし。￥15400

海島綿とインド・スジャータとの交配による超長綿と、アメリカの超長綿をブレンドした渾身の丸胴天竺Tシャツ。ネック部分もシームレスで、ぱっと見ではわからないこだわりが満載。￥9350

フランスの高級パンツブランド、ベルナールザンスとのコラボ2イン・プリーツが特徴のフレンチ・ミリタリートラウザーズの製作を依頼。洗いをかけ、上品さにこなれ感も加味。￥42900

カーゴポケットが特徴の、ゆったりした腰回りから程よくテーパードしたM43イージートラウザーズ。太番手のナチュラルな原料を緩めに織り素朴で味わい深いサマーツイードに。￥40700

フロントベルテッド、両サイドのアジャストバックルを調整して穿くUKミリタリーパンツをモディファイドしたグルカトラウザーズ。洗いこむとアジが増すヘリンボーンツイル。￥35200

アソビと、シゴト。

趣味人たちの、「アソビ」と「シゴト」のライフスタイル拝見。

いろいろと世の中の状況が変化しても、みなさんの趣味の外遊びと、生計を立てる手段としての仕事の役割は変わりなく続いていることかと思います。そんな今だからこそ、ジブンならではのバランス感覚で「アソビ」と「シゴト」のスタイルをキープしている5人のリアルを、ほんの少しだけ拝見させていただきました。

Jackie Boy Slim

ジャッキー・ボーイ・スリム

JINDAIJI MOUNTAIN WORKS クラフトマン／49歳

高尾山の麓にあるアトリエを、ハンドクラフトと外遊びの拠点に。

Photo／Fumihiko Ikemoto　Report & Text／Masatsugu Kuwabara

PROFILE／日本のULカルチャー黎明期から活躍し、自身の経験にもとづいた機能美ギアを展開。愛犬のミンガスとともに高尾山のフィールドで外遊びを楽しんでいる。コラムニストとしての顔も持ち、本誌でも『POOR BOYS TIMES』を連載中。

1.アトリエの裏山で、JMWのPBタープとPBハンモックでチルアウト。ここで新作アイテムのテストをすることもあるとか。2.アトリエの壁一面には、様々な種類のコードやテープが並ぶ。生地や素材にこだわり、海外で買い付けている。3.愛犬のミンガスと散歩中。着用しているのは、今春にリリースするカンガループルオーバー。現在は最終サンプルのテスト中で、色と生地の厚さをカスタムオーダーできる仕様にする予定。4.アトリエのソファーに座って、ガットギターを弾くのも日常。学生時代からブルースやボサノバが好きで、それがジャッキー・ボーイ・スリムの名前の由来にもなっている。5.愛用ミシンは、ジューキの最後の日本製モデル、DDL 5571N。さりげなくワッペンでカスタム。

ジャンルは違えど陶芸家のスタンスに近いかも（笑）。

ガレージブランドのＪＭＷ（ジンダイジマウンテンワークス）のクラフトマンとして活躍する、ジャッキーさん。ブランド名にもなっている深大寺がある調布市より高尾山の麓に住居を移し、山が身近にある暮らしを満喫している。

「朝と夕方にそれぞれ1時間ずつ、犬の散歩を兼ねて山歩きをするのが日課。気が向いたらそのまま、奥高尾や南高尾まで足を伸ばすこともあります」。

当然、そんなときは自身が作ったアイテムを愛用し、テストを繰り返すことで機能性を高めたり、新しいギミックのアイデアを生み出したりしている。

「遊び道具を作ることが仕事だから、必然的に仕事に遊びが絡んでくるんですよね。そういう意味では、シゴトとアソビの境界線は限りなくないのかも。とくに休みの日も決めていないから、週末や連休中も作業をするけど、平日にフラっと釣りに行ったりもしているし」。

そんななか、２０２０年の3月より自宅の近所にアトリエを構えて、シゴトとアソビの拠点として活用している。

「アトリエができてから、さらに公私の境がなくなったね。ここに遊び道具も置いてあるし。仕事と称して自分の秘密基地を作ったようなものですよ（笑）」。

ブランド自体は今年で11年目になるが、生業として本業化したのは今から3年ほど前。最近やっと自分のペースで仕事ができるようになってきたとか。

「当然だけど、ブランド運営なんて簡単にできないですよね。しかも1人だから、自分が手を動かさないとお金も入ってこないわけで。そのあたりは会社員よりシビアかもしれない。それでもずっとキツいって感覚はなかったかな。やっぱり好きなことをやっているからね」。

山を愛し、トレッキングや釣り、自転車などアクティブな趣味を持つジャッキーさん。しかし1番好きなのは〝ものつくり〟。ハンドクラフトと言いきる。

「昔から何かを作るのが大好きだったし、その過程も楽しくてしょうがなかったからさ。子どもの頃は学校から帰ってきたら夢中でプラモデルを作っていたけど、今は朝起きたら好きな山道具を作っているだけ。だから、やっていることは、昔から変わっていないんですよね」。

実際にＪＭＷのアイテムたちは、ジャッキーさんのハンドメイドが中心。

「他のブランドと違うのは、アイテムリリースのタイミング。ハンドメイドだから個数にも限界があるけど、新作も1年に数個しか出していないし、同じモデルを大量生産することもしません。とりあえず、こんなアイテムを5個作ってみたけど、どうですか？ってスタイル。全然ジャンルは違うけど、陶芸家みたいなスタンスに近いのかもしれない（笑）」。

もちろんそれを成立させるための、セルフブランディングにも力を入れている。

「クラフトギアが好きな人に向けて、自分から発信していきたいと思っています。ＳＮＳで作業現場を公開したり、リアルタイムで作業工程を見せたり。完成するまでの様子を、なるべくユーザーと共有していきたいんです。それを続けることで、説得力が増していくというか、ちゃんとしたモノを提案しているって、わかってもらえると思うんですよ」。

ジャッキーさんが、自身のことを〝クラフトマン〟と名乗り続ける理由はここにある。そしてそれはシゴトのスタンスだけでなく、ライフスタイルそのものと言えそうだ。今後、ブランドがどれだけ有名になっても、事業規模を劇的に拡大することは考えていないとか。

「これからも、できたモノを売るというスタンスは変わらないと思う。ブランドを大きくすることが目的でもないし、最終目標じゃないからね。結局、ハンドクラフトが好きだから〝売れるモノ〟より〝作りたいモノ〟が先なんですよ。そういう意味では、もはや、シゴトでもアソビでもないかもしれない（笑）」。

Yasuhiro Watanabe

渡辺康大
会社員／43歳

平日は会社勤務、休日は外遊びを楽しむセパレートライフを謳歌中。

Photo／Fumihiko Ikemoto　Report & Text／Masatsugu Kuwabara

PROFILE／GO OUT CAMPとJAMBOREEに9年連続で参加する名物ボランティアスタッフ。酒とコーヒーとテント泊をこよなく愛し、休日はもっぱらフィールドのアウトドア派。縦走からスノーハイクまで1年を通して山歩きを楽しんでいる。

1.現在はテレワークで在宅勤務をすることも多く、そんなときもタイドアップスタイルが基本。**2.**GO OUT CAMPではボランティアスタッフのアニキ的な存在。GoProを使った集合カットもおなじみの風景。**3.**トレッキングも長年続けている大切な趣味のひとつ。**4.**愛用テントはマウンテンハードウェアのEV3。10張り以上も所有するなかで、もっとも付き合いが長いとか。**5.**山歩きで愛用しているバックパックは、山と道のスリー。ボランティアで出会った友人の影響で愛用しはじめ、あまりの使い勝手のよさに登山スタイルを見直すキッカケになったとか。**6.**MSRは20年近く愛用するお気に入りのブランド。山でもキャンプでも活躍し、欲しいギアを入手するために個人輸入したこともあるほど。

ボクにとってのアウトドアは、リフレッシュすることが目的。

平日は自動車関連の企業で働き、休日に登山やキャンプなどの外遊びを満喫している渡辺さんは、シゴトとアソビを完全にセパレートしたアクティブライフを、もう25年以上も続けている。

「18歳で今の会社に就職したけど、当時からプライベートはアウトドア一色。ほぼ毎週末、どこかのフィールドに遊びに行っています。1週間のライフスタイルの配分をシゴトとアソビに分けると、時間的にはほぼ仕事だけど、キブン的には半分以上が趣味になると思います（笑）」。

そう語るだけに、もっともハマった趣味のトレッキングは、北アルプスを縦走するほど本格的なもの。富士吉田市が地元ということもあり、富士登山のツアーガイドも手伝っている。キャンプも自粛前は年間で20泊以上も楽しんでいた。しかし、そうした趣味を活かせるアウトドア業界への転職は考えたことはないとか。

「仕事と趣味はしっかりと分けて考えたいんですよ。安定した生活があったうえで、趣味を楽しみたいっていうか、あくまでアウトドアは、ボクにとってはリフレッシュなんです。日頃のストレスみたいなものを発散させるためにやっているのに、それを仕事にしちゃったら手放しで楽しめないし、責任感とかを感じて疲れちゃうと思うんですよ。キャンプも登山も、できるだけ自分のペースで長く続けていきたいから、やっぱり今のライフスタイルが理想なんです」。

そんななか「人生が一変するほどの大きな出来事だった」と言うのが、ゴーアウトキャンプとの出会い。渡辺さんは'12年にボランティアスタッフとして参加し、それ以来毎年ボランティアに従事。今では名物スタッフとして知られている。

「元々、お客さんとして参加していたイベントだったけど、ボランティアの募集告知を見たときに、すごく楽しそうに思えたんです。それまでボランティアはやったことがなかったけど、なにか新しいことに挑戦したいと思ってた時期だったので、速攻で応募しました。よくよく考えたら、好きなイベントに無料で参加できて、スタッフだけどお金が発生しないボランティアという立場は、シゴトとアソビを分けて考えたいボクにとって、最高のポジションだったんです」。

渡辺さんにとってボランティアの活動以上に衝撃を受けたのは、そこで出会ったイベント関係者や仲間たち。大好きな外遊びの世界がさらに広がったとか。

「やっぱり普通にサラリーマンをしていただけでは、出会えない人たちとつながれたことは大きかったです。アウトドア業界はもちろん、イベンターやミュージシャン、ヨガ講師まで、いろんな人たちとお酒が飲めるのは、かなり刺激になりましたよ。一気に視野が広くなったというか、初めて海外旅行に行ったときと同じくらいのインパクトでした」。

ボランティアを通じて仲良くなった仲間たちとは、プライベートでも交流が続き、その輪はどんどん広がっている。

「みんなどこか共通点があったりして、すぐに仲良くなりました。それこそボクみたいに平日は普通の仕事をして、週末におもいきりアウトドアを楽しんでいる人も多いし、そんなライフスタイルのなかで、なにかおもしろいことがしたいと思っている人は沢山いるんだなってわかっただけでも嬉しかったですね」。

もちろん今後も会社員を続けながら、プライベートの趣味として外遊びをもっと極め、ボランティアやツアーガイドも積極的に続けていく予定だ。

「アウトドアの趣味で得た経験は、仕事では味わえない充実感があるし、自分の人生にとってプラスになっていることばかり。だからといって仕事を疎かにするつもりはないし、そこにもやり甲斐を感じています。人生楽しんだもん勝ちだと思っているけど、ボクにとってはシゴトもアソビも全力でやってこそ。どちらかが欠けてもダメなんですよ」。

PROFILE／キャンプ、ロッジ、キャビンの3タイプの宿泊施設と、カフェやウエアショップ、温泉などを併設する「タイニーガーデン蓼科」の店長。施設の運営全般に携わりながらも、休日は登山やトレラン、ファミキャンを満喫中。

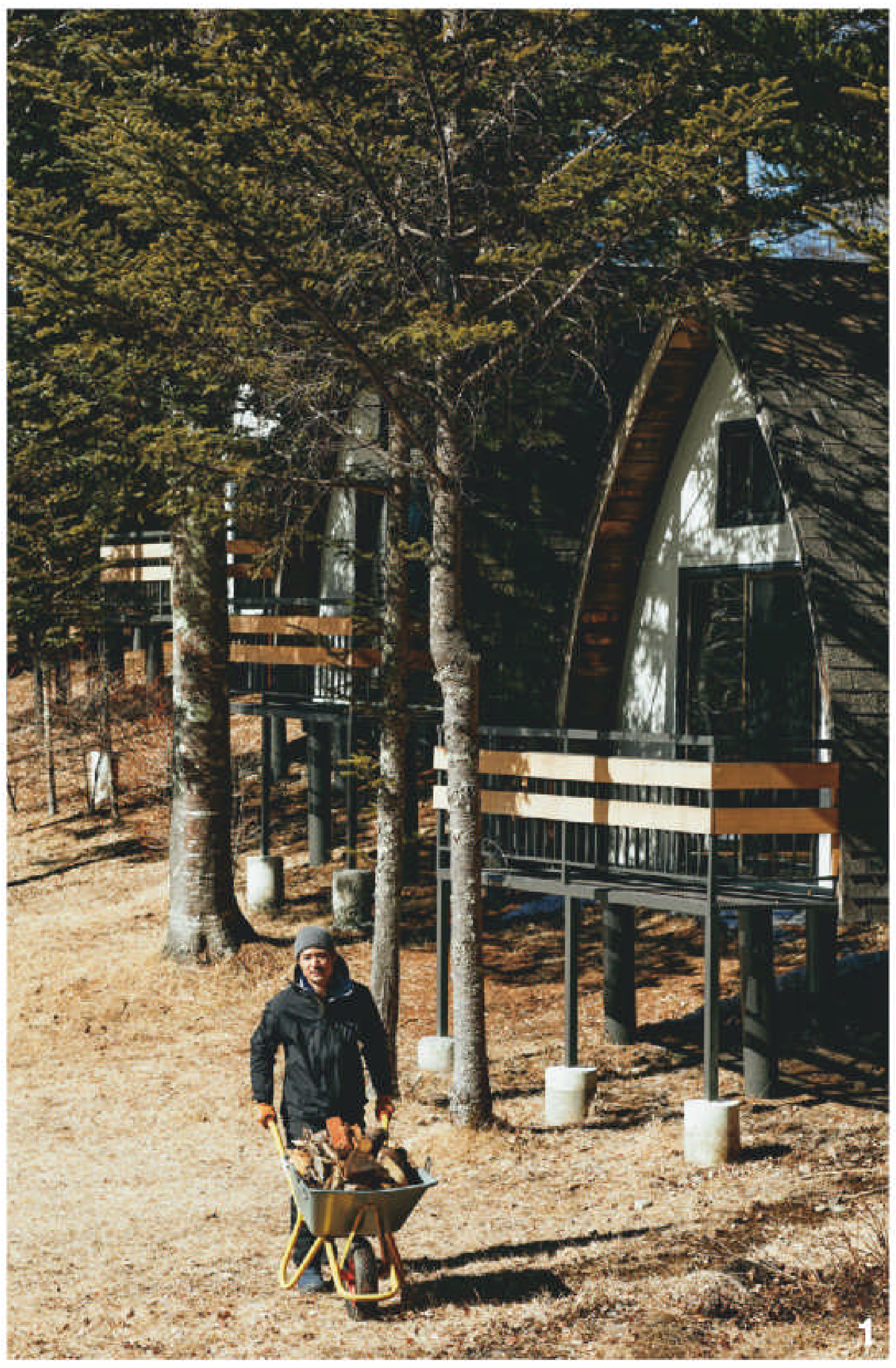
Ryosuke Awano

粟野龍亮

TINY GARDEN 蓼科 店長／32歳

東京から移住し、キャンプ場の運営とローカルの暮らしを満喫。

Photo／Fumihiko Ikemoto　Report & Text／Masatsugu Kuwabara



1.キャンプ場での仕事は多岐に渡り、自ら一輪車で薪を運ぶことも。2.タイニーガーデン蓼科のフロントはまるでホテルのような雰囲気。和室と洋室の部屋が用意され、温泉も完備されている。3.設備内にあるエカルショップは、アーバンリサーチのオリジナルブランド、エカルの旗艦店。フィールドを堪能するためのウエアやギアも厳選されている。4.現在はまだ雪が残っているフリーサイト。春夏は美しい芝生に覆われる。5.休日はアウトドアパパとして奮闘。家族で雪遊びをすることも。6.現在、リノベ中の自宅。D.I.Y.が趣味のため、大工さんと一緒に自らリノベ作業を行なっている。7.リビングには薪ストーブも設置予定。8.お気に入りの山道具たち。雪山も歩くためアイゼンも愛用する。

シゴトとアソビを通して、都市と地方のハブ的存在に。

日本を代表する避暑地のひとつ、信州蓼科。八ヶ岳の雄大な姿を望むこの地に、アーバンリサーチがキャンプ場を含む宿泊施設、タイニーガーデン蓼科をオープンしたのは2019年夏。その運営を担う粟野さんが、家族で蓼科に移住してきたのは、今から4年ほど前になる。

東京で育ち、アーバンリサーチのスタッフとして働くなか、自然に囲まれた地方での暮らしに興味を持ち退社。観光や地方創生の事業に携わったのち、定住の地として選んだのが蓼科。その後、偶然にも同地でタイニーガーデンの計画が持ち上がり、再びアーバンリサーチから声をかけられ、現地スタッフとして復職したという異色の経歴の持ち主だ。

「ここでの生活は、シゴトとアソビのどちらも含めて〝暮らし〟として捉えています。仕事でお付き合いのあるお店は、日常生活でもお世話になっているところばかり。プライベートで買い物に行ったときに、新しい企画の話で盛り上がることもあります。逆に、東京から同僚や友達が遊びに来てくれたときに、地元の人たちと一緒に遊びながら仕事の話をしたり。そういうのが自然とできる場所だから、今はあまりシゴトとアソビを区切る必要もないのかなと考えています」。

実際にそうしたライフスタイルのなかで生まれたモノも多く、そのひとつがキャンパーから人気が高いクラフトビール。

「近所のビールの醸造所と一緒にワークショップをやらせていただいたことがありまして。それをキッカケに、地元のビール愛好家が30人ほど集まって、このキャンプ場に合うビールを作ることになったんです。個人的にもビールが大好きだから進んだ話だけど、みんなで試行錯誤するのがホントに楽しくて」。

シゴトとアソビの境界線を設けない粟野さんのスタンスは、実はアーバンリサーチが標榜するタイニーガーデンの在り方にも通じる部分があると言う。

「ここのコンセプトに〝日常と非日常が緩やかに行き交う場所〟というのがあるんですよ。都市部から遊びに来られた人には、自然が身近にある癒しの空間。地元の人には、カフェなどで少しアーバンな雰囲気を楽しんでいただきたい。メインのロッジは湖畔にありますが、湖からの心地よい風が、誰でも利用できるカフェから宿泊者用のラウンジを通って、キャンプ場へ抜けていく設計になっています。施設全体を通して、ヒト・モノ・コトが風通しよく循環することを意識していて、地元の人と遊びに来た人が緩やかに交われる場所になっているんですよ」。

昨年末には念願だったマイホームを入手。蓼科らしい暮らしを満喫するために、そして今後の移住者のモデルケースになれるようにと、別荘の物件をリノベーションすることを選んだ。

「蓼科はボク的には自然との距離がちょうどいいんですよ。山遊びやキャンプが大好きだけど、ここではそれも日常の延長にあります。最近は移住者も増えているらしいですが、自然が好きな人が多そうなので、新しい出会いも楽しみです」。

タイニーガーデン蓼科の運営に携わる傍ら、自ら率先して地域に溶け込み、蓼科の生活を楽しんでいる粟野さん。今では様々な繋がりもでき、シゴトとアソビのバランスもちょうどよくなったとか。

「キャンプ場も2年目だし、ボク自身もまだ5年目。やっと落ち着いて暮らせるようになってきました。今後も地域の繋がりを内外に増やしていきたいですね」。

そんな中で、目標として掲げているのが、シゴトとアソビを通して都市と地方のハブ的な存在になること。

「自然の素晴らしさや厳しさも含めて、蓼科の魅力を多くの人に知ってもらいたい。そのためにも、ここを拠点にしながら、暮らして、遊んで、学んで、そのなかで感じたことを、いろんなカタチでアウトプットしていくつもり。それをライフワークにできたら最高ですね」。

Shuzo Takashiro

髙城修造

FREEMANS SPROTING CLUB NEW oMan YOKOHAMA 店長／28歳

カリフォルニアのバーバーの様に、湘南でのサーフィンがシゴトの糧。

Photo／Atsuo Itakura　Report & Text／Naoto Matsumura

PROFILE／群馬県桐生市の美容家庭に育ち、ロンドンで修行を積む。帰国後にニューヨーク発のバーバー、フリーマンズ スポーティング クラブに入社し、現在は横浜店で店長を務める。店舗のオリジナルグッズ製作にも関わっている気鋭の存在。

1.花梨さんと9ヶ月になる娘の苑絵ちゃんとともに。イギリス人クライマーの父を持つ花梨さんだけに、アソビに夢中なオトコの扱いは手慣れたものだ。2.朝イチにサーフィンをこなすくらいは難なくできる恵まれた環境。3.サーフィンは職場の同僚に連れて行ってもらうことが多かったが、昨年家を越した際にクルマも入手。実家で父が薪を運ぶために使っていたホワイトバンをねだって譲ってもらったそう。4.横浜駅直結の職場。店内でいろいろなポップアップを開催していて、高城さんも企画に参加している。5.アソビもシゴトも道具にはこだわる。シザーズ内山や光シザーなど、ハサミはジャパンメイドのものを使う。6.サーフボードはデヴィット・ヌヒワのヴィンテージロングボードを愛用。

欧米で体感した趣味人な、理容師たちのスタイルを踏襲。

昨年の6月に開館したニュウマン横浜内にできたバーバー、フリーマンズ スポーティング クラブで店長を務める高城修造さんは、海からほど近い藤沢市の北側で妻と娘、小型犬とともに暮らす。

「仕事場の横浜までは電車で一本。海が近いから出勤前サーフィンもできます。朝から遊んで疲れるんじゃないかと思うかもだけど、むしろその逆。その日最初のお客さんのヘアスタイリングから即絶好調で仕事に取り掛かれるんですよ」。

高城さんは父が理容師で、母は美容師という家庭に生まれただけに、18歳の時に東京の美容院に勤めながらいち早く免許を取得。20代前半にはロンドンに渡り修行を積んだキャリアの持ち主でもある。

「髪を切る仕事を始めた頃は美容中心だったんですけど、イギリスに行ってバーバーってイケてるんじゃない!?って思うようになったんです。自分は男性と喋ってるほうが楽しいし、可愛くするよりカッコよくできるほうがいい。何よりバーバーって趣味人が多いんですよ。日本ではストイックな職人のイメージですが、海外だとブティック兼バーバーや、ロースター兼バーバーなんて店はザラ。カリフォルニアなどのビーチタウンにあるバーバーだと、サーファーやバイカーであることも当たり前。ニューヨーク発のフリーマンズ スポーティング クラブの〝スポーティング〟も、いわゆるスポーツではなく、サーフィンやバイクなどにおけるアクティビティを意味しているんです。アソビ好きが集まる場所ってこと。ちなみにアメリカ発のバードや、オーストラリア発のアッパーカットといったウチで扱っているポマードも、そんな趣味人たちが立ち上げたものだったりします」。

高城さんも例にもれず、職を通して暮らしを豊かにする様々なカルチャーに触れた。中でも特に生活の一部となるほど夢中になったのがサーフィンだったのだ。

「今ではバーバーでサーファーってことが自分でもちょっとした自慢だったりするんです。美容師でサーファーって人はよく聞くけど、理容師では珍しいのかなって。ロングヘアのサーファーでバーバーやってるって言うと、ひと昔前まではいろんな人からクエスチョンマークな顔をされてたけど、カリフォルニアなどにおけるカッコいいバーバーのスタイルが日本にも浸透してきましたからね。とはいえ〝カリフォルニアのバーバーは〟なんて偉そうに言っても、自分も今の生活になる前までは川崎のほうに住んでいたし、出勤も銀座店だったから早朝にサーフィンなんてできたもんじゃありませんでした。サーフィンに行くのは当然休日だけで、かなり都会に根差した生活でしたよ。アソビとシゴトを両立できるようになったのは、子どもも産まれるし、いっそ海の近くに家を買っちゃおうと計画性もなく意気込んだのがきっかけ(笑)。今の場所は遊び場と仕事場のちょうど真ん中に家があるようなイメージなので、生活もガラっとかわりました。双方にとって便利だし、藤沢は子育て支援にも積極的だから言うことなし。家族で鎌倉を散歩したりもできるし、まだ住んで1年だけど結構楽しんでると思います」。

高城さんはサーフィンを通して、バーバーのファンを増やすこともできていると話す。アソビとシゴトがとにかく良いバランスでかみ合っているということだ。

「海でできた仲間が髪を切りに来てくれたりもする。フリーマンズ スポーティング クラブではアパレルも扱っているんですけど、それとは別に自分のディレクションでバンダナやTシャツなどを作らせてもらったりしていて、そんな製品を買ってくれたりもするんです。サーフィンを通じて仲良くなれた会社の上司や同僚もたくさんいますし。バーバーという仕事の醍醐味は、アソビをうまく活かせられることかもしれません。そもそも僕にとってバーバーは、シゴトというよりかはアソビかもしれませんけど(笑)」。

Iori Kato

加藤伊織
PRAMANA SPICE オーナー／32歳

トレイルの旅でスパイスにハマり、自身のカレーショップをオープン。

Photo／Fumihiko Ikemoto　Report & Text／Masatsugu Kuwabara

PROFILE／本業は整体師ながら、スピンコレクティフトーキョーのフリスビークルーとして各地のイベントに参加。その後カレー＆スパイス好きが高じて、カレー屋に転身。現在は東池袋のイケ・サンパーク内にあるキッチンキャビンで出店中。

1.トレッキング時の着こなしは上下ともにフーディニ。リブズのフロントパックも愛用している。手にしているのはインドのスタバと言われているチャイポイントのボトル。これに茶葉とスパイスを入れて飲むのが、最近のお気に入りの登山スタイル。**2.**今まで訪れた国内の山の地図。自粛前にも九州まで行ってきたばかり。**3.**食器やプレートも自ら厳選。インドで買い付けてきたものも多い。**4.**プラマーナスパイスの定番メニュー、ソルティーチキンカレーとマトンキーマカレーの2種盛り。人気のレギュラーカレーをセットで楽しめ、スパイスを使った副菜にもこだわりが詰まっている。**5.**国内外で入手し、厳選された各種スパイスが並ぶ。店内で新しい味や香りの研究をすることも多いとか。

カレーやスパイスを軸に、新しい旅のスタイルも模索中。

「スパイスは大きくわけて、辛・香・色の3種類あるんですよ。それぞれ何を選んで、どう組み合わせるかが腕の見せどころであり、おもしろいところです」。

普段はマイペースながら、スパイスのことになると、ひと際饒舌になる加藤さん。整体師の仕事をしながら独学でスパイスの研究を続け、昨年9月に自身のカレー屋、プラマーナスパイスを、公園内のキッチンキャビンにオープンさせた。

趣味は昔から旅と登山。20代の頃からロングトレイルを楽しみ、国内の名山だけでは飽き足らず、ヨーロッパや南米まで海外遠征することも。スパイスとの出会いも、そんな旅先での出来事だった。

「マチュピチュのトレイルツアーに参加するため、南米のペルーに行ったときです。そのときに同じ宿だったバックパッカーがスパイス料理を振舞ってくれて。正直、味はそこまで美味しくなかったけど（笑）、キッチンから今まで経験したことがないような香りがいっぱい漂ってきて。それがどれも刺激的で、一気にスパイス料理にハマちゃいました」。

その後、帰国してからも現地のスパイス料理の味が忘れられず、気がつけばそのベースとなるスパイスの虜に。

「やっぱりスパイスの魅力をダイレクトに味わえる料理といえばカレー。今度は本場のカレーの味を研究するために、インドやネパールを何度も訪れました。現地でスパイスのことを調べたり、新しい食材に出会うのも楽しかったですね」。

旅好きというフットワークの軽さに加え、興味があることはとことん突き詰める性分が功を成し、スパイスとカレーの知識はどんどん本格的なものに。まわりの友人たちに自作のカレーを振舞っているうちに評判になり、知り合いのバーで夜な夜な限定で提供しはじめたことが、前述のショップオープンへと繋がる。

「まだ自分のお店を構えて半年ほどなので、やっと最近慣れてきた感じです。でも新しいレシピを考えたり、スパイスの作用を調べる時間は、ジブン的には仕事とは思っていません。もちろん経営に関しては勉強することばかりだけど、それは飲食業をするなら当然のこと。研究者ではありませんから。仕事として生産性や利益率を考えなきゃいけないと思っているけど、それでも、どうしても自分の好奇心が勝っちゃうんですよね（笑）」。

現在は整体師のときより忙しい日々のため、旅に出かける時間は減っているというが、それでも空いた時間を利用して山遊びも楽しんでいる。しかし、好きなことを仕事にしたことで、プライベートの登山スタイルも変わってきたとか。

「まず、カレーがもっとも身近になった分、行動食もスパイス料理になりました。登山にマッチするスパイスをいろいろ試してみたりしています。それと、やっぱり登りたい山もインド周辺が多かったり、珍しい胡椒や唐辛子が手に入る産地が気になりますね。とくに山岳エリアの料理は勉強になることばかりです。せっかくなのでトレッキングの趣味を活かして、普通の人はなかなか行かないようなインドの奥地にある山まで足を伸ばしてみるのもいいかなと思っています。今後はスパイス研究家としての視点で、新しい旅を楽しんでみたいですね」。

アソビからシゴトが生まれ、その結果、新しいアソビとの関わり方や楽しみを見つける。そんなアソビとシゴトの関係もあるのだ。

「実は今、鍼灸師の友達と一緒に、白馬の山小屋でワークショップをやる計画を立てているんですよ。それはスパイスと針で、登山客の疲れたカラダを癒すというもの。今までにないスタイルだからおもしろいかなって。もちろん自分が山に行きたいってのもありますけど（笑）。とにかく今はカレーやスパイスを軸に、新しいことを考えるのが楽しいですね」。

外遊びから生まれた加藤さんのスパイスへの情熱は、まだまだ尽きない。

おしゃれアウトドアファッション&ギアの通販サイト。

GO OUT ONLINE

www.goout.jp

ネイタルデザインのジャック企画だけでなく、今月も注目のエクスクルーシヴアイテムをお届け。
アウトドアのエッセンスを落とし込んだテーブルとキャップに加え、ノベルティのエコバッグも要チェック。

Photo／Sosuke Shimizu

厚みのあるラーチ合板を使用することで、天板に負荷がかかっても安定感をキープ。脚の間にできたスペースに荷物などを置けるので便利。

1.重ねて持ち運べるように各パーツを平面状にデザイン。クルマへの積載でもスペースを取らない。2.テーブルの両サイドはシェラカップ等を引っ掛けられる仕様となっている。

コンパクトさと使い勝手の良さを両立させたタフなプライウッドテーブルが再び登場。

GO OUT Online COLLABORATION 01

TIMBER CREW × GO OUT

ミニテーブル ¥11000

卓越した技術で数々のショップや住宅の床・壁・什器などを天然ウッドでデザインする「ティンバークルー」。木材加工のプロ集団として名高い同ブランドとの第2弾コラボが満を持して登場。前回のローテーブルをベースに、シェラカップを引っ掛けるためのカッティングを天板の両サイドに施してアップデート。今回も荒々しい木目が粋なプライウッドが使われ、各パーツを溝にはめ込むだけという独自の設計で楽々と組み立てられる。使用しない際はコンパクトになり、かさ張らずに収納できるのも魅力。キャンプではもちろん、リビングやベランダにも溶け込むサイジングとデザインは使うシーンを選ばない。**先行予約**　発送予定日：4月下旬以降　※写真はサンプルのため、実際の商品とは一部仕様が異なる場合があります。

アタッチメントはスナップボタンで脱着可能。ブリムの裏側も黒一色にすることで、水面や地面からの照り返しを防ぐという工夫が凝らされている。

ウェビングテープが特徴の定番キャップを計算された素材とディテールでサウナー仕様に。

GO OUT Online COLLABORATION 02

KAVU × GO OUT

Sauna Cap ¥7150

1993年の創業以来、シアトルに根ざしたアウトドア・ライフスタイルを提案するブランド「カブー」との初コラボが実現。同ブランドのアイコン的なモデル“ストラップキャップ”を、GO OUT別注で大胆にもサウナー仕様にアレンジ。吸汗性の高いタオル地を使用したボディに、高温から耳をなどを守ってくれる取り外し式のアタッチメントがプラスされた。素材、ディテールともに快適なサウナタイムを過ごすためのアイデアが盛り込まれている。フィンランドから日本のサウナ大使に任命されているテントサウナの老舗「MIZU JAPAN」が監修した本格派の逸品に。もちろん、ブラックを基調としたシンプルなデザインによってアウトドアや街でも活躍すること間違いなし。
※写真はサンプルのため、実際の商品とは一部仕様が異なる場合があります。

1

2

1.アクセントにもなったウェビングテープにより、サイズ調整が簡単になると同時に強風でも脱げにくくなる。**2.**サウナ用に取り付けたアタッチメントは、夏場の日除け対策にも重宝する。

オソンジュン氏のイラストが映えたエコバッグを購入者にプレゼント!!

一度に18,000円（税込）以上をお買い上げの方に、ノベルティとして買い物に便利なGO OUTのオリジナルエコバッグを先着でプレゼント。イラストレーター、オソンジュン氏が書き下ろしたユルいイラストと、着こなしのアクセントになりそうなバッグカラーがマッチしたポップなナイロン製の一品。

Wear for Spring

新しい季節を迎えるのに相応しい
多彩なデザインの春アイテムが到着。

WILDERNESS EXPERIENCE
コロラドマウンテンパーカー
¥17380

同ブランドのバッグを彷彿とさせる、70年代をイメージしたレトロなマルチカラーが魅力的なマウンテンパーカ。後身頃に収納力のあるポケットを備えたうえ、蒸れを軽減する総メッシュ仕様の裏地に。

ROTAR
MONEY TRAP sweat
¥8030

脱獄する囚人と札束をエサに罠に追い込む看守のイラストは、目の前の誘惑に釣られる人間の弱さを表現。首元が伸びにくい10オンスの裏パイル仕様のクルースウェットは3シーズンで活躍。

toy machine
TOYMACHINE CAMO ANORAK PARKA
¥18480

ブランドロゴを忍ばせたオリジナルの迷彩柄が特徴のアノラックパーカ。襟元と裾に風の侵入を防ぐためのドローコードがセットされ、フロントのポケットと両サイドのポケットで二重構造に。

GOHEMP
VENDOR ANKLE CUT PANTS／H/C SERGE CLOTH
¥16280

軽やかで柔らかなヘンプコットンのサージクロスを用いたアンクルパンツ。同ブランドを象徴する大容量のベンダーポケットだけでなく、製品染めによって生まれる表情豊かな風合いも魅力。

CAMP7
PRINT P/O PARKA
¥6600

ペイズリー柄のバンダナをモチーフとしたスクエアロゴをフロントにオン。ボディに用いた肉厚のコットン生地に抗菌防臭加工を施しているため、アウトドアやスポーツのシーンでも着用できる。

DAYBREAK
3layer water repellent cargo pants
¥19800

様々な状況下でも防水性・透湿性・防風性に優れた"高機能素材"シンパテックス"を採用。腰回りがゆったりとしつつもアーバンなシルエットで、両手が空くように収納力抜群のカーゴポケットが装備されている。

BLUEWHITE
Big Tee Bobby
¥4620

棒立ちスタイルが印象的なクマのボビーを胸元に刺繍したTシャツ。ボディは身幅がゆったりとしたワイドなシルエットで、程よいドロップショルダーによってリラックスした着心地を楽しめる。

BEN DAVIS
HOODED JACKET WITH SNAPS
¥14080

硬めのツイル素材の仕様がワークウエアブランドらしい、本国のUSA企画から届いたジャケット。ロゴがプリントされた裏地のフリースで保温性が高められ、フード付きなので防寒性もアップ。

chi-bee
Let's go CAMP! ロンT
¥6380

ガーメントダイを施した古着風のボディに、お馴染みのネルソン・テツオ・ポールと愛犬ドゥルーピーのCAMP FIRESを落とし込んだ一着。愛車に乗ってキャンプへと出掛けるコミカルなイラストに注目。

devadurga
EARTH PULLOVER SHIRT
¥20900

染めの基礎カラーを堪能する同ブランドのアースシリーズからの一枚。ソフトな着心地を味わえるガーゼ素材の定番プルオーバーがベースになり、前立てにさり気なく刺繍されたアマミノクロウサギもポイント。

MANASTASH
MANASTASH × PENDLETON CHILLIWACK JACKET
¥23650

同ブランドの初期ジャケットに、ペンドルトンらしいネイティブアメリカンの伝統的な柄を採用してアップデート。ヘンプとコットンをブレンドしたタフな生地が使われているのも見逃せない。

Naturalbicycle
320 Pigment dye R/V Sweat
¥10780

エゾの英字からヒントを得たナンバリングにより、ブランドの拠点である北海道への愛を表現。プリント後にピグメントダイを施して独特の風合いに仕上げ、リバーシブルでの着用もできるようにプリントネーム付き。

ROOT CO.
grn outdoor TEBURA VEST ROOT CO.
Collaboration Model
¥17600

ジーアールエヌ アウトドアの人気ベストにルートならではのアレンジを加えてコラボが実現。大小20個のポケットを備えたうえ、合計9個のナイロンテープループと背面の左右に各3本のモールも配置。

SAUNA BOY
サウナボーイロゴスウェット
¥5940

某週刊誌のタイトルフォントをオマージュした同ブランドの定番ロゴをフロントにプリント。ソフトで毛羽立ちの少ない8オンスボディが使われ、ややゆったりとしたシルエットもポイント。

MONTURA
AIR ACTIVE HOODY JACKET
¥44000

フードと前身頃、上腕部を耐水圧の高い3レイヤー生地に、サイドとバックを耐久撥水性に優れたストレッチナイロンで切り替え。ハイブリッドな素材使いによってあらゆるアウトドアアクティビティで役立つ。

ALL GOOD
TRAIL HEAD Hoodie
¥9790

冒険に挑んで欲しいとの想いから、旅の始まりとなる“トレイルヘッド”を表現したグラフィックがオールグッドらしい。パープルのボディとパステル調のグラフィックが組み合わさったポップなカラーリングも注目。

LUNKER KILLER
"LKFISH" L/S-Tee
¥5060

ブランドロゴをブラックバスの骨に見立てた、2021年のニューデザインを胸元に落とし込んだロングスリーブTシャツ。身幅がジャストで、着丈が長めのスタンダードなシルエットを採用したボディ。

Vertigo Designs
Cargo Pants
¥13200

コットンとナイロンからなるフェード感が特徴的な素材を使用。左のカーゴポケットにロゴ刺繍がプラスされ、ウエストのウェビングベルトや裾のドローコードといった機能性に優れたディテールをセット。

gym master
60/40クロス シャツジャケット
¥7590

ムラ染めを施したライトオンスの60/40クロスによる、裏地のないラフに羽織れるシャツジャケット。独特のシワ感でカジュアルなルックスになり、左右で配色の異なるマルチカラーも好印象に。

CURRYMASON
エチオピア10oz裏毛 POCKETLESS PARKA
¥6600

神保町にあるカレーの名店を愛する通称“エチリスト”に捧げるパーカ。ボックスロゴのみのシンプルなデザインがポイントで、裏地なしのボディを使っているので3シーズンで着用可能。

BIG MIKE
DENIM PINTACK PANTS
¥9900

テーパードを効かせてスッキリとした印象に仕上がった定番のピンタックパンツにデニムバージョンが追加。ウエストや両サイドのステッチを配色にした絶妙なカラーリングも魅力。

GYPSY & SONS
CORDURA MUSH PIC JK
¥42680

40年代のフィッシングジャケットをモチーフにしつつ、肩肘を張らずにデザイン。コーデュラを用いたタフな素材使いが特徴で、マッシュピッキングを連想させる変則ポケットもアクセント。

Gear & Accessories

コーディネートを彩る小物類に加え キャンプが楽しくなるギアも逸品ばかり。

坩堝
2TONE 坩堝 6 PANEL CAP
¥7700

超極細の糸を用いた高級生地のボディと、やや太めなコーデュロイのバイザーを同系色で組み合わせて2トーンカラーのキャップに。日本人の頭にフィットする浅すぎず深すぎずのフォルムもポイント。

BASS BRIGADE
BRGD LOGO INDIGO TRUCKER HAT
¥5500

風合いのあるデニム素材とBRGDのロゴ刺繍がマッチしたクラシックなデザインが魅力のメッシュキャップ。GO OUT Onlineにて先行発売で、ソールドアウトになると手に入らないレアモデルが到着。

Clef
"Clef × SIERRA DESIGNS" 60/40 RIB WORK CAP
¥6050

後頭部のリブが頭を優しく包み込む仕様が好評の定番ワークキャップに、シエラデザインズの60/40クロスを採用したコラボモデルが登場。快適な被り心地に撥水性と通気性をプラスしたデザインはアウトドアにも最適。

HUNTISM
Bleaching Scarf
¥6600

ブリーチ加工によってマルチカラーのチェック柄を表現した薄手のスカーフ。センターで留められるアクリル製の3連リングは、チェーンやヒモを通せばチャームとしても活用できる。

TOPO DESIGNS
GLOBAL HATE
¥4290

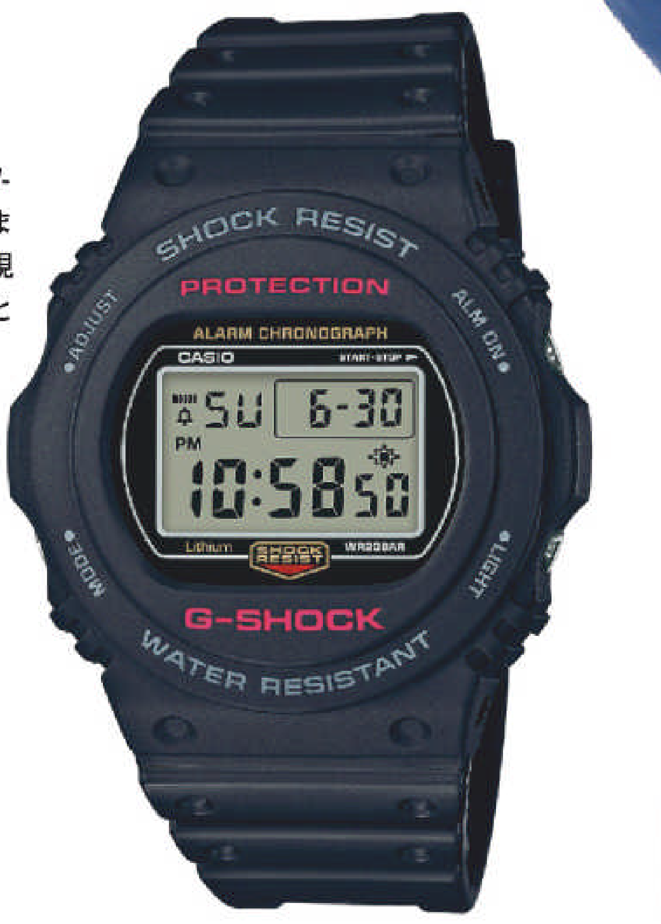
通気性の高い粗いメッシュ生地をベースにして仕上げた人気の5パネルキャップからオリーブの新色が登場。フロントパネルのボックスロゴがアクセントになり、バックル付きのアジャスターでフィット感を調整できる。

BETONES
TOMODAchi
¥2090

チービーのTake氏による、手と手を取り合う友達を表現した描き下ろしのカラフルなイラストが注目の一枚。身体にフィットする3D形状のボディと、縫い目の少ないシームレス構造で快適な着用感を約束。

PORTER
PORTER REEF WAIST BAG(S)
¥10120

撥水加工を施したナイロンタフタを表裏の二枚仕立てで使用し、薄手ながらもボリューム感を持たせたウエストバッグ。軽やかな素材感と濃淡の効いた爽やかな配色でサーフショーツをイメージしたデザインに。

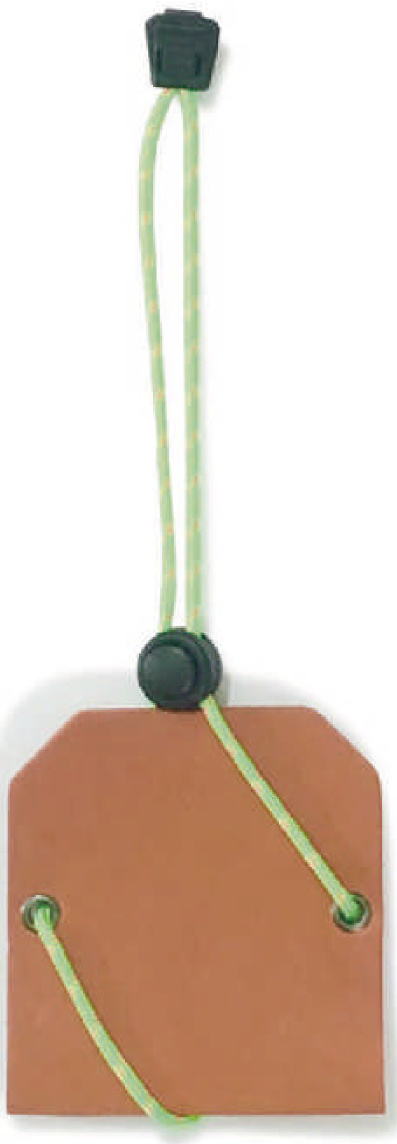


G-SHOCK
[カシオ] 腕時計 ジーショック DW-5750E-1JF メンズ ブラック
¥12100

Gショックの生誕35周年を記念して、過去の名機を現代に蘇らせたDW-5750Eが登場。ロゴの配色にいたるまでオリジナルのデザインを忠実に再現したうえ、ELバックライトをはじめとする実用性を追求した新機能も装備。

BORA
Centipede® 2'x4'センチピード ワークスタンドキット
¥14300

独自のフレーム構造によって安定感があり、さらに素早いセットアップを可能にしたスチール製のスタンド（天板は付属しない）。折り畳んで付属のキャリーバッグに収納できるので持ち運びも容易。



armadillo leather works
Outdoor Card Case
¥3850

使うほどに経年変化を味わえる上質な栃木レザー製のカードケース。ドローコードとザイルロープ風のカラフルなヒモで留める仕様は、アウトドアのエッセンスを取り入れたユニークなデザイン。

grn outdoor
TETRIS SOFT CONTAINER S
¥4400

クルマへの積載に便利なうえ、調味料や細かなギア類を収納するのにも適したコンパクトサイズのソフトコンテナ。ボディに汚れや水に強いPVC素材が採用され、フタ内側にも細かいアイテムが収納可能なメッシュポケット付き。

POST GENERAL
トリパネルソーラーチャージ LEDライト オリーブカーキ
¥4180
3枚のLEDパネルを広げるとソーラー充電が可能なライト。"吊り下げ"・"置き"・"持ち"と様々なライフシーンに馴染み、マグネット式なのでクルマのボディに貼り付けても使える優れモノ。

ROARK
ROARK × MIZU V10 OPEN ROADS
¥7040
アメリカで人気のウォーターボトルブランドとのコラボ。約12時間の保温と約24時間の保冷機能を備えた真空二層構造がポイントで、アクセントにもなるカラフルなカラーのロープハンドルで携帯が楽々。

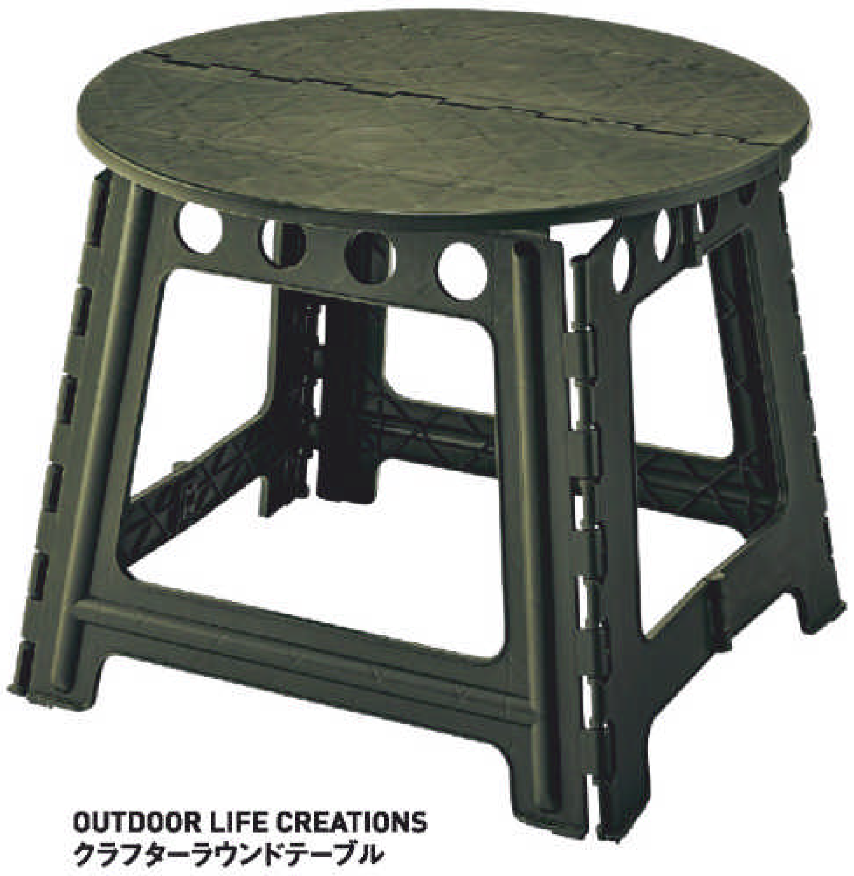
BucketBoss
BucketBoss MOSSY OAK®バケッター30&RealTree®5ガロンバケット
¥8580
付属のリークタイト社の5ガロンバケツに被せて使用する便利アイテム。合計30個ものポケットにキャンプツールなどを小分けで収納でき、内部に大きな工具を入れられるスペースも用意。

SLOWER
PUMP SPRAY STICK Stint(3P)
¥660
アルコール消毒液に対応する容量10mlのスプレースティックの3本セット。バッグのペンホルダーや衣類の胸ポケットに装着できるコンパクトサイズため、どこにでも持ち出せて重宝する。

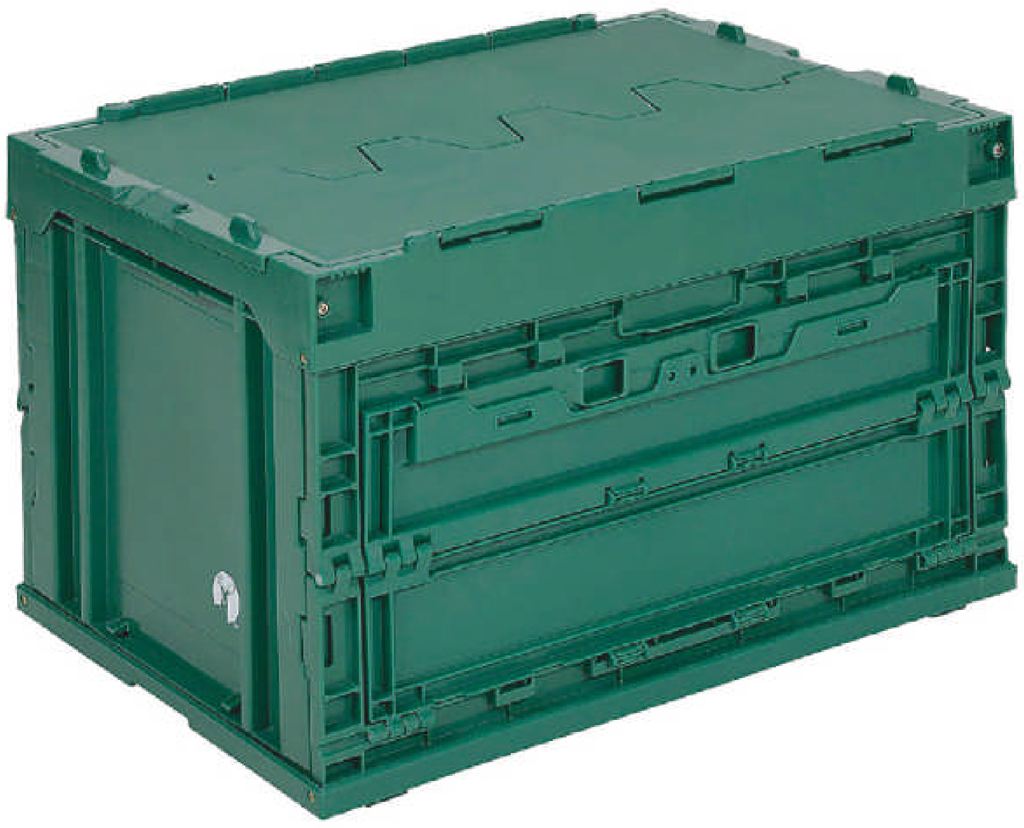
VIRE Outdoor Solution
Mini VIRE Stove
¥15840
内蔵された五徳を活用していつでもどこでも調理でき、平たく折り畳んで持ち運べるロケットストーブのミニマルモデル。コンパクトでありながらも煙突効果が高く、レギュラーサイズと同様に重量が1kg以下なのも魅力。

Bush Craft Inc.
たき火フライパン 2.0
¥5720
ハンドルを現地調達する本格的なブッシュクラフターに人気のフライパン。約1.2mmの薄い鉄板から成型しているので軽さと熱伝導に優れ、調理の幅を広げてくれる専用のフタがセットに。

BUILT
Tidbit スナックボトル
¥1650
ナッツやシリアル等を持ち歩ける携帯用のスナックボトル。耐久性のあるトライタン樹脂のボディと、取り外して洗えるシリコンキャップを採用した普段使いにぴったりの一品。



OUTDOOR LIFE CREATIONS
クラフターラウンドテーブル
¥5170
脚部の丸抜きで軽量化を実現した、コンパクトになるフォールディング仕様の円形ミニテーブル。男心をくすぐられるソリッドなカラーリングが特徴で、ボディの素材に耐久性が高いポリプロピレンを採用。



CAPTAIN STAG
フラップ FDコンテナ50
¥7700
瞬時に組み立てできるうえ、未使用時は折り畳んでコンパクトにもなるコンテナ。側面のサイドドアから荷物をスムーズに取り出せ、同じアイテムを3段まで積み重ねられるのも嬉しい。

Hang Out
Crank Cooking Table
¥16720
アウトドアではクッキングテーブル、インドアではカウンターテーブルとして活躍。立った状態での調理に適した高さ設計が特徴で、2分割された天板のメイン側を取り外せばツーバーナーがセット可能。

ROZA VETROV
Pot Soldier 1.7L
¥8580
ロシアから丈夫で錆びにくいステンレス素材を用いた飯盒が到着。ハンドル付きのフタをひっくり返すとフライパンにもなり、直火対応によって様々なアウトドアシーンで役立つ。

GO OUT 釣り部

第120回 大人の工作、オリジナルルアー作り。

120回を迎えた釣り部史上、初のクラフト。渓流ルアーを作り、3月に解禁を迎える春渓でトラウトを釣ろうというのが目的です。今回はひとり3種のルアーを半日で作りますよ！

Photo／Takuma Utoo　Report & Text／Noriyuki Kurihara
Thanks／Catch&Eat　www.catch-eat.com

もう何十回も一緒に釣りをしているメンバーの意外な素顔が見られた今回の釣り部。器用そうに見えて実は超不器用（！）だったり、絵心が斬新だったり。バルサミノー、米松の削り出しミノー、そしてスプーンの3種を作り、最後に目の前のプールで泳ぎをテスト。市販されているルアーと比べるとクオリティは雲泥の差……だけれど、「でも自分で作ったからこそ愛着が湧くよね〜」と一同。短時間での簡易的な製作でも、意外や意外、本格的ルアーが完成しました〜！

とっても簡単！　ちゃんと使える簡易的なミノーの作り方。

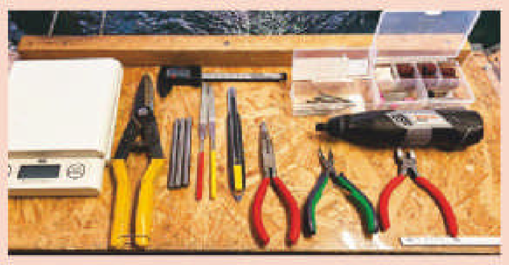
①自分の作りたいルアーの下書きをする。②下書き紙をバルサ材に合わせてカット。③ルーターや彫刻刀を使ってウエイトを入れる穴を作成（今回はガン玉２個）。④ウエイトを配置。⑤フック用の針金を配置する溝を掘る。⑥針金の位置をしっかり調整。⑦ウエイトと針金を配置できたらバルサをセンターで接着、カッターやヤスリで形成。⑧形成終了。⑨瞬間接着剤をボディ全体にコート。⑩硬化促進剤を吹く。⑪ペイントはマーカーを使う。⑫ラッカーにつけてコーディング。⑬乾かして完成！

GOTOH
NATAL DESIGN ディレクター
「いつも見てるルアーだけど、いざ作るとなると、どんな形がいいのか本気で悩むね」と散々苦労した結果はいかに。
ジャケット、シャツ、パンツ、ブーツ／すべてネイタルデザイン

雄三
レアセル プレス
トラウトメインの釣り師。フライが専門のためルアークラフトはもちろん初。「これで来月釣るのが楽しみだ〜！」。
キャップ、パーカ、パンツ／すべてレアセル　シューズ／私物

いがちゃん
チャムス 営業
「工作って響き、昔を思い出すなぁ」。
キャップ／グラインドロッヂ　メガネストラップ、パーカ／ともにチャムス　ジャケット、パンツ／ともに古着　シューズ／エアウォーク

ルアー作りの材料、そして道具たち。



ニッパーやラジオペンチなど数種類、カッター、ヤスリ（紙も含む）、ポンチ（ウェイトの穴あけ用）、金切りバサミ（スプーン製作用）、スケール・ノギス、計量器、ミニルーター（穴あけ用のヘッドとヤスリ用のヘッド含む）など。※そのほかに彫刻刀などもあると便利。

主な材料／バルサ材（ボディ）、ガン玉（ウェイト）、スプリットリング、アイ（目）、サーキットボード（リップ）、フック、瞬間接着剤（簡易コーティング）、瞬間接着剤用硬化促進剤、クリアラッカー（コーティング）、油性ペン（カラーリング）、アルミテープなど。

簡易的だけど使える！ルアー3種をマジで製作。

「渓流解禁前に渓流ルアー作りをやらない？」という釣り部顧問の誘いで、今回大人の工作にチャレンジすることになった3人（リュウヤと大川顧問は先生）。バルサミノー、さらにスプーンを作って、そして米松削り出しミノー、来月の渓流解禁に備えようってわけです。まず最初に作るのはバルサミノー（作り方は上記参照）。本格的に作ってる人に怒られそうな超簡易版だけど、それでも1日しっかり持つ（そして釣れる？）ルアーを目指します。「実は超不器用なんだよねぇ」といういがちゃん。カッター使いもなんだか怪しいな。さらにGOTOHは「ルアーってどんな形だっけ？」と雑誌をチェック。先行き不安だけど、まぁこれもクラフトの醍醐味か(?)。自由に作ればいいんです。一方、雄三は着々と削り出していきます。見た目、若干ブサイクな3つのバルサミノーにペイントを施してルアーひとつめ完成です。ふたつめは顧問指導の米松ルアー。ヒートンを用いたこちらも簡易的ルアーだけど、それなりにウエイトがあってなかなかいい泳ぎ。最後はスプーン。予め細かく切ってある鉄板を金切りハサミで切り出し、ヤスリをかけて形成。曲げて折り目をつけたり色を塗ったり、形は個々の自由！

さて来月、3人は自作ルアーでトラウトが釣れるのか。ご期待くださ〜い。

ルアークラフトの模様はYouTube動画をチェック！

釣り部連載の動画はYouTubeでチェック！ ここで紹介しきれなかったルアー作りの様子もたっぷりお届けします。チャンネル登録もぜひ！

外遊び好きの、インドアスタイル。

GO OUT Livin'

これまで200名以上のインテリアを紹介してきた別冊 GO OUT Livin' を母体とする連載企画。今回はシンプルにして美しいデザインと堅牢性の両立が人気のガレージブランド、ウィンディアンドレイニーを手掛けるキノシタさん宅を紹介します。

Photo／Chie Kushibiki　Text／Kyoko Oya

無機質なインテリアとアウトドアの趣が溶け合う、大きな窓のある家。

再販のたびに即完売を繰り返している、ウィンディアンドレイニーのスターライトタープ。シンプルにして美しいシルエットが人気の理由だが、生みの親であるキノシタさんは自身のことを「木を使わないキャンパー」と称する。とは言え、彼がアウトドア好きなのは言うまでもない。東京での暮らしにピリオドを打ち、故郷である長野へのＵターンを決めたのも「自然に囲まれて暮らしたかったから」だ。では、キャンプに木を使わない理由は何なのか。その答えを教えてくれるのがキノシタさんの新居。とりわけ象徴的なのが、カッシーナのソファが配された土間だ。「家具にしてもギアにしても、無機質な美しさのあるアイテムに惹かれるんです。でも、無機質な美しさとアウトドアの趣が相容れないかといったら、そんなことはないと思っていて」。その言葉どおり、グレーを基調としたシャープなインテリアにまとめられた土間には、野外の景色を切り取るような大きな窓。まさに借景だが、借景はインドアとアウトドアが融合してこそ成立する。そう、キノシタ邸の土間は、無機質さとアウトドアの趣が溶け合う空間なのだ。

Kinoshita

WINDY AND RAINY 代表
キノシタさん

ROOM SPEC

間取り	4LDK+3S+土間
エリア	長野県諏訪郡原村
居住年数	2ヵ月
住宅形態	一戸建て（持ち家）
築年数	2ヵ月

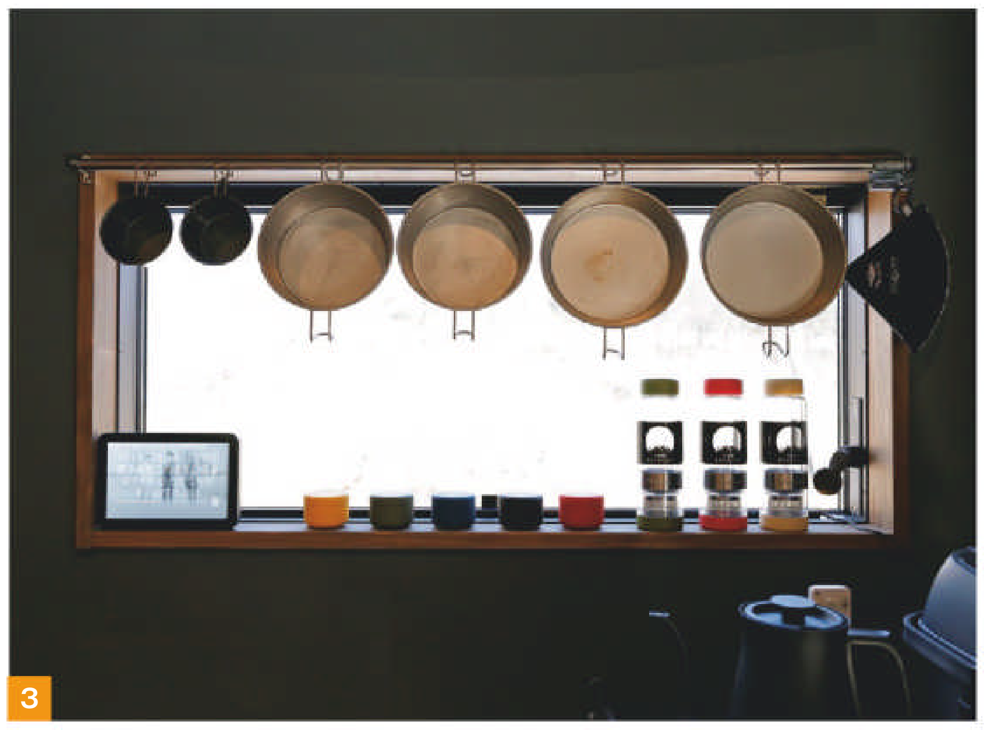
「長野は四季の移ろいが豊か。氷点下15度の寒さになりますが、冬の景色も美しいんです」。その景色を切り取る窓のロールスクリーンを下げると、プロジェクターが投影できる仕様に。ちなみに家の設計を手掛けたのは、長野と隣接する山梨県北杜市の木村工務店だ。

5

2

1

4


3

1. やはり無機質な美しさを漂わせる造作のキャビネット。まるでコンクリートのような質感だが、キャビネットの素材自体はウッド。モールテックスという左官塗材によって仕上げているという。**2.** ワークスペースのデスクはヴィトラ、そこに合わせているのはペンドルトンとフリークスストアのコラボによる折り畳みチェアだ。壁に飾られているのは、本誌読者にもおなじみのジェリー鵜飼氏によるキャンバスアート。**3.** こちらはキッチンのひとコマ。窓枠に沿うようにハンギングされているのは、ウィンディアンドレイニーのシェラカップとアナルコマウンテニアーズのアナルコカップ。**4.** 無機質なインテリアでまとめられた土間。ソファもテーブルもカッシーナだが、ソファの座面はペンドルトンとナイキのコラボによるブランケット生地に張り替えたそう。**5.** キノシタ邸は開放的な吹き抜け構造。2 階に当たる壁にも大きな窓が設えられ、野外の景色を切り取っている。

7

6

6. 土間から一転、LDK にはウッドを多様。それでもモールテックス仕上げのカウンターテーブルやオランダ人デザイナーのトンハースによるネットアームレスチェアは、やはり無機質な佇まい。**7.** 木を使わないキャンパーであるキノシタさんがひと目惚れしたのが、シエルブルーのロールトップテーブル。これを主役にリビングはウッドで統一し、ソファとテレビボードはクラッシュゲートからセレクト。**8.** ギア収納のために設えた部屋のラックはタフさ重視のスチール製。ガチャ柱を用い、棚板の高さは自由自在だ。**9.** 階段下のスペースにラックを造作。レコードや写真集をはじめ、「好きなモノを詰め込みました」というが、ここにもジェリー鵜飼氏のフィギュアが顔を出す。**10.** 扉に飾られているのはコールマンによるシーズンズランタンの 2014 年モデル。その下はマウンテンリサーチのまな板に自身のブランドのロゴを刻印し、表札代わりに。

10

9

8

この家に暮らし始めて約２ヵ月のキノシタさん。「すでにギア収納はパンパンの状態」と苦笑交じりに話してくれたが、どのアイテムも整然と並ぶ様子が絵になる。ちなみに味わい深くエイジングされたトランクはヤフオクから掘り出し、細かなギアを収めているそう。

キノシタ邸はウッドデッキも完備。目線の向こうにそびえる八ヶ岳の景色を眺めながら紫煙をくゆらすというから贅沢だ。そこにレイアウトされたローバーチェアのリプロはロータイプにカスタムし、ドリンクホルダーもプラス。ハンモックはイーノのプロダクトだ。

Information & Present

少しずつ冬から春の陽気へと移り変わっていますが、ファッション業界では2021SSのデリバリーがスタートしはじめました。今月はアウトドアシーンの注目トピックスや施設のオープン情報などをたっぷりお届けします!

Info 02
おしゃれ文具でリモートワークをより快適に、ミリタリーカラーで現代的にアップデート。

背伸びをしない"ちょうどよい"大人のファッションを提案する「ジャーナルスタンダードレリューム」が日本を代表する文具メーカー「コクヨ」とのありそうでなかったコラボアイテムをリリース。リモートワークにより自宅で働く環境に意識を向ける機会が増えたことで、いまステーショナリーに注目が集まっている。今回は1961年発売のロングセラー、スチール製レターケースをカラー別注。ほかにもノートやボックスなども今後発売予定。

LETTER CASE 5￥8800・3￥6600、STEEL TRAY￥6050／KOKUYO × JOURNAL STANDARD relume
(問) ジャーナルスタンダードレリューム ルミネ新宿店　tel：03-5909-4675
https://journalstandard.jp/relume/mens

Info 01
黒×赤マンモスロゴが限定でリバイブする、山でも街でも使えるカプセルコレクション。

高品質のプロダクトと類い稀なブランド体験を提供する、スイス発のアウトドアブランド「マムート」。マムートといえば"黒×赤のマンモスロゴ"をイメージするヒトも多いハズ。2018年の秋冬から赤1色に切り替わっていたが、じつに3年ぶりにカプセルコレクションとして旧ロゴが復刻を果たす。アイテムは全5型をラインナップし、写真のフード付きハードシェルジャケットに加え、フード付きウインドシェルジャケット、速乾ロゴプリントTシャツ、ポケットTシャツ、トレッキングパンツを展開。クラシックロゴ好きはこの機会をお見逃しなく!

MICROLAYER HS HOODED JACKET AF MEN CLASSIC￥24200／MAMMUT
(問) マムート スポーツ グループ ジャパン　tel：03-5413-8597　www.mammut.jp

Info 04
メイドイン沖縄アイテムを豊富に品揃えした、お土産セレクトショップが宮古島にオープン。

沖縄・宮古島でリゾート施設を運営する「シギラリゾート」が、シギラセブンマイルズリゾート内に民芸品・伝統工芸品のセレクトショップ「沖縄みやげ クロスポイントマーケット」を昨年10月にオープン。作家に特別オーダーしたシーサーや琉球ガラス、やちむんは島内随一の品揃えで、定番の土産菓子や特産品、泡盛、かりゆしウエアなど、ここでしか出会えないアイテムが豊富に揃っていて、琉球文化を体感できるショップとなっている。

沖縄みやげ クロスポイントマーケット
住所：〒906-0203 沖縄県宮古島市上野字宮国974-2　open：9:00～22:00
tel：0980-74-7181　https://shigira.com/activity/shop/cross-point-market

Info 03
蛇腹構造の独自最新テクノロジーを搭載した、足への負荷を軽減するトレッキングシューズ。

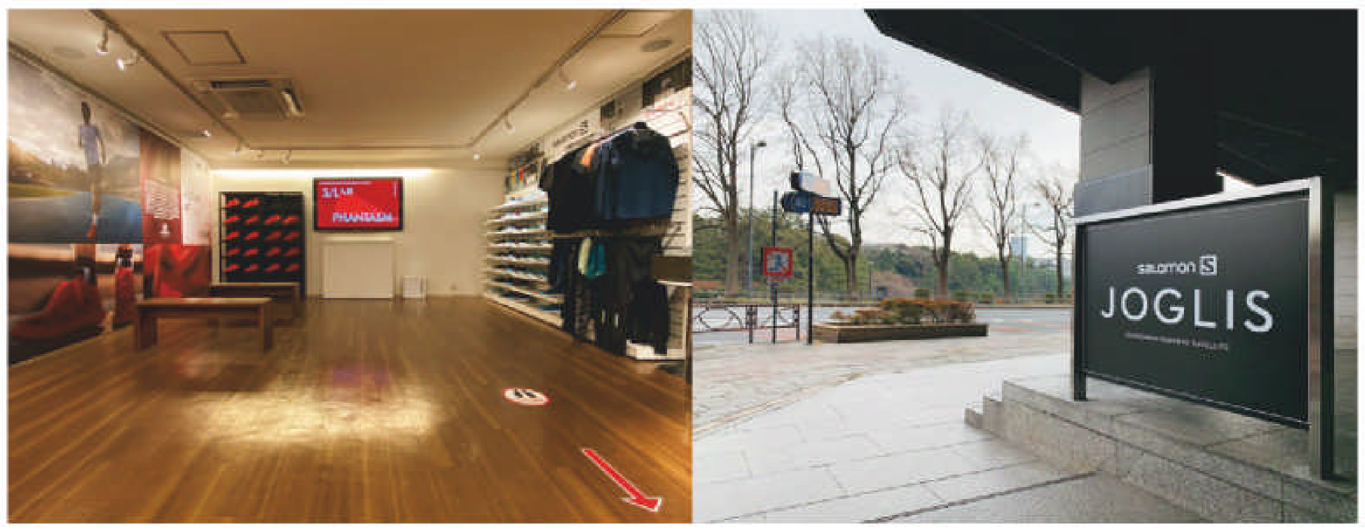
ポートランドを拠点に数々の傑作を輩出してきたアウトドアフットウエアブランド「キーン」から、剛性を保ちつつ最上級の屈曲性を実現したキーンベローズフレックスを搭載する4型が新発売。屈曲に必要なエネルギーを軽減し、より軽やかな足取りで歩けるうえに長期の使用でも劣化しないのが特徴の次世代型トレッキングシューズ。ロングトレイルに適したリッジフレックスと、軽量高機能ハイカースニーカーのテンポフレックスを展開。

RIDGE FLEX MID WP￥22000、RIDGE FLEX WP￥19800、TEMPO FLEX MID WP￥18700、TEMPO FLEX WP￥17050／KEEN
(問) キーン・ジャパン　tel：03-6416-4808　www.keenfootwear.com

Info 06
バッグライフをより豊かにする、マスターピース発アパレルが始動。

1994年のブランド設立以来、ファッション性と機能性を高い次元で融合させたプロダクトを追求してきたバッグブランド「マスターピース」が、新たなプロジェクトとしてアパレルラインを本格始動。一般的なレインウエアでは守ってくれない背負ったときの背中の蒸れや衣類にできる毛玉やダメージなどの問題を解決するディテールや機能を搭載し、"バッグライフをより豊かにするためのウエア"をコンセプトにしている。左の完全防水アウターは背面が拡張しバックパックを背負った上から着用でき、着用したまま中のショルダーバッグにアクセスできるファスナーを装備。今後も斬新なウエア展開に要注目だ。

PACKERS OVER COAT￥59400／master-piece
(問) MSPCプロダクトプレスルーム
tel：03-3796-1296　https://master-piece.co.jp



Info 05
皇居直結のランナー施設「ジョグリス」にて、サロモンのステーションサービスがスタート。

トレイルランニング、ウインタースポーツ用品において世界をリードする「サロモン」が、TOKYO FMグループが運営する皇居直結のランナー施設「ジョグリス」にて"サロモン ジョグリス プロジェクト"の提供を開始。サロモンの最新モデルのランニングシューズやアパレルのレンタルができるほか、ジョグリスを拠点に走った距離に応じてポイントが付与され、直営店での買い物割引サービスが受けられる特典満載のチャレンジ企画も実施中。

JOGLIS
住所：東京都千代田区麹町1-7 FM センター地下1F　利用料：750円（シャワー・ロッカー）※別途会員登録料
open：（平日）7:00～14:00、16:00～22:00（土日祝）7:00～18:00　tel：03-3221-6100　www.joglis.jp

Info 08
宿泊体験ができるモバイルハウスを設置する、スノーピーク新業態が豊田市に今春開業予定。

アジアに加え、欧米でも本格的に展開を加速する「スノーピーク」が、愛知県豊田市でファミリー層に人気の都市公園、鞍ケ池公園内に新業態のアウトドア拠点をこの春オープン予定。施設にはキャンプ用品とアパレルアイテムを豊富に揃える直営店はもちろん、土地のめぐみを丸ごと味わうレストラン“Snow Peak Eat”を併設し、世界的建築家の隈研吾と共同開発したトレーラーハウス型の宿泊施設“住箱—JYUBAKO—”に加え、自然の中のワークプレイス“CAMPING OFFICE”も展開予定。また、林間エリアには手ぶらキャンプができるエリアも用意する。

スノーピーク 豊田鞍ヶ池（仮称）
住所：愛知県豊田市矢並町法沢714—5　鞍ケ池公園内　open：未定　tel：未定　www.snowpeak.co.jp

Info 07
たけだバーベキューのこだわりをすべて叶えた、キャンパーが求めるガチな多機能ウエアが完成。

オリジナリティが高くイノベーティブなアウトドアウエアを提供し続ける「コロンビア」から、アウトドアタレントとして活躍中のたけだバーベキュー（吉本興業所属）とコラボしたコレクションが登場。ウエアは3型展開し、ベタつきや蒸れを軽減する夏キャンプでも快適な機能素材を採用。シューズは2型展開し、愛車に合わせてカラーを別注。こだわりのギミックやディテールがたっぷり詰まった、類を見ないキャンプウエアに仕上がった。

TUCANNON ISLE LONG SLEEVE SHIRT￥19800・SHORT SLEEVE SHIRT￥17600・PANT￥19800、HAZY LAZY OMNI-TECH MID￥15400・MOC￥12650／たけだバーベキュー × Columbia
（問）コロンビアスポーツウェアジャパン　tel：0120-193-803　www.columbiasports.co.jp

1名様

Present B
機能性はもちろんカラーリングも魅力的な、ギア感あふれる本格派アウトドアウォッチ。

時計や電卓、電子辞書などを扱うカシオの本格アウトドアウォッチ「プロトレック」から、タフソーラーによる安定的な駆動とトリプルセンサー搭載のレジスターリング付き2層液晶のPRG-240に新モデルが登場。アースカラーのサンドベージュをバンドにあしらい、ボタンなどにイエローを配色し、視認性を高めつつギア感が感じられるカラーリングに。方位、気圧/高度、温度計測機能といった実用性も兼ね備え、大型ボタンはグローブ装着時でも操作しやすい。レジスターリングのローレット処理が極め付けのギア感満載なこちらの腕時計を1名様に!

PRG-240-5JF／PRO TREK
（提供）プロトレック　https://protrek.jp

1名様

Present A
揺れる環境下でもピタリと目標物を確認できる、完全防水仕様の日本製ハイスペック防振双眼鏡。

距離測定器、双眼鏡、暗視スコープ、電動工具などを中心に輸入販売する「阪神交易」から、アウトドアシーンで活躍する12倍防振双眼鏡を1名様にプレゼント！　6軸のセンサーで感知した振動を水平と垂直の2軸で制御してくれる独自ジャイロセンサーを搭載し、三脚ネジ穴やオート電源オフ機能、グリップ感抜群の小型設計など、利便性に優れたディテールが満載。全面多層膜コーティングされた明るいレンズには撥水撥油コートが施され、あらゆる環境下で最上の視界を確保。バードウォッチングやスポーツ観戦、釣りシーンでも活躍してくれそうだ。

防振双眼鏡 SIRIUS 12／阪神交易
（提供）阪神交易　www.hanshinco.com

Present C
ミニマルでシンプルデザインの、コスパが抜群のデイリーバッグ。

世界で愛される登山用具やアウトドアグッズの開発を目指して1975年に創業した日本が誇る総合アウトドアブランド「モンベル」。アウトドア用品の進化の歴史といっても過言ではない同ブランドから、縦型デザインのバックパック、ディープフォレストカラーを1名様にプレゼント！　素材には耐水性と耐摩耗性に優れた420デニールのバリスティックタフコートナイロンリップストップを使用し、開口部には防滴性を高めるアクアテクトジッパーを採用。また、内部にはノートパソコンやタブレットが収納できるスリーブとジッパー付きポケットを完備し、日帰りの登山や旅行はもちろん、デイリー使いするのにちょうどいい容量20Lサイズ。驚くほどのコスパのよさも魅力的な逸品である。

TRAVEL TOUGH PACK 20／mont-bell
（提供）モンベル　https://www.montbell.jp

1名様

GO OUT ID

GO OUT会員サービス好評実施中。無料登録で、お得な特典が盛り沢山!!

“GO OUT ID”は、GO OUTの雑誌、通販サイト、WEBメディア、イベントなどからのお得な情報や、さまざまなコンテンツを無料で楽しめるメンバーシップブログラム。登録すると、GO OUTのウェブサイトの会員利用、ここだけの情報をお知らせする会員限定のメルマガ、会員だけのスペシャルプレゼントなどが受けられます。また、GO OUT CAMPなどのチケットがどこよりも早く手に入る抽選販売を会員限定で行う予定。読者プレゼントの応募は、下記GO OUT IDページから。

https://member.goout.jp

読者プレゼントの応募はこちらから!

※応募締切
2021年3月29日（月）

クは自粛明けの会話ネタツールとして楽しみます（笑）。SayaTube）

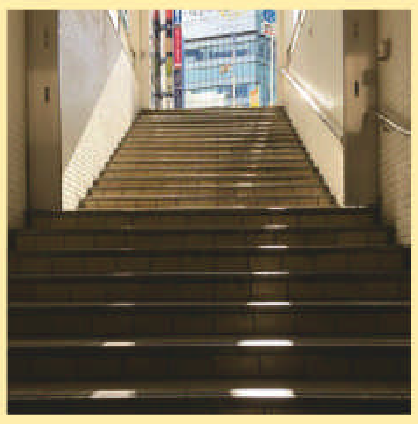
緊急事態宣言発令中の地域にお住まいの方はどこにも行けず、年明けからモヤモヤしているヒトもきっと多いのではないでしょうか。ボクもその1人です。いまは我慢の時とわかっていても、アウトドアフィールドに出て遊びたいという気持ちが口からこぼれてしまいそうです。キャンプや登山、スノボに行きたい。しかし、そんな気持ちを押し殺して、いまは毎日ストレッチをしています。なぜストレッチかと言いますと、じつは昨年末にヒザを痛めてしまいまして、年明けから毎日の日課としてストレッチをはじめました。痛めてから数週間は走ってもすぐに痛くなってしまい走れるような状態ではなかったのですが、毎日コツコツとストレッチを続けていくことで、だいぶ回復してきました。登山者の身体のトラブル“膝痛”で悩まれている方も多くいるのではないかと思います。まだボクも登ったわけではないので、回復具合は分かりませんが、きっと良くなっている、以前よりもパワーアップしていると信じて、柔軟性と筋力アップに励もうと思います。3月は登山、キャンプに行くぞ!! 写真はいつかの塔の岳山頂から見えた富士山です。（深作カントク）

ぼくスズえもん。今月は神奈川の日吉にある「ブクブク亭」という洋食屋さんを紹介します。こちらのお店は2020年の“食べログ百名店”にも選ばれた知る人ぞ知る有名店で、制服を着たシェフや丁寧で親切なスタッフなど本格的な洋食屋さんの重厚感もありつつ、店内には暖炉もあってとてもアットホームな雰囲気で入りやすいです。ソーシャルディスタンスを保つために席に余裕をもってお客さんを案内している感じはありましたが、店内はかなり広く、家族やカップル、お1人さまと幅広い客層の先客が8組くらい入っていました。メニューは魅力的なラインナップが豊富にそろっています。今回選んだメニューは特製ハンバーグ270g（1780円）。ありきたりの感想ですが、肉汁があふれるジューシーな味わいは想像をはるかに超えるレベル。なんといっても手間のかかったデミグラスソースと西洋わさびのタルタルを組み合わせたソースが絶品です。ハンバーグからあふれ出る肉汁ともとてもマッチして、大満足の一品でした。（スズえもん）

突然ですがワタシ、Googleより断然Yahoo! 派です。「え!? ヤフー使って検索してんですか？」と驚かれることがちょいちょいあるんですが、逆に「なんでGoogle使ってんの?」と聞きたい。Yahoo! って検索できるのはもちろん、オススメ芸能ニュースも一目でわかるとっても優れたサイトですよ？知ってます？Googleのムダなものは一切排除したあの都会派トップ画面より、スーパーのチラシ的Yahoo! の情報てんこ盛り画面の方がお得感ありますよね。正直、この芸能ニュース誰が求めてんの？ という記事も度々見受けられるYahoo! 芸能。“あいのり”モ〇のブログから引っ張ってきた記事の連発には辟易してましたが、最近とんと見なくなりましたね。代わって目立つのがYouTuberてん〇むさんの記事。「て〇ちむ、シバターと戦ったHIROYAに凸も失恋」「てんち〇、ラファエルに整形してない？と疑われる」……、ど～でもいいわ。それより貴乃花と息子による親子バトルが気になります。景子元夫人や娘の証言なんかがこれから続々出てくるのかな？ とワクワク。ボクは優一さんより、断然“光司派”です!!（岳Z）

お世話になります。ディフェンダー護です。緊急事態宣言が延長となり、GO OUT CAMP vol.16開催に向けて、みなさまが安心して楽しんでいただけるように、尽力して準備しています。緊急事態といいますと、最近越してきた品川区で「まもるっち」の存在を知りました。KDDIさんと品川区が開発したGPS搭載児童見守りシステムらしいです。児童になにかあって発信されたときに、警察・学校・近隣協力者が即座に対応できるシステムになっており、いまや「まもるっち4」までバージョンアップしているみたいです。昭和生まれの“護っち”からするとデジタル時代の進化を感じずにいられません。ぜひ、オトナ版まもるっちも開発してほしいものです。オトナになると社会的緊急事態はしばしば訪れます。だいたいはジブンでなんとかするものが旨なのですが……、しがらみのない第三者に助けてほしいときもありますよね。いやいや、ジブンが守ってあげる第三者にならなければなりませんね！ GO OUT CAMPではみなさまの「まもるっち」として務めます！（そろそろ“マモル”しばりが限界を迎えそうです（笑）。ディフェンダー護）

いろいろなものが便利になっていくなぁ～と改めて感じている今日のこの頃です。キャッシュレスやらコードレスやら……。近い将来に電気コードもなくなりそうですね。蛇足ですが、最近の主流になりつつあるコードレスイヤホンは、ワタシ的にはエポックメイキングなアイテムでした。もう、あのヒモが絡んで「きぃー！！」ともおさらば?! “〇〇レス”時代の到来とともに、個人的な“レス”も押し寄せてきた感があります。40代に足を踏み入れ、特に筋力やバランス力のレス化が顕著です。周りからはまだ早い!! とお叱りを受けそうですが……。つい先日も地下通路に続く階段で足を踏み外して、10段以上を転げ落ちるという大失態……。幸い大事には至らなかったのですが、ヒザが腫れ、デニム＆カバンが破れと散々でした。唯一の救いは周囲にいた方々が声をかけてくれたり、散乱した荷物を拾ってくれたりと、とても親切だったことです。足の痛みを抱えたその翌日、筋力や体力のレスなんか気にせずに優しさのレスだけは避けよう！と心の中でつぶやきながら帰宅していると、目の前にエニタイムフィットネスでトレーニングをされている面々が……。そこでガラス越しに熱い視線を注いでしまっていたのはココだけの話です。ちなみにまだ入会はしていません。（サカネット）



最近引越しの話ばっかりで恐縮です! ゴリラです。そして、今回ももちろん事務所の引越しの話です（笑）。引越しして2ヶ月ほど経過し、新しい仕事環境にもやっと慣れてきました。今回も家から徒歩10分くらいの立地で、本当に事務所いるのかよってぐらい近いのですが、前にも話した通りいったん家を事務所にしたけど、仕事とプライベートの区別がまあできないできない。カメラマン（一応カメラマンです）ってもともとそんなに区切りのない仕事なんですけど、ボクにはやっぱり事務所が別に必要みたいです。今回の引越し先の事務所はシェアオフィスなんですが、これで3箇所目(笑)。最初のシェアオフィスのときが1番人数がいて、デザイナー、建築、アプリ作ってるヒト、イラストレーター、映像、なにやってるかわからない人と業界もさまざまで、めっちゃバラエティ豊かだったな～。そもそも会社員になったことないので、職場にヒトがいるのが楽しくもあり、ジブンが知らない仕事現場が見れたり、実際に仕事をシェアしたりで、シェアオフィスって良いことばっかりだったんで、次も迷わずシェア！2箇所目はわりと少ない人数で、そこに先日まで5年？ いや、もっと？？ 居心地よかったなー（笑）。そして3箇所目となる今回は、初のアパレルチームとのシェアでして、服ってそうやって企画して、生地とか決めたりしてるんだな～と興味深いコトばかりです。大人の社会科見学もできてしまうシェアオフィスはやっぱりいいものです。しかし、どこ引っ越しても最後まで残って仕事してるのは大体ボクです(笑)。(写真は新シェアオフィスでもなく、家でもなく、撮影で行ったキャンプ場、北軽井沢スウィートグラスにあった船付きのツリーハウス。ゴリラ)

このページをチェックしてくださっているマニアックな読者のみなさんにはおなじみだとは思いますが、はい、クルマが大好きな51歳（2月で51になりました）です。サーキット走行前提のナンバー付きが2台に、2年前に新車で手に入れたスバルが1台、とにかく距離を乗るので、少しは劣化を分散させるべく約20年前のちょい旧スバルのステーションワゴンを同型のエンジン違いで2台、という計5台体制なのですが、先日、どうしても見逃せない1台を発見してしまいまして、とりあえずゲットしてしまいました。事務所として使っている部屋のある中目黒と、1年半ほど前から借りているガレージが埼玉県の三郷市にあるのですが、さすがに6台目を置くキャパシティはありませんので、名古屋で中古車屋さんをやっている昔からのクルマ友達のお店に間借りをして登録してもらいました。2000年式の2代目スバルインプレッサスポーツワゴン（ターボ5MT）というクルマなのですが、この世代のインプレッサは発売期間中に3度も顔面を変更した迷走モデルとして有名で、ボクはその最初期の通称「丸目」のモデルに強烈に魅力を感じていたのです。おっさんのボクには似合わないでしょうから、ちゃんと健康診断してから、「似合う」次オーナーを探す予定にしております。（経過はYouTube【ロクマル自動車】でお届けします。大阪梅田）

WEB版も絶賛、毎日更新中です!
GO OUT WEB
web.goout.jp
QRコードでGO!
今月のオススメ記事。
高機能なうえに好デザインな、2021年注目新作キャンプギア!!

公式SNSも好評稼働中!
公式Facebook
GO OUT Magazine
GO OUT Online
GO OUT CAMP
公式twitter
@GO OUT magazine
@goout_online
@goout_camp
公式Instagram
@gooutjpn
@gooutonlinejpn

編集後記

新生活に向けてというわけではないですが、わが家に新たにやってきたのがキャットタワー。室内飼いのネコが家で運動できるという、ネコのための遊具です。とはいえ新品ではなく、家族の実家のネコが高齢で登れなくなったので、お下がりでやってきたモノ。床から天井までの高さがある大型サイズなので、バラバラの状態から組み立て直すのも大変でしたが、いざ完成してみて、横倒しの状態から立ち上げると問題発生です（泣）。天井が低くて、まっすぐ立ち上がらないという……。元々設置していた家より、わが家の天井が低かった……。突っ張り棒みたいな要領で、床から天井にまっすぐ立てる仕組みですが、最終的に調整するパーツが、見たことないような極太かつ長尺のボルトで、それをどうにかしようなんてボクのD.I.Y.レベルのハナシではなく、しかたなくボルトをごっそり抜いて、コルクのマットをできるだけ挟んで固定するという、おおざっぱすぎる代用品で、とりあえず設置（笑）。とはいえ、ネコが登り降りすると、あきらかにグラグラしてる様子なので、ホームセンターをハシゴして、この状況にベストな突っ張りパーツを探してみようと思います!!（関(せき)ジャニ∞）

アウトドアショップで見つけた、スタッフバッグや、ポーチ、ギアコンテナなどをデザインがイケてるという理由で買ってしまい、買ったあとで使い道や入れるモノを考えることがあるのですが、みなさんもありますよね?? 写真のグローティックも、蓄光素材の塊感がイケてるということでポチってしまいましたが、使い道がいまいち見えていません。蓄光素材には子供の頃に感じた未来感と、光るモノは便利なモノというジブンへの変な刷り込みがあり、魅力を感じてしまいます。もちろんライト替りになるほど光らないし、キャンプシーンにおいては夜にかけてだんだんと暗くなるので、本領発揮をしてほしい夜中にはすっかり光らなくなってしまい、結局ライトなどで光をチャージする必要があります。果たして本当に役に立つのか微妙な気がしていますが、そんなことより好きなモノを見つけた瞬間が楽しかったりするので、有効活用方法は次回のGO OUT CAMPで持ち歩いて探すことにします。ということで、今月号の『アウトドアスタイルブランド100』で好きなモノを物色です。(最近見つけた好きなモノはクラブハウスのアナゴハウスです。三二六)

昨年8月のこと。せめてもの夏休み感を求めて埼玉奥地の清流へ行きました。この日はいつもの釣り竿ではなく、タモ網と虫かごを持参。いざガサガサで河原の茂みを探りまくるも、一向に生命反応が得られない。幼い頃の記憶をたどりながらの一服中、ふと日なたの溜まりに目をやると、メダカらしき小魚の群れを発見。これまでの苦労は何だったんだと思うほど、あっけなく捕まえられました。鑑賞しているうちに“地味なくせにかわいい”メダカにみるみる愛着が湧いて、3匹ほど持ち帰ることに。すぐに水槽やカルキ抜きなど一式揃えて、初めてのおサカナ飼育が始まりました。しかし翌朝、3匹居たはずのメダカはたった1匹に。寝ているうちに水槽から飛び出してしまったようでした（自宅前に埋めて供養しました）。フタが必要だったかと反省した数日後、残った1匹も水換えの最中に飛び出して行方不明に。すぐに発見して無事蘇生できましたが、あまりに元気すぎる姿に違和感を覚えて調べてみると……、どこか形が違う？ なんとメダカかと思って飼っていた小魚は「カワムツ」でした。それから半年、のびのび育ちカワムツらしくなってきましたが、いまでもメダカ用の餌をおいしそうに食べています。（シュウ）

キャンプに行きたいっす。久しくキャンプ行ってないなー、最後にキャンプ行ったのいつだっけなー？ と思い返してみたら、なんと2020年は一度もキャンプに行ってなかったんですよね。コロナの影響がゼロというわけではないですが、キブン的に昨年はなんとなくキャンプモードじゃなくて、さらにほかの予定が休日に入りがちだったのでそちらを優先していたんですが、さすがにウズウズしてきました。そして、個人的キャンプ熱がちょっと落ち着き出していた頃にコロナパンデミック。気付くと1年半以上、キャンプから遠ざかっていたわけです（移動や旅行で車中泊はしていますが）。ということで、春先に向けてキャンプでも予定しますかねと思いつつ、いろいろ調べてみると、ウィズコロナ時代におけるキャンプの指針や対策案などの情報がだいぶ増えていて、非常にありがたいです。こういう時にSNSは助かりますね。こんな時勢ですし、初のソロキャンプにでも挑戦してみようかしら。（HHHHH）

最近だんだんと暖かい日が増え、洗濯物は外干し派のボクとしては外に干した洗濯物がきちんと乾くのが嬉しい今日このごろ。冬は乾くまで時間がかかってしまい、タオルなどは生乾きのニオイが気になってしまうので浴室乾燥機に頼ってしまいがちですが、やっぱり外に干した方が気持ちいい気がするのは気のせいでしょうか。話は変わりますが、冬の暖房器具はストーブ派の我が家なんですが、いままではストーブ上の加湿アイテムにはキャンプでも活躍しているマルカの湯たんぽを使用していたのですが、あまり見た目がよろしくなく、給水頻度も多く手間だったため、なにかサマになるケトルが欲しいなと思いずっと探していました。悩んだ末に購入したのは柳宗理のステンレスケトル。柳宗理といえば日本のモダンデザインの第一人者としてバタフライスツールをはじめ、鉄フライパンやキッチンツールといった数々のプロダクトデザイナーでお馴染みですが、これといった特徴もないほどシンプルながら、なぜか絵になるのは計算しつくされたデザイン性ならではなのでしょうか。2年前に日本の安全基準適合モデルの発売がスタートしたアルパカストーブにもぴったりな気がしています。今年の冬はこの組み合わせで乗り切りましたが、来年には新たにフジカ ハイペットも追加導入予定。早く使い比べたいです。(フジカは注文殺到で納品2年待ち?(笑)。増田家)

年が明けたと思ったら、あっという間に2月も終わり。今年は年始早々からお出かけもできず、正直なにもしていないためにネタも枯渇中です……。そんな中ですが、今号のLivin' 連載の撮影のため、長野までお邪魔してきました。近くの八ヶ岳インターからははっきりと八ヶ岳も見え、まさに雄大な自然を感じてきました！ 撮影させていただいたキノシタさん宅からも、南アルプスの山が見えたりとまさに大自然の中での暮らしがありました。近くには地元の直産販売所があり、そこで購入したという野菜を使ったランチまでご馳走になってきました。それにしても、長野の野菜はとても美味しい!! しかも、スキー場もそばにあり好きなときに雪遊びもできちゃう最高な環境。先月載せたハンドガンだって周りを気にせず試し打ちできちゃうんだろうな、なんて考えたり（笑）。最近は山暮らしにシフトしている方も増え、そんな生活を取材させてもらう機会が増えてきました。都会暮らしのメリットも多いですが、美味しい野菜を食べられて好きなときに外遊びが楽しめる、そんな山暮らしの環境は本当に憧れ。いつかワタシも……なんて狭い1Kで夢を膨らませる日々です。（しよ。しより）

自宅で過ごすことが増えている現在。ずっと家に引きこもっているとメリハリがなくなってご飯にしても、家にあるものやコンビニのもので済ませたりとか、ついつい適当に。さすがに良くないと思い、最近は散歩がてら敢えて少し遠くまで昼ご飯を食べに出掛けるのですが、やはり閉まっているお店も多く、探しているうちに気付けば30〜40分歩いていたなんてこともあったりして、多少は運動不足解消になってなかなか良いものです。歩けば歩くほど知らないお店に出会えるのも醍醐味。ただし、歩いた分だけ変にこだわりが出てきてしまい、お店選びに妥協が出来なくなってしまうことも。大体そういう時は外観で判断して、老舗っぽい雰囲気のお店に決めるのですが、これが案外打率が高く、“アジのあるお店は料理の味もいい”なんて勝手に定義付けてみたり。写真は、家から歩いて約40分の蕎麦屋さん。のれんや石畳、出前用のスーパーカブも含めて雰囲気最高！ 想像通り味も良く、思わず鴨南蛮そばと親子丼のセットをペロリ。歩いて消費した以上のカロリーを摂取しているのだから、この長旅ランチも良いんだか悪いんだか（笑）。（ウェブモト）

あっという間に2月になっていて、自粛生活は延長戦に突入。私はヒトと会う機会がめっきり減った分、画面と向き合う時間が増えてしまって、インドアの生活レベルがぐんぐんアップしている気がします。最近では、テレビのリモコンとゲームのコントローラーそれぞれを駆使して「Netflix」と「Amazon Prime」を交互にチェックするようになりました。似たようなサブスクを2つもいらないと思ってはいるんですが、ビミョ〜にラインナップが違ってどちらも捨て難いんですよね。一方には無いけれど、もう一方にはあったり、オリジナル作品や独占配信をしていたり、双方にいいところがあるんです。おかげさまで、映画やドラマ、アニメなんかを週末にイッキ見してしまうし、サブスクから抜けられない連鎖に陥っていて、自粛が明けたときに現状から抜け出せるのか不安になってきてます。とはいえ、家でずっとじっとしてはいられないし、だんだん暖かい季節が近づいているので、これから外に出るきっかけを模索していければと思います。（サブス

STAFF

Editor in chief
Takuro Seki

Editor
Shigeru Masuda
Sayaka Kakiuchi
Kazuki Suzuki（GO OUT WEB）
Tsuyoshi Enomoto（GO OUT WEB）
Masashi Echigo（RIDE MEDIA&DESIGN）
Shiyori Kawamura（RIDE MEDIA&DESIGN）

Advertising staff
Tomoaki Suzuki
Gakuji Onozato
Mamoru Takahashi
Yasuyuki Abe
Hiroaki Takahashi
Yui Okutani
Kotoe Nakahata
Moe Noguchi
Tomohiro Ohta

Designer
Isamu Harimoto（higrafik）
Jerry Ukai

Producer
Mitsuru Takeshita

Creative Director
Osaka Umeda（60MW）

「OUTDOOR STYLE GO OUT 2021年4月号 Vol.138」
2021年2月27日発売

発行人：星野邦久
編集人：関 拓朗
印刷所：図書印刷株式会社
発行所：株式会社三栄
〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア 7F

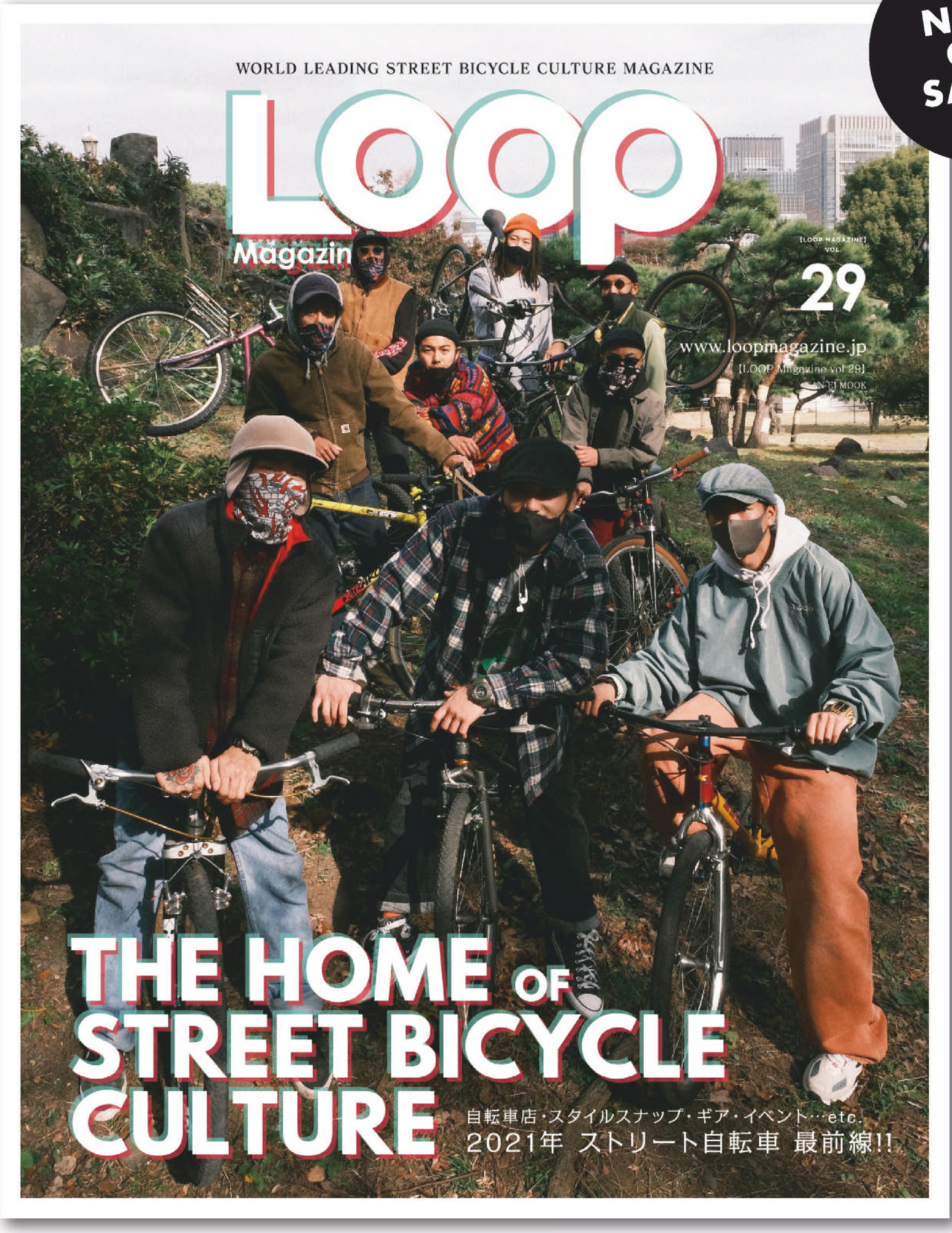
広告 tel：03-6897-4622
編集 tel：03-6303-1609（ロクマルマガジンワークス）
受注センター tel：048-988-6011 fax：048-988-7651
販売部 tel：03-6897-4611 fax：03-6897-4651

定価：780円 本体709円

■本誌掲載記事・写真などの無断掲載、複写を禁じます。

[LOOP MAGAZINE]
VOL.
29

NOW ON SALE!!



2021年 街乗りは オールドスクールMTBが大流行！

WORLD LEADING STREET BICYCLE CULTURE MAGAZINE

OFFICIAL WEBSITE www.loopmagazine.jp

三栄 SAN-EI CORPORATION
販売部 TEL03-6897-4611（受付時間／平日10:00～17:30） 〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7F www.sun-a.com/

Shop List

◇のついた問い合わせ先はメーカー、プレスルームとなります。メーカー、プレスルームはショップではないため、通常の販売は行っておりません。
また、住所記載のない問い合わせ先は、先方の希望により掲載をしておりません。

ア

◇RCTジャパン
tel：03-6303-1039

◇アウターリミッツ
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-6-3
tel：03-5413-6975

◇アウトドアプロダクツカスタマーセンター
tel：06-6948-0152

◇アクシーズクイン
東京都千代田区内神田3-16-5
tel：03-3258-6211

◇アシックスジャパン／ホグロフス
東京都江東区新砂3-1-18
tel：03-6369-8885

◇アリガインターナショナル
tel：03-6659-4126

◇アルコインターナショナル
大阪府大阪市中央区南船場3-5-8 オーク心斎橋ビル2F
tel：06-6563-7346

◇アンドワンダー
tel：03-5787-3460

◇アンバイPR
東京都渋谷区神宮前3-18-21
tel：03-6434-0709

◇ヴァーテックス
神奈川県大和市柳橋2-5-9
tel：046-205-7391

◇エイアンドエフ
東京都新宿区新宿6-27-56 新宿スクエア8F
tel：03-3209-7575

◇エーグルカスタマーサービス
tel：0120-810-378

◇MSPC
tel：06-6265-2677

◇エル・エル・ビーン カスタマーサービスセンター
東京都武蔵野市吉祥寺南町1-16-3
tel：0120-81-2200

◇オーバーリバー
info@overriver.com

カ

◇キャニオンワークス
tel：0246-36-1102

◇キャンバス
tel：03-5639-9669

クオリネスト
東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア8F
tel：03-6427-1977

◇グレゴリー／サムソナイト・ジャパン
tel：0800-12-36910

コートエシエル東京
東京都渋谷区神宮前3-18-22
tel：03-3475-7030

◇ゴールドウイン カスタマーサービスセンター
tel：0120-307-560

◇ゴコウ
東京都渋谷区神宮前3-6-10
tel：03-5770-5540

◇コロンビアスポーツウェアジャパン
東京都新宿区新宿6-27-30
新宿イーストサイドスクエア7F
tel：0120-193-803

サ

シップス 渋谷店
東京都渋谷区神南1-18-1
tel:03-3496-0481

◇ジャック・ウルフスキン カスタマーサービス
東京都港区白金台5-12-7 MG白金台ビル
tel：0120-300-147

◇スタンレーインターナショナル
東京都渋谷区恵比寿1-1-10 サウスコラム小林3F
tel：03-3760-6088

◇ゼット お客様相談センター
tel：0120-276-010

タ

チャムス 表参道
東京都渋谷区神宮前5-2-21
tel：03-6418-4834

◇ティーニー ランチ
東京都渋谷区神宮前2-19-16 HT神宮前ビル5F
tel：03-6812-9341

◇デサントジャパンお客様相談室
tel：0120-46-0310

◇ドナ
tel：03-5799-6924

◇トライステイトジャパン
東京都目黒区中目黒1-9-3 4F
tel：03-6455-4332

◇トランバーズ
東京都中野区中野5-52-15 ブロードウェイ4F
tel：03-5380-8306

ナ

ナナミカ 代官山
東京都渋谷区猿楽町26-13
tel：03-5728-6550

◇ニュートロン
tel：03-5785-4672

ハ

◇バートン
tel：03-5738-2555

◇バーリオ
京都府京都市北区鷹峯黒門町41 ホワイトハウス
tel：075-354-6604

ハイ! スタンダード
東京都渋谷区猿楽町25-1
tel：03-3464-2109

◇パタゴニア日本支社 カスタマーサービス
神奈川県横浜市戸塚区川上町91-1
BELISTAタワー東戸塚5F
tel：0800-8887-447

ハリウッド ランチ マーケット
東京都渋谷区猿楽町28-17
tel：03-3463-5668

◇ハンドイントゥリーショールーム
東京都渋谷区神宮前2-22-6
tel：03-3796-0996

P.F.S.パーツセンター
東京都渋谷区恵比寿南1-17-5
tel：03-3719-8935

ビームス 原宿
東京都渋谷区神宮前3-24-7
tel：03-3470-3947

ビームス プラス 原宿
東京都渋谷区神宮前3-25-12
tel:03-3746-5851

ビショップ
東京都渋谷区神宮前3-27-22 ルコタージュビルディング3F
tel:03-5775-3266

◇フォルトゥナ オム
tel：03-6322-5268

フライターグ ストア トウキョウ シブヤ
東京都渋谷区神宮前6-19-18
コマツローリエビル1F
tel：03-6450-5932

ホワイトマウンテニアリング
東京都渋谷区猿楽町2-7
tel：03-6416-5381

マ

◇マムート スポーツ グループ ジャパン
東京都渋谷区神宮前2-4-11
Daiwa神宮前ビル4F
tel：03-5413-8597

◇ミーンズワイル
http://meanswhile.net

◇ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン
tel：03-6417-0492

◇ムロフィス
info@yolken.co.jp

ヤ

◇ユニグローブ
tel：03-6821-5400

ラ

◇リアルワークス
大阪府大阪市中央区南船場1-4-16 403
tel：06-6262-2350

ルート
東京都渋谷区猿楽町4-5 1F
tel：03-6452-5867

◇ルックスオティカジャパン（オークリー）
東京都千代田区二番町4-5 7F
tel：0120-009-146

◇ロストアロー
埼玉県鶴ヶ島市脚折1386-6
tel：049-271-7113

ロストヒルズ
東京都渋谷区神宮前3-26-7
tel：03-6809-5582

◇ロンヨンジャパン
東京都千代田区一番町13-1 新半蔵門ビル3F
tel：03-6712-2191

別冊人気シリーズ「インドア編」の最新刊は、おしゃれに見せるアイデアが満載!

絶賛発売中!!

別冊GO OUT「GO OUT Livin' Vol.15」

定価：本体1000円 +税

三栄 SAN-EI CORPORATION

販売部 TEL03-6897-4611（受付時間／平日10:00〜17:30） 〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7F www.sun-a.com/

FUMIHIKO OKABE Presents

SOTOKEN

REVENGE WAKASAGI FISHING!

リベンジ！ わかさぎフィッシング

Volume.109

Direction: Fumihiko Okabe
Photography: Sugisaki J-Taro
Design: Jerry Ukai

昨年THE NORTH FACEからフリーペーパーとして別冊「SOTOKEN」が発行された。冬の外遊びをテーマに「わかさぎフィッシング」をしたのだけど、まさかのノーフィッシュ!! 「釣り部」みたいにゃ終われない！ なんつって、北国岩手でリベンジなるか!?

（写真左）暖冬のため雪が積もってないし、氷が青い！

長野の松原湖から岩手の岩洞湖にてわかさぎフィッシングのリベンジ！さて釣れるのか!?

さすがはわかさぎ釣りのメッカ岩洞湖。理想的な氷上の雪原が広がっていて、なんだか南極にいるみたいだ（行ったことないけど）。

SOTOKEN vol.109: COLOR CHART
Tent Yellow, Tent Blue, Mountain Brown, Snow White

REVENGE WAKASAGI FISHING!

リベンジ！ わかさぎフィッシング

昨年10月にノースフェイスから発行された冊子「SOTOKEN」にて冬の外遊びとして、わかさぎ釣りを紹介したのだけれど、雪はねーし、一匹も釣れなかったから思うような記事にはできなかった。何気に悔しかったのだ。しかも、移住先の岩泉町の近くには本州で一番寒いと呼ばれるポイントがあって、わかさぎ釣りで有名な岩洞湖がある。そりゃリベンジだろ！ と息巻いて解禁を待った。

1月末。J太郎からメッセンジャーで「解禁したみたいっすよ！」。2月号はわかさぎリベンジだ～なんてJ太郎に言い放っていたのに、相変わらずのいい加減っぷりで全く準備なんて、検索すらもしていなかった。

J太郎はさぞ呆れ顔をしたであろう（推測）。がしかし、意外にもはしゃぐ犬のような嬉しそうな面持ちで岩手までやって来てくれた。コロナ禍の最中、はたまた緊急事態宣言中ではあるが、これは不要不急ではない。とても大事な任務なのだ。

わかさぎ釣りは早朝からが良いらしく、夜明け前に出発。レストハウスに6時前に到着。女将さんらしき？やけに朝からテキパキしているお姉さんに接客してもらい、予約していた道具一式を借りてスムーズに使い方を教わりビデオまで見せてもらう。せっかちな性格の我輩はこんなコンパクトなやりとりが好みだ。朝から気分がいい。わかさぎ専用の大きなソリを追加で借りた。持参した子供用のソリでは大きなテントを運ぶには心配だったからだ。連結させて電車状態で荷物を湖面に運び出す。降り立ち目の前を眺めると、そこにはただ真っ白で、正に銀世界！と呼べる真っ平らな景色が広がっていた。これこれ！ これだよ！ このイメージを記事にしたかったんだよ～！ J太郎と氷上で喜び合い、抱き合う、のは色々と良くないのでよした。

意気揚々と荷物を引っ張る。この行為だけで十分楽しい。ずっともっと湖のど真ん中まで引っ張りたい気持ちに張り切っちまったらレストハウスが遠くの方に小さく見えるところまで来てしまった。けれど、テントはさらにはるか遠くにまで転々と見えていて、その光景も素敵だった。もう釣れなくってもいいか!? テへ

（次ページへ続く）

LAST GETTING GEAR

レストハウスにぶら下がってた鹿の毛皮の尻当てを付けてみる。またぎのギアウエア。これ欲しい！

レストハウスの女将さん。何代目なんだろうか？ それにしても接客が滑らかでスムーズでわかりやすくとても気持ちよかった。土日はさぞ忙しいのであろう。

本州一の厳冬地、らしい。この日の最低気温マイナス10℃だったけれど、寒い時はマイナス20度を越えちゃうところなのだ。

岩洞湖でのワカサギ釣りはなんと33年ぶりである。小6の頃近所の友達と親父に連れて来てもらった時には、4人で200匹釣った記憶が蘇った。

SOTOKEN vol.109: COLOR CHART

▼Hat Blue, ▼Shoe Lace Yellow, ▼Rod Green, ▼Pants Black, ▼Feed Pink

REVENGE WAKASAGI FISHING!

リベンジ！　わかさぎフィッシング

ヘッ！　な訳ねえだろ！　キャハハ……なんて二人ではしゃぐ。

とりあえず穴を開けてみた。結構分厚い氷のご様子だ。昨年の松原湖とはわけが違かった。2つの穴を開けるのに一苦労。テントを張る。カサみたいな方式のテントでやけに楽だった。やっと落ち着いて、仕掛けを準備して糸を垂らす。今時は電動リールが当たり前だから、手巻きの旧式がなんとも嬉しかった。

多分我輩は、今時のあのリモコンみたいな電動リールでちっけえ魚を釣るという行為に直感的に興味を持てなかったのだ、と思う。なんつーか？　芸が無いというか味気ない。だから、はるばるJ太郎がやって来たにも関わらず、なんの準備もする気分になれなかったってわけだ。という言い訳を今思いついた。

さて、相変わらずサシ（蛆虫）をちっこい釣り針に引っ掛ける作業は苦手だったが、旧式手巻きリールのおかげで釣り欲が復活した我輩は、興奮気味に竿先のアタリを鋭い目線で見張る。いち早くあの、チョコンチョコンッという生物反応を味わいたいのだ。しかし、いつまで経っても反応がない。釣りというものは反応がないとやるせないのだ。タナがよくないのかなあ？　餌が良くないのかなあ？　ネガティブ発言が増える。いつものように飽きがやって来た。と諦めかけた瞬間、ピコンッと竿先に生物反応が!?　興奮しちゃって手巻きスピードが早まったのだが、女将さんにも焦らないで巻いてね！　なんて優しく言われたことを思い出し、落ち着いたフリをして巻き上げてくと、黒い穴の中から1匹のちっこい魚がひっかかって現れた。（写真の通り）弓形にエロ目化しただらしないニンマリ顔で興奮パラメーターは想像できるであろう。

やっと岩手でリベンジを果たすことができて大満足。気候変動、温暖化と言われて、やっと地球のことも心配になれるようになり、意味があるのか？　林業にも手を出してしまったけれども、温暖化なのかよ？と思えるくらい、まだ、北東北の冬は極寒で立派な氷も張る素敵な冬景色が残っておりました。この景色が無くならないで欲しいと願う外遊びとなりました。

おわり

驚いたのはペグ。ソリッドステークでも固定できるんだな！って。松原湖ではネジネジ式の湖氷専用ペグでないと抜けてしまうと教えられたからである。寒さと氷の厚さが影響してるのかなあ？

中頃、テント内にいると背中を押されるほどに風が強くなってきた。外に出てみると地吹雪のように唸って雪が吹き飛ばされてる痕跡があった。松原湖の悲劇を思い出す。

テント内と外を測ってみると驚愕の温度差。子供の頃はテントなんて無く、ただ岩のように湖面に突っ立ち釣りをしていたことがシンジラレナーイヨー。

SOTOKEN vol.109: COLOR CHART　▶Wakasagi Pink,　▶Wakasagi Black,　▶Wakasagi Purple,　▶Wakasagi Bagie

岩洞湖のわかさぎは大きめ。松原湖は沼だからなのか標準サイズは小さめだと教わってたので1匹目がやけに大きく感じた。

SOTOKEN vol.109: COLOR CHART

▶J-Taro Yellow, ▶Rod Green

SOTOKEN vol.109: COLOR CHART

▶Fumihiko Yellow, ▶Hangten Brown

J-TALK 「何も言えなくて…夏」改め やっと言えたかも…冬

SOTOKENの連載も残すところあと１回となりました！　思い返せば何度も行った釣りの取材。カメラを海に落としたり、源流で鬼ねんざしたり、達人の竿を踏んづけて折っちゃったり……。おっと、フラッシュバックで目が眩みましたが釣りは悪くありません。結論から言うとワカサギ釣り、最高に楽しいです！

素人目線で良かった点を箇条書き

① 氷上からの風景は素晴らしいの一言
② エサがキモくない、仕掛けのセッティングが簡単にできる
③ 防寒をしっかりしてればテントの中でぬくぬく
④ 2匹同時に釣れた時の達成感がすごい
⑤ 釣った魚がすぐ外せるし手があんまり臭くない
⑥ 天ぷらにすると美味い

岡部さ〜ん、ソトケン終わっても外遊びに誘ってくださいね〜(涙)

こんな感じで、釣り苦手だな〜と思ってたところが、
色々解消された今回のワカサギ釣りでした。
もしかして釣り好きになっちゃうかも？！
なんつって。

「GO OUT」を送料無料でお届け。買い忘れなし！

GO OUT

月額購読

開始・終了が自由に選べる新しい定期購読

● クレジットカードから毎号自動引き落とし ●
● 月額購読が便利!! ●

紙＋デジタル版 サービススタート！
定期購読が「スマホで読めるデジタル版のおまけつき」になりました。
デジタル版は、過去号も読み放題！
（2013年1月30日発売号（vol.41）から最新号まで）

パソコン・スマホから
GO OUT 次号予約　検索

・定期購読のご契約は Fujisan.co.jp 雑誌のオンライン書店 となります。お申込みは Fujisan.co.jp の利用規約に準じます。お問い合わせ先：富士山マガジンサービス　cs@fujisan.co.jp

STREET BIKERS'
NEW AGE BIKERS' TRANCE

SR、43年間ありがとう!!

ISSUE004

SPEED & RELAX

僕らにバイクの悦びを教えてくれたSRの軌跡。

1978年の誕生以来、超ロングセラーを続けてきたヤマハSRが、ついにその長い歴史に幕を閉じる。年々キビしさを増す環境規制にもはや40年以上前に設計された空冷エンジンでは太刀打ちできないのだ。ストバイの歴史においてもつねにシーンの中心的存在であり続けた名車SR。泣いても笑っても、“乗るならいま”しかありませんヨ!!

Photo ／ NO-USUAL office Text ／ Hirohiko Shibahara(NO-USUAL office)

元祖SRトラッカーの誕生

SRビンテージトラッカーの元祖と呼ばれるシェブロンの一台。ぴったりフィットした古いモトクロッサーのガソリンタンクや短いフラットシート＆フェンダーに絶妙な位置で装着されたテールランプ、黒いトラッカーバーにホワイトグリップなど……そのセンスは今も色褪せない。ストバイ vol.3 の表紙を飾った SR も神戸シェブロン製。カスタム中の SR の後ろに立つのが当時の田中さん。シェブロンはバイクカスタムだけじゃなく、アメリカン・ビンテージを基調とした店舗の内装等も行っていたクリエイティブ集団だった。

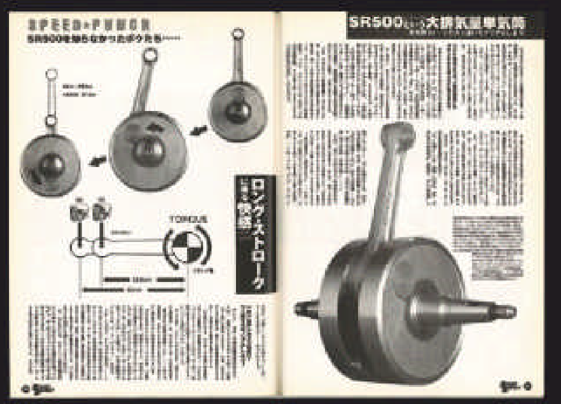
一台であらゆる可能性が楽しめる、唯一無二の世界遺産!!

４気筒エンジンが主流だった'70年代後半に、突如現れた旧式の英国車然とした単気筒ロードスポーツモデル、ＳＲ５００／４００。ストバイ世代にとっては〃若者向け〃や〃入門モデル〃といったイメージもあるＳＲも、発売当初はシングルレースが盛り上がり、その後ブリティッシュ系カフェレーサー・カスタムのブームが起きたほど、じつは一風変わった〃こだわり派の大人達〃から人気を獲得したモデルでもありました。

そんな〃趣味性の強い〃オトナ達に憧れ徐々に若者にも浸透していったＳＲが、さらに大きく華開いのが、'90年代後半からのトラッカーブーム。じつはこのトラッカーブームの始まりは関西エリアからでした。初期ストバイでコラム「ＥＡＳＹ ＴＡＬＫ」も展開していた神戸シェブロンの田中さんが作ったＳＲトラッカーは、アメリカの'60〜'70年代のビンテージ・ダートトラックレーサーの雰囲気を感じさせる見事な仕上がりで、それまでの「ＳＲ＝英国的クラシック」のイメージを払拭し、当時アメカジとともにバイクを楽しみ始めていた若者の心を一気に掴んだ……のは皆さんご存知のとおり。

また２０００年まで５００／４００ccが併売されていたＳＲは、その気になれば５００ccにストロークアップ（ボアアップじゃありませんよ!!）できるコトも魅力のひとつ。そもそも'76年にオフローダーＸＴ５００として誕生した単気筒エンジンだからこそ「５００こそＳＲ！」なこだわり派も多く、ＳＲ５００のトルク感をテーマにした特集「ＳＰＥＥＤ ＰＵＮＣＨ」も好評でしたね。

トラッカーブームが一段落した２００４年頃……現在アメリカ（ＬＡ）でも活躍するブラットスタイルの高嶺さんが突如、編集部に乗ってきたＳＲが、今やアジア圏を中心に世界でも人気のＳＲチョッパーの第一号でした。ＬＡ発のガレージチョッパー・ブームに端を発した、余計なパーツを取り去ったシンプルな外装と鮮やかなカラーリングが特徴的なチョッパースタイルのＳＲ（ＳＯ－ＣＡＬクルーザーと命名）こそ、現在のストリート



ボアでなく“ストローク”UP!!

'76 年登場の XT500 をベースに誕生した SR は 2000 年頃まで 500/400cc を併売。vol14「SPEED PUNCH」では､SR のオリジナルでもある“500 の魅力”を特集。ちなみに 100cc の違いは、ボア (ピストン径) ではなくストローク (ピストン上下運動の行程) の差ですのでお間違えなく。現在、オリジナルの SR500 は徐々に中古価格が高騰中。

SR で楽しむアメリカのリアリティ

自由な服装で SR トラッカーを楽しむ感覚はどんなトコロから生まれたのか？ そんなテーマで特集した vol4「RAD-BIKER」の表紙は、古着屋の名物スタッフだった安藤さん。その答えのひとつがアメリカのスケーターのセンスにヒントを得た“自由な価値観”。ショップではなくユーザーがセンスの良いトラッカーカスタムを作り始めたのも '98 年頃でした。

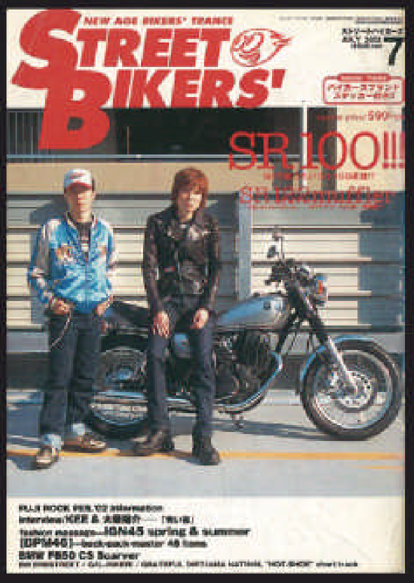
歴史を重ねたブリティッシュ系カスタム

SR の UK/ ブリティッシュ系カスタムの歴史は、それこそ SR の誕生以来ずっと育まれてきた。ブリティッシュレーサー風、ロッカーズ風、クラシカルな英車風など……さまざまな“ブリティッシュ”スタイルが誕生し、そのクオリティはそれこそ英国車にも負けないほど高かった。

ISSUE004

SPEED & RELAX

僕らにバイクの悦びを教えてくれたSRの軌跡。

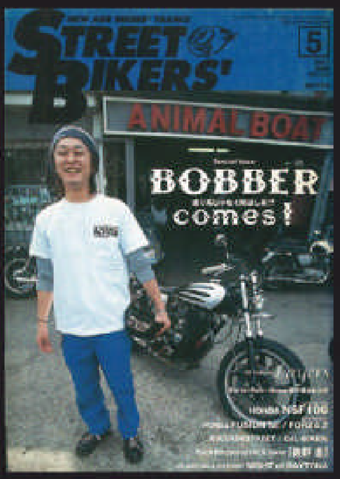


ミュージシャンにはSR乗りも多い!?

FUJIROCK 駐輪場で本格的にサポートブース展開を始めた 2002 年頃。vol40 ではともに SR 乗りでもあったミッシェルガン・エレファントのウエノさん & キューさんが表紙で登場。ウエノさんはこの SR でフジロックにも走って来てましたね。そういえばストバイに 2 回登場しているクロマニヨンズ・ヒロトさんも SR 乗りでした。

SO-CAL 的疾走感の追求!?

ビンテージ・ダートトラックレーサーを模した SR トラッカーの誕生から 7 年……2004 年頃にはカリフォルニアで盛り上がり始めていたガレージチョッパーの雰囲気を見事に取り入れた SR チョッパーが誕生。SR をはじめ国産チョッパーの可能性を大きく広げた功労者のひとりが BRAT STYLE 主宰の高嶺さん。その後、さらにアメリカのビンテージ感を追求した“飛ばし系”スタイルの“ボバー”カスタムも登場した。



でのビンテージハーレー＆チョッパーブームの先駆けといっても過言じゃありません。

そしてカスタムが盛んなSRだからこそ、揺り返しのように!? 定期的に起こるSRの〝純正・ノーマル〟志向が本格化したのは、ストバイ読者の年齢層が30～40代になってきた2010年頃。ちょうどキャブレターからインジェクションに変わる節目だったことも手伝い、SRがそもそも持っている旧車然とした〝'70年代のオートバイらしさ〟が再注目され始めたのです。

シンプルでクラシカルだからこそ、発売以来あらゆるスタイルで楽しまれてきたSRは、一方で現行モデルでもあったがゆえに、つねに旧車と比較され多くのヒトが〝いずれ卒業〟するバイク……でもあったワケですが、トラッカーブームを牽引したシェブロン田中さんはログセのようにいつもこう話していました「バイクが豊か（＝高価）より、心が豊かに（＝悦び）」――気軽だけど奥が深い……いつの時代も僕らに〝バイクに乗る自由な悦び〟を与えてくれていたSRも今年ついに国内販売終了のアナウンスが流れました……乗るならマジで〝今〟なんです!!

SR純正・ノーマル志向

カスタムが盛んな SR だからこそ、定期的に起こる“純正・ノーマル”志向。2010 年からストバイでも展開を始めた '70 年代の旧車感を追求した“オートバイ感”は、その後“SR 初期型ルック”といったムーブメントに発展。現在は若者から 50 ～ 60 代のリターン世代まで、あらためて“SR そのもの”の魅力を楽しみ始めている。

SR／2021ファイナルモデル

2019 年以降、FI が刷新され第 2 世代となったインジェクション SR400 もとうとう 2021 年 3 月 15 日に発売されるファイナルモデルで国内販売は終了 (アジア圏での販売は継続)。サンバースト塗装を施した［左］リミテッドエディションに加え、全 3 色展開。「やっぱ SR はキャブじゃなきゃ !」と思うなかれ、昔の SR とは比べ物にならないほどチカラ強く粘る低中速トルクには笑顔が止まりませんヨ ! ほんとに。●ヤマハ発動機カスタマーセンター ☎ 0120-090-819

Lookin' Back On Trail *119
Russell Moccasin
KNOCK-A-BOUT BOOT

100年以上続くハンドメイドのモカシンシューズ

16世紀から17世紀にかけて、イギリスの植民地として多くの移民がやってきたアメリカでは、原住民であるインディアンたちとの間で盛んに交易が行われていた。当時ヨーロッパでは毛皮がブームとなっており、インディアンが捕獲したビーバーの毛皮が珍重され、高値で売りさばくことができたのだ。インディアンたちは毛皮と引き換えに美しいウールの織物や金属製品を手に入れるなどして、お互いに様々なモノや技術を交換することで、アメリカ独自の文化を育んで行った。

その頃、インディアンたちは彼らが「モカシン」と呼ぶ素朴な靴を履いていた。モカシンの多くは柔らかな鹿革の一枚皮で作られており、底面から足首に巻きつけるように縫い合わせて作られていた。その製法は足首から底面に向かって革を巻きつけ、別の革を靴底として縫い付けるヨーロッパの靴とはまったく異なり、インディアン独自のものだった。そして多くのモカシンは前述の通り一枚皮だったのだが、一部の部族は甲の部分だけ別の革を縫い付けることで、より歩きやすくしたモカシンを履いていた。その代表的な部族が、現在のミシガン州からウィスコンシン州、ミネソタ州、モンタナ州にかけての地域で暮らしていた「オジブワ族」である。

オジブワとは彼らの言葉で「シワの寄ったモカシン」という意味であり、まさにほかの部族とは異なる、甲を別革で切り替えたモカシンを履いていることからついた名称だった。この少数派だったオジブワ族のモカシンこそが現在我々が一般にモカシンと読んでいるものの原型であり、モカシン縫いなどという言葉もオジブワ族の履物の縫い方を指しているのである。しかし本来のモカシンとはインディアンの履物全般のことであり、必ずしも甲の部分に縫い目があるわけではなかったのだ。

では何故その少数派だったオジブワ族のモカシンが有名になったのだろうか。それはオジブワ・モカシンの機能性に着目したヨーロッパ人が、英国風の製靴方法と融合させ、まったく新しいアメリカ独自の靴作りをはじめ、それが定着したからだ。そしてその代表格と言えるのが、オジブワ族のテリトリーだったウィスコンシン州（ウィスコンシンとはオジブワ族の言葉で「赤い石の地」という意味）のベルリンという街で１８９８年に誕生した「ラッセル・モカシン」である。オジブワ・モカシンの製法を応用した靴づくりを思いついた創業者のウイリアム・C・ラッセルは靴職人ではなかったが、当時ベルリンでよく知られたグローブメーカーを営んでいた兄、フランク・H・ラッセルの支援のもと、ロガーシューズなどを製造していたザ・ライト・シューカンパニーを買収。W.C.ラッセル・モカシン社へと改組し、モカシン技術を取り入れたロガーシューズなどを製造するようになった。当時ウィスコンシンでは林業が盛んであり、兄フランクの会社が製造する革手袋もロガーたちの間で人気だった。恐らく初期のラッセルモカシンはそうした兄の会社の販売網を使って販売をしていたのではないだろうか。

底面から革が巻き上げてあるラッセルモカシンは防水性に優れ、まだラバーソールやゴアテックスも無かった20世紀初頭においては、アウトドアでの使用に最適な靴だった。また柔らかくなめした革により、足馴らしなどの必要がなく、最初に履いた瞬間からよく馴染むことも特長だったし、英国のビスポークシューズよろしく、工房では足を計測してピッタリの一足を作ってくれたのだから、その快適さは群を抜いていた。１９２０年代以降になると、ラッセルモカシンは当時最先端のアウトドアショップだったエディー・バウアーやアバクロンビー＆フィッチなどでも取り扱われるようになり、アウトドアシューズの代名詞的存在となっていく。

そんなラッセルモカシンを代表するモデルと言えるのが、シューレースなどのフィット機能を一切省いたシンプルなスタイルが特徴の「ノックアバウト」である。ノックアバウトとは、周辺をぶらつくといった意味の言葉であり、登山などを目的としないキャンプのことをかつてはノックアバウトキャンピングなどと言っていた。つまりこのブーツは着脱の容易さから、キャンプなどで便利なシューズとして提案されたのだった。いつ頃からこのスタイルの製品がラインナップされたのかは定かではないが、少なくとも１９７０年代には登場しており、現在もカタログに掲載され続けている。すでに創業から１００年以上が経過している同社だが、今も変わらずウィスコンシンでハンドメイドによる製造を続けており、蓄積された同社顧客の足型のデータは、すでに5万件を突破しているという。

PHOTO & WRITTEN BY
アクタガワ タカトシ
takatoshi_akutagawa

Ryoji Homma presents

ONE SIZE FITS ALL

Wood work here

Text & Photograph : Ryoji Homma　Design : Toru Fujiwara

Vol.26

菜の花、水仙、梅が咲いて、桜のつぼみが膨らんで、鳥が忙しそうにしている（ぽちぽち巣作りかな）。細かなディティールは春だけど、山の空気はまだ乾燥していて焚火も愉しい曖昧な季節。去年のうちに植えた空豆の種は順調に育って花が咲き、玉ねぎの苗も１００個植えて、畑仕事からも解放されたら、やることはひとつ、木工作業です。

去年に三ヶ月間かけてワークベンチ（作業台）を製作して、今年にもう一台を完成させた。本当は機能的で、いかにもワークベンチらしいモノが欲しくて、それ系の海外サイトをヨダレを垂らしながら見ていたのだが、なんとなく気が変わり自作することにした。知り合いの工務店の若旦那から松の集合材をタイミングよく頂き、「よっしゃ！」と上がり調子になってホゾ組み主体で作ってみたら、これがもう大変。ホゾがまったく合わない。原因はノミの切れ味が悪く研いでもダメ。そこで砥石をよーく見たら、砥石の面が水平ではないことに気がつく。面直しを買って砥石の面をキレイに出すと、こんどは砥石を置いている台のグラつきが気になって、土を剥がして砂利を入れてレンガを敷いて、地面も水平にして台を安定させた。

「段取り八分、仕事二分」とはよく言ったもので、この作業準備のインフラは今後のことを考えても、おざなりにできないと思ったので徹底的にやっていたら、三ヶ月間もかかってしまった。二台目になると、そのころは畑仕事や庭仕事、堆肥作りのほうがおもしろくなってしまい、少しやっては畑に行ったり、また少しやっては庭いじりといった調子で作業を進めていたので半年近くかかって、今年の１月にやっと完成した。これで私も晴れて木工家としてのスタートラインに立てたというわけだ。

作業がしやすいようにワークショップ（作業場）のレイアウトを考え、実際に作業をしてはレイアウトを変えて、また作業をする。これがとても愉しい…

朝起きて、今日のぶんのお茶とコーヒーを淹れて朝食（いまの時期だと新玉ねぎ一個をまるごとスライスして納豆とキムチを混ぜるというなんとも質素なもの）をいただいたあと作業をする。三時過ぎにまたお腹が空いてきて、朝の残り物を炒めてパスタにしてしまい、残りのコーヒーを飲んですこし日向ぼっこをしてから作業に戻る（おやつにバナナを一本持っていく）。日没前に軽くワークショップの掃除をして木くずをファイアピットで火をつける。ゆっくりと紫煙が立ち昇り、焔がだんだんと大きくなっていく。さらに木っ端をくべて、スコッチをグラスに注ぎ、舞い上がる火の粉を見上げ、ふと自分の掌の潰れたマメを眺める。このような日常を私はもうかれこれ２週間近く続けている。

最近では木工に対する考えかたにも大きな変化が出てきた。我がワークショップの電力は単相１００Ｖなのでプロ仕様の２００Ｖの機械の導入をできていない。木工作業はシンプルに言うと精密さと速さであるから、いずれ三相２００Ｖの動力を引こうと思っていた。それこそ本格的なウィンザー・チェアの製作には「バンドソー」、「横切り盤」、「自動カンナ」と最低でもこれらすべてを２００Ｖで揃えないといけないのだが、そんなに焦らなくてもいいのでは… と思ってきた。そう思うくらいに、いまのワークショップのレイアウトを気に入ってしまったのである。

そんな理由で斧、ノミ、鉋、鋸、ドローナイフ、スポークシェイブといったハンドツールを使って、なるべく動力に頼らないように作品を製作している。ハンドツールの良いところはまず、失敗が少ない。そして音が静かということに尽きる。いや、むしろ「音が良い」と言ったほうが正しいのかもしれない。木を削っているときの感触と音がリンクして自分の神経が木に集中しているのがよくわかる。これが電動工具だとそうはいかない。

木彫師という人たちがいて（英語では「WOOD CARVER」といわれている）この人たちは動力に頼らずにハンドツールで作品を仕上げる（人が多い）。とくに私が好きな木彫師はDavid Fisherというアメリカ人で、この人のワークショップは使い込まれたハンドツールが整然と配置されていて素朴で美しい。その美しさとはワークショップと主人とが一体となっている状態であって、その状態とは主人がその場所で一人で過ごした時間の長さに由来していて、そういった場所はどこでも美しいものだと私は思っている。

私はなにを焦っていたのだろう。三相２００Ｖの動力なんて、いまの私にはまだ早い。頬を撫でる風を感じて刃物を研ぐんだ。鳥のさえずりに耳を傾け木を削りながら一緒に演奏をして、それからなにができるのかゆっくりと待つことにしよう。

そんな日々を過ごしていると、陶芸家の友人が遊びに来た。彼はワークショップを見るなり「おぉ、だいぶパワーアップしてますねぇ」とキョロキョロ辺りを見回したあと「良二くん、そういえば止血の仕方って知ってますか？」と言った。私が「いや、なんとなくかなぁ…」と言うと彼は止血の方法を細かく説明して、さらに指を切断したときの対処法も細かく説明した。

「なんだよ… ずいぶんと怖い話するなぁ」とそのときは思ったのだが、後々考えてみると作業中に誤って動脈を切ったり、指を切断することはあり得ないことではない。彼は、きっと私がそうなってしまったときに慌てないように、しっかりと対処法を教えてくれたのだ。「ありがとう、Ｉ井ちゃん、こんど一杯奢るね」と感謝しつつ、私は今日も木を削っている。

1. いま現在のワークショップの全景。奥に見えるワークベンチと手前のものを自作した。開放的でとても気持ちよく作業を進めていると、あっという間に一日が終わる。 2. 岡部が岩手から送ってくれた堅木を使ってウッドボールを製作。ノミが柾目に入ると「シャクシャク」と心地よい音に、手の痛みも時間も忘れて作業に没頭してしまう。 3. 曲がった枝や付け根の部分も、もはや材料として見えてくる。なにもまっすぐな物ばかりが最良の材料ではないということに気がついた。左の二つはコーヒー豆をすくうスプーンで一杯8gを目指してノミで掘っている。 4. 田渕さんの一周忌にあわせて、田渕さんの十八番でもあったサイド・テーブルを製作した。うえに乗っているウッドボールは私が川上村で初めて製作したウッドボールたち。 5. ふつうなら燃やしてしまうような虫食いの小さな木っ端が気になって小さなウッドボールを製作。あまり線は引かずに虫食いのあとをノミで拾うと、片口のような形になって「かわいいなぁ」

Wood work here

本間良二

1995年よりスタイリストとして独立。98年より古着再生家としてアメリカで買い付けたビンテージ・クロージングに加工（Re-born）を施した「2-tacs」を始動。2008年に池尻に直営店 The Fhont Shopをオープンし翌年に小説「ブラウン伯爵」（現在5巻発行）を発表し、ストーリーと連動させたアパレルブランド「BROWN by 2-tacs」を立ち上げる。現在は丹沢で菜園、ガーデニング、木工、アート製作、執筆などの活動を行っている。

A Beautiful Day

~Festival Photography~

vol.83 Psy-Fi festival 2016

水との接点がある、オランダらしいフェスの光景。

スペインから飛行機を乗り継いでアムステルダムへ。そこから電車を乗り継いで約3時間、会場に到着した時はもう真夜中だった。初めて訪れたオランダのフェス。暗かったので、まだ全貌を把握することはできなかったが、会場のあちこちから聞こえてくる音楽や人々の歓声に、心が躍った。焦る気持ちを抑えながら、キャンプサイトにテントを建て、そして、暗闇の中、音を頼りにダンスフロアの方へ向かっていった。

丘をこえて、細い道を森の中へと進んでいくと、そこにはキラキラと輝かしい世界が広がっていた。真夜中の森に鳴り響く四つ打ちのリズムと、その音にシンクロするサイケデリックな照明、そして、それらを心から楽しんでいる人々の笑顔、そのすべてが相乗効果となり、さらなる高みへと登っていく。そんな中、気がつけば、ボクも音楽に身を任せ、しばらくそこで踊っていた。

東の空がうっすらと明るくなり始めたので、次のステージへ向かおうとその森を抜けたら、見晴らしの良い平坦な場所に出た。そこには運河が流れ、その横にはステージやお店が並び、水辺では若者たちが佇んでいる。なんだかフェスの中にも当たり前のように水との接点がある、そんなオランダらしい幻想的な風景が、目の前に広がっていた。

そんな特別な朝の光景は、初めてのオランダのフェスに、長旅の末やっとたどり着いたボクの疲れきった身体に、心地よく染みわたっていった。

Photo & Text by 宇宙大使☆スター

フジロックフェスティバル、朝霧JAMといったビッグフェスのオフィシャルカメラマンを務め、自らも世界中を飛び回る、フェスフォトグラファー。その日その場所でしか起こりえない情景、出会いを感じながら、あらゆるフェスでシャッターを切り続けている。

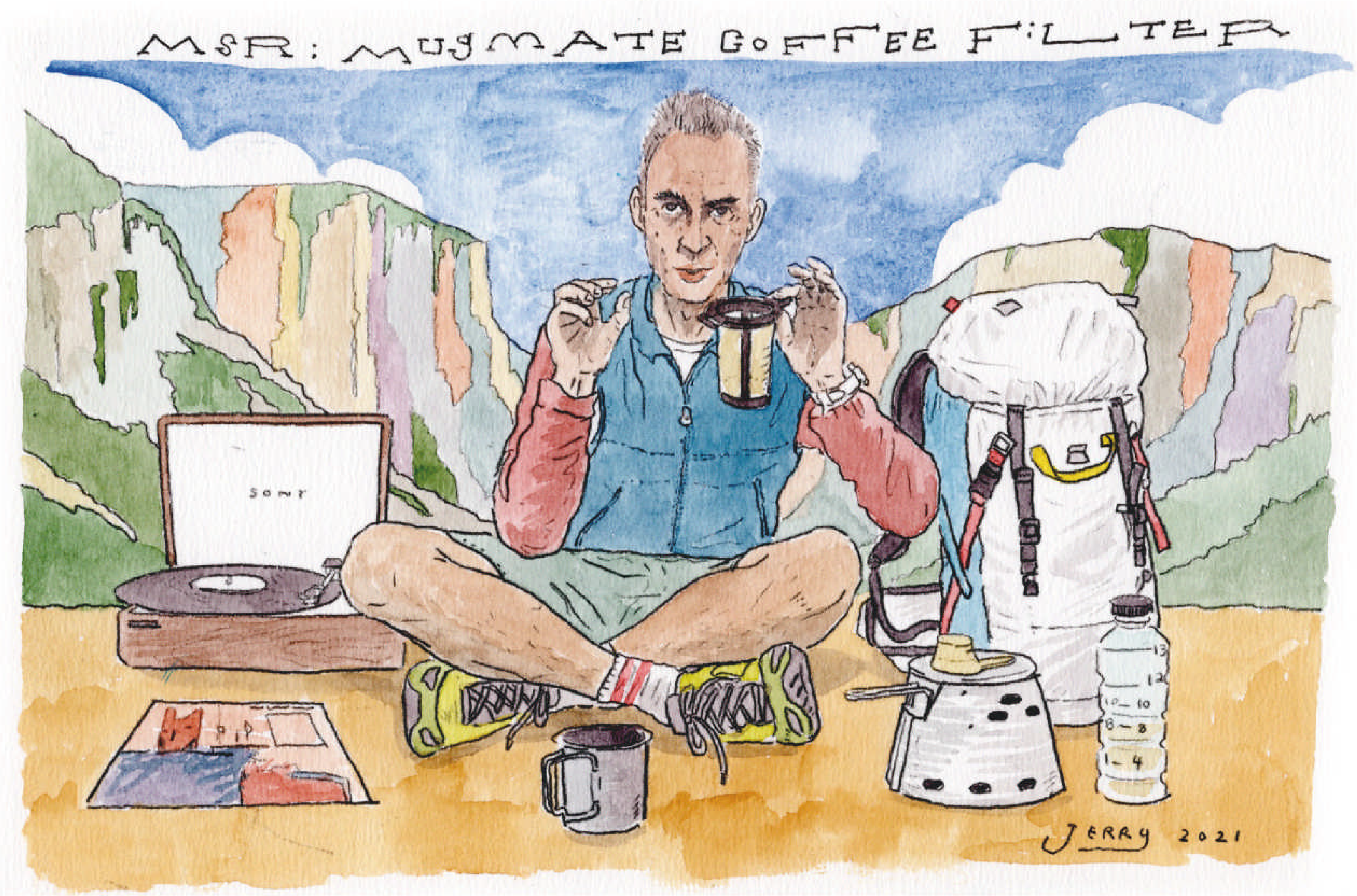
絵＝ジェリー・ウカイ ／ 文＝ジャッキー・ボーイ・スリム

POOR BOYS TIMES

ジェリーとジャッキーが流行に左右されないお気に入りの道具を紹介するコーナー！

第56回

マグメイトコーヒーフィルター（MSR）



野外で飲むコーヒーは美味しい。こんなド直球な書き出しに些か照れも感じつつも、野外で飲むコーヒーは旨いのだから仕方ない。室内で飲むコーヒーの2倍とまでは言わないけど1.2倍くらいは美味しく感じる。茶道には野点（のだて）という外で行う茶会があって野点専用ギアもあるくらいだから多分間違いない。僕も一時期、豆の産地、焙煎の深さ、抽出方法などを少しだけ研究した事がある。現地で豆を挽く。いや、自宅で挽いてから持ち込む。ドリッパーの形状、お湯の落とし方。エスプレッソマシンを持ち歩いていた時期だってあった。そしてある時に気がついた。喉が乾いてたらどんなコーヒーでも旨い。

寒けりゃ温かい飲み物は何でも旨いに決まってる、と。自転車で峠を越えて人里に降りてきた時に飲んだ甘ったるい缶コーヒー。雪山ラッセルに疲れて飲む白湯。あの五臓六腑に染み渡るあの旨さ。野外で飲むコーヒーが旨いのはコーヒー豆の持つポテンシャル以上に飲むシチュエーションに左右されるのだ。そして野外で飲むコーヒーが更に旨くなる要素、それは人。誰かが自分の為に淹れてくれるコーヒー。コーヒー好きの友人と行くハイキングは休憩で淹れてくれるコーヒーを実はかなり楽しみにしている。コーヒー好きだから豆にも拘ってるのだろうし、豆やお湯の分量をちゃんと計算して淹れてくれるんだろうな。一気飲みしたくなるのを抑えてチビりとやるのがまた旨さを引き立てる。コーヒーに拘ってるからこそ、なぜか安易にお代わりを言い出し難い感じもプラスに働いてるのかもしれない。ほら、一期一会とかあるじゃない？なんかお代わりし難い感じ。それがいい。結論を言うと、野外で旨いコーヒーを飲みたいのならば、コーヒー好きの人と一緒にハイキングに出掛ければよい、って事です。

人が自分の為に淹れてくれるコーヒーは旨い。因みに僕の妻はコーヒーを一切飲まない。そんな妻が稀に嫌々、適当に淹れてくれるコーヒーが意外と旨かったりする love & peace。

もしコーヒー好きの友人がまわりに居なくても喉が渇いていればどんなコーヒーだって旨く飲める。気温や湿度、標高など、様々な要素がコーヒーを美味くしてくれる。素敵なコーヒードリッパーやポットが無くても大丈夫。どんな淹れ方をしたって旨く飲める。そう、あのマグメイトで淹れる泥水みたいなコーヒーだって野外で飲めば旨いのだ。

北米を旅するバイクパッカーの写真。そのサドルバッグにぶら下がってた樹脂製の茶漉しがMSR マグメイトコーヒーフィルターだった。ドリップでもプレスでもないディップという、カウボーイコーヒーと同じプリミティブな抽出スタイル。マグメイトに挽いたコーヒー豆を入れて湯を注ぐ。雑味もエグ味も全て落とし込んだ泥水の様なワイルドコーヒー。そりゃスタバで出てきたら SNS 炎上案件。でも野外で飲むならこれくらい無骨な方が逆に旨いのだ。フィルターが要らない、というのも野点向き。かっこいい。バイクパッキングの時はサドルバッグにぶら下げてドヤりたい。「まだドリップしてんの？」って。

美味しいコーヒーを飲みたいならばお気に入りのコーヒーショップで飲めば良い。野外で美味しいコーヒーを飲みたければコーヒー好きの友人を誘えば良い。そんな友人が居ない場合。そんな時はマグメイトコーヒーを持って山へGoだ。

#56 ｜MSR “Mugmate Coffee Filter”

WOODS®
CANADA
www.haward.co.jp
woods_arctic

「OUTDOOR STYLE GO OUT 2021年4月号 Vol.138」2月27日発売(毎月30日発売) 発行人:星野邦久 編集人:関 拓朗 発行所:株式会社三栄 〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア 7F 広告TEL03-6897-4622 編集TEL03-6303-1609(ロクマルマガジンワークス) 受注センターTEL048-988-6011 FAX048-988-7651 販売TEL03-6897-4611 FAX03-6897-4651

株式会社コロンビアスポーツウェアジャパン 〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-27-30 新宿イーストサイドスクエア 7F お問い合わせ：フリーコール 0120-193-803 受付時間：月～金 10：00～18：00（土日祝休み）

4910115250411
00709

定価780円 本体709円 雑誌11525-4
SAN-EI CORPORATION PRINTED IN JAPAN/図書印刷株式会社